

---

---

2019年度  
学生生活実態調査  
報告書

---

---

## まえがき

2019年度の「学生生活実態調査」報告書がまとまりました。まず、本調査に回答してくれた1,170名の学部生、大学院生の皆さんに感謝します。この調査は1983年度の開始以降、今回が14回目になります。2017年度に実施した前回調査ではWeb St@tionのアンケート機能を利用しましたが、このたびはスマートフォン対応のサイトを開設しアクセスを容易にするなどの改善を図った上で、2019年11月13日から同年12月8日までの期間で実施しました。

ここでは、調査結果の概況だけを述べておきます。第一は奨学金の利用状況についてです。本学の30%程度の学生が学費納付のために各種奨学金を利用しており、この状況は従来からの大きな変化はありません。また、学生の経済状況に関連して、アルバイト収入の増加傾向が顕著になっています。なお、2020年度からは、国による高等教育の修学支援新制度が施行されることに加え、学内奨学金制度も一部改善が図られる予定です。

第二は、学生の一週間あたりの学習時間です。本調査の結果、予習、復習に費やす時間がほとんどないと回答した学生の割合が約47%に達しました。前回の調査では38%程度でしたので、授業時間を除き履修科目に学習時間を割かない学生割合が半数に近づきつつあり、それが増加傾向にあります。これらのデータと関連するように、図書や教材費関係の平均支出が激減しています。単純比較はできませんが、参考までに2016年度の国立教育政策研究所による調査<sup>(1)</sup>では、予習復習時間を0時間と回答した大学生は、約21%となっています。改めて申し上げるまでもなく、大学は「学問の府」であります。学習時間が少ない学生諸君には、今後の学習姿勢の再考を強く促します。また、教員による指導にも工夫が必要に感じます。

第三はハラスメントに関する状況です。データからはハラスメント被害の回答件数が増えているのが気になるところです。第四は喫煙率です。近年、喫煙率は減少傾向にありましたが、今回は増加に転じています。受動喫煙の問題とも関連し、自由記述欄にも喫煙を問題視する回答が散見されました。

自由記述欄に寄せられた回答は、原則としてすべて本報告書に掲載しています。以下に代表的な項目を列挙致します。本学の魅力や特徴として挙げられていたのは、資格取得講座が充実、綺麗な校舎、美味しい学食の料理、多彩な分野の教員、就職支援が良い、充実した留学や奨学金制度、教員との距離が近い、教員の学生に対する優先度合いが高いなどがありました。

一方、本学の問題点や改善点としては、履修者制限科目や履修登録の抽選制度の改善、講義中の芳しくない学生態度、校舎が汚い、100分授業により短縮された休み時間における移動への支障、Wifi環境の改善、喫煙環境の改善、和式から洋式トイレへの変更、狭い講義室、PC教室が少ない、学食メニューの価格と質・量の改善など、さまざまなコメントや要望が寄せられました。なかには、「神奈川大学には一丸となって、授業改革をしていただきたい」、「職員の再教育が必要」、「学ぶ意識の低い学生がいる」といった、教職員、学生に対する厳しいコメントも寄せられています。神奈川大学の教職員、学生がこれらを真摯に受け止めて改善を図りたいものです。

本学がこれまでも増して魅力的な大学となるよう、ひきつづき学内ご関係の皆様にご協力をお願いする次第であります。

2020年2月14日

学生生活支援部長

中尾陽一

---

(1) 平成28年度「大学生等の学習状況に関する調査」基礎集計表 国立教育政策研究所

([https://www.nier.go.jp/05\\_kenkyu\\_seika/seika\\_digest\\_h29.html](https://www.nier.go.jp/05_kenkyu_seika/seika_digest_h29.html))

## ◎ 目次

調査概要	1
回答者属性	2
I. 生活全般について	5
II. 心と体の健康について	15
III. 課外活動について	23
IV. 図書館の利用について	27
V. 学生支援体制について	31
VI. 情報機器・情報発信について	39
VII. 神奈川大学についての満足度	43
付)【参考資料】設問項目一覧	

## 1. 調査目的

神奈川大学学生の生活実態の全体傾向を明らかにし、修学面、進路支援面などの今後の施策を考えるための基礎資料とする。

## 2. 調査対象者

神奈川大学の全キャンパスの全学生(学部生及び大学院生)を対象に調査。

## 3. 調査方法

インターネット上のアンケート入力フォームを使用して調査。  
アンケート実施の告知は、Web St@tion内お知らせ機能、公式ツイッター、キャンパス内掲示、教職員への周知依頼、クラブ・サークルのメールボックスへの案内配布にて行なった。

## 4. 調査実施時期

2019年11月13日(水) ～ 2019年12月8日(日)

## 5. 回答者数

学部生1,130名、大学院生40名の全1,170名から回答があった。詳細内訳は、次のページに記載。

## 6. 主要調査項目

調査項目の体系については、従来の学生生活実態調査との継続性を考慮する。

### I. 生活全般について

生活費収入・支出／大学納付金／定職・アルバイト／住居形態／通学手段・時間／学習時間

### II. 心と体の健康について

悩みの内容／相談相手／相談施設について／学生のピアサポート／喫煙について

### III. 課外活動について

部活動やサークルへの参加・活動内容／1週間の活動日数

### IV. 図書館の利用について

利用頻度／利用目的

### V. 学生支援体制について

学生生活に関する満足度／身につけたいこと／実現度予測

### VI. 情報機器・情報発信について

所持している情報機器／メディア、SNSの利用状況／個人情報の開示状況

### VII. 神奈川大学についての満足度

# 回答者属性

## Q1.所属

学部／学科／研究科／専攻／課程		回答数			
学部	法学部	法律学科	62		
		自治行政学科	36		
		合計	98		
	経済学部	経済学科	122		
		現代ビジネス学科	80		
		合計	202		
	経営学部	国際経営学科	112		
	外国語学部	英語英文学科	29		
		スペイン語学科	19		
		中国語学科	6		
		国際文化交流学科	18		
		合計	72		
	人間科学部	人間科学科	68		
	理学部	数理・物理学科	26		
		情報科学科	29		
		化学科	23		
		生物科学科	28		
		総合理学プログラム	7		
		合計	113		
	工学部	機械工学科	328		
電気電子情報工学科		38			
物質生命化学科		19			
情報システム創成学科		31			
経営工学科		22			
建築学科		16			
総合工学プログラム		11			
合計		465			
<b>学部生 合計</b>		<b>1,130</b>	<b>課程別内訳</b>		
			前期課程	後期課程	
大学院	法学研究科	法律学専攻	0	0	0
	経済学研究科	経済学専攻	0	0	0
	経営学研究科	国際経営専攻	0	0	0
	外国語学研究科	欧米言語文化専攻	0	0	0
		中国言語文化専攻	0	0	0
		合計	0	0	0
	人間科学研究科	人間科学専攻	1	1	0
	理学研究科	理学専攻	7	5	2
	工学研究科	機械工学専攻	9	9	0
		電気電子情報工学専攻	5	4	1
		応用化学専攻	5	3	2
		経営工学専攻	0	0	0
		建築学専攻	2	2	0
工学専攻		8	8	0	
合計		29	26	3	
歴史民俗資料学研究科	歴史民俗資料学専攻	3	1	2	
<b>大学院生 合計</b>		<b>40</b>	<b>33</b>	<b>7</b>	
<b>学部生+大学院生 合計</b>		<b>1,170</b>			
<b>無回答 合計</b>		<b>0</b>			

※理学研究科情報科学専攻、化学専攻、生物科学専攻は、2016年4月より理学専攻に改編。

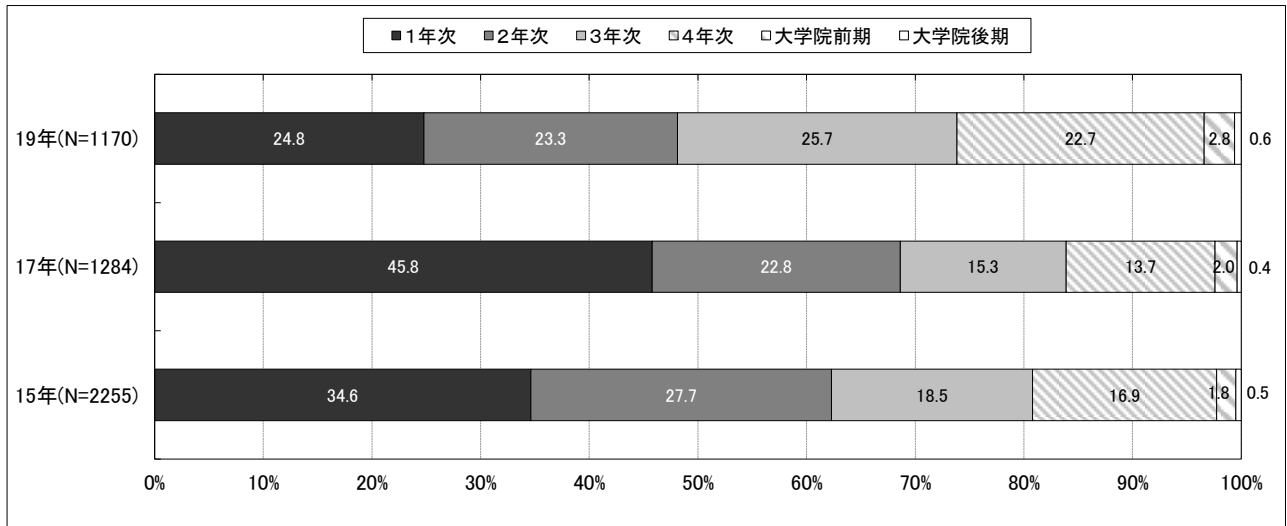
※工学研究科機械工学専攻、電気電子情報工学専攻、応用化学専攻、経営工学専攻は、2019年4月より工学専攻に改編。

## ■ 学部・学科(全学／学年)

		全学		学年別			
				1年次	2年次	3年次	4年次
19年(N=1170)		人数	%	%	%	%	%
法学部	法律学科	62	5.3	25.8	29.0	22.6	22.6
	自治行政学科	36	3.1	33.3	22.2	22.2	22.2
	合計	98	8.4				
経済学部	経済学科	122	10.4	9.8	37.7	34.4	18.0
	現代ビジネス学科	80	6.8	27.5	33.8	20.0	18.8
	合計	202	17.3				
経営学部	国際経営学科	112	9.6	24.1	20.5	27.7	27.7
	合計	112	9.6				
外国語学部	英語英文学科	29	2.5	44.8	31.0	17.2	6.9
	スペイン語学科	19	1.6	21.1	5.3	52.6	21.1
	中国語学科	6	0.5	16.7	33.3	0.0	50.0
	国際文化交流学科	18	1.5	27.8	5.6	38.9	27.8
	合計	72	6.2				
人間科学部	人間科学科	68	5.8	26.5	36.8	11.8	25.0
	合計	68	5.8				
理学部	数理・物理学科	26	2.2	15.4	11.5	26.9	46.2
	情報科学科	29	2.5	10.3	17.2	34.5	37.9
	化学科	23	2.0	26.1	8.7	21.7	43.5
	生物科学科	28	2.4	17.9	10.7	32.1	39.3
	総合理学プログラム	7	0.6	28.6	57.1	14.3	0.0
	合計	113	9.7				
工学部	機械工学科	328	28.0	34.1	24.1	26.5	15.2
	電気電子情報工学科	38	3.2	15.8	13.2	28.9	42.1
	物質生命化学科	19	1.6	21.1	5.3	21.1	52.6
	情報システム創成学科	31	2.6	9.7	9.7	45.2	35.5
	経営工学科	22	1.9	45.5	9.1	22.7	22.7
	建築学科	16	1.4	6.3	31.3	18.8	43.8
	総合工学プログラム	11	0.9	36.4	9.1	36.4	18.2
	合計	465	39.7				
学部生 合計		1,130	96.6				
大学院	前期課程	33	2.8	42.4	57.6	0.0	0.0
	後期課程	7	0.6	57.1	0.0	42.9	0.0
	合計	40	3.4				
無回答		0	0.0	-	-	-	-
合計		1,170	100.0				

※「全学」の％は合計に対する割合。「学年別」の％は各学部・学科内での割合。

## Q2.学年



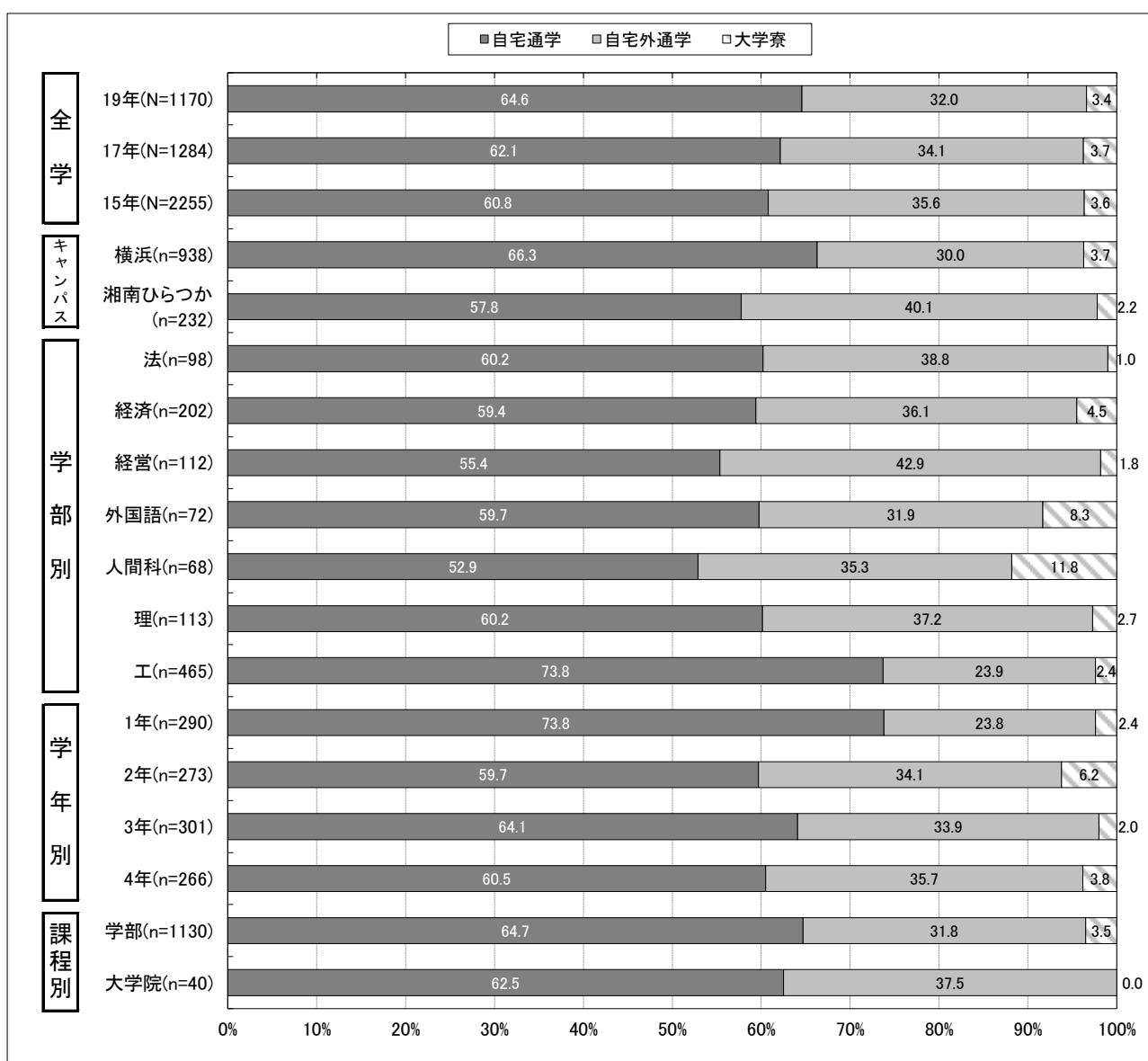
# I. 生活全般について

## 1. 住居形態

Q8.あなたの現在の住居形態はどれにあたりますか。該当する番号1つを選択してください。

- ・ 全学で見ると、現在の住居形態は「自宅通学」が64.6%と、6割以上の学生が自宅から通学している。過去2回の調査でも6割の学生が「自宅通学」と回答しており、本調査では少しずつ増えている。
- ・ キャンパス別にみると、横浜キャンパスの方が、湘南ひらつかキャンパスに比べ「自宅通学」の割合が66.3%とやや高い。
- ・ 学部別にみると、工学部は「自宅通学」が73.8%と最も高く、最も低い人間科学部と比べ20ポイント以上高い。
- ・ 学年別にみると、1年次は「自宅通学」が73.8%と最も高く、一方2年次は59.7%と最も低く6割を下回った。
- ・ 課程別で見ると、大学院で「自宅外通学」と回答した学生の割合が37.5%とやや高い。

住居形態(全学/キャンパス/学部別/学年別/課程別)





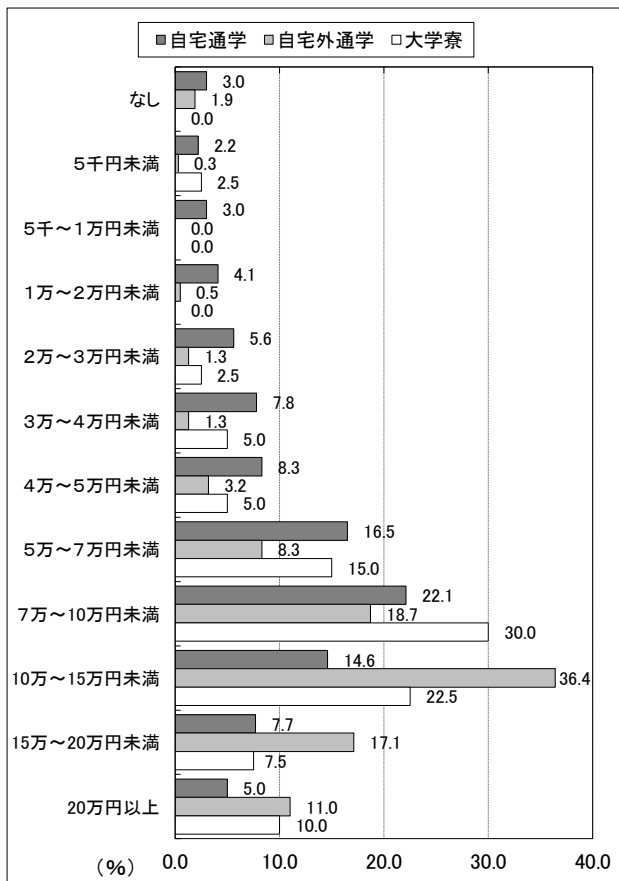
## 2. 生活費収入・支出

Q3.ひと月平均の生活費収入額について（最近1年間を基準にお答えください。）

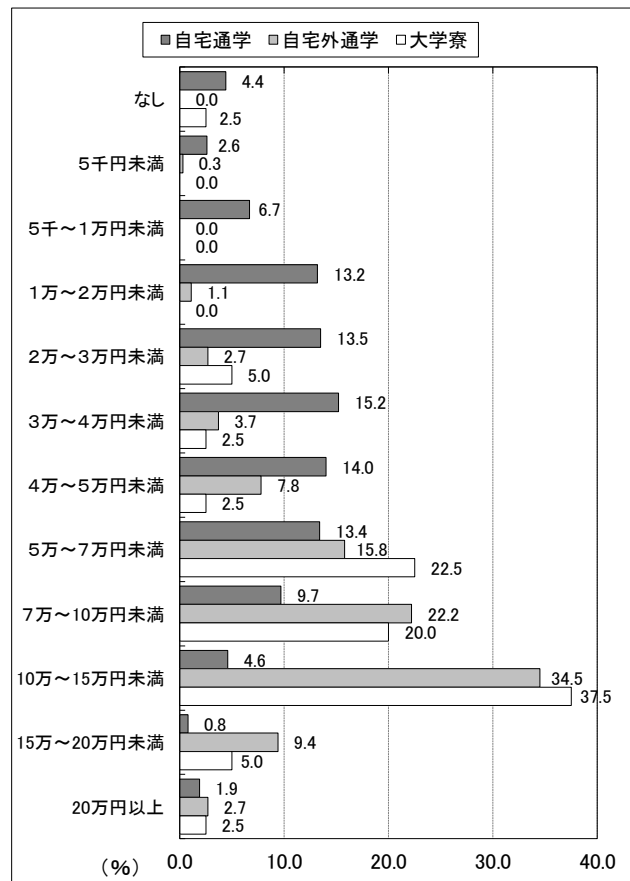
Q4.ひと月平均の生活費支出額について（最近1年間を基準にお答えください。）

- ・ 月平均の収入・支出額は、自宅通学と自宅外通学、大学寮で分けて集計を行った。
- ・ 月平均収入合計は、自宅通学と大学寮で「7万～10万円未満」が最も多く、自宅外通学では「10万～15万円未満」が最も多い。
- ・ 月平均支出合計は、自宅通学で「3万～4万円未満」が最も多く、自宅外通学と大学寮では「10万～15万円未満」が最も多い。
- ・ 月平均収入合計を項目別に、過去2回の結果と比べてみると、「定職・アルバイト」の増加傾向は継続している。「仕送り・小遣い」は前回(17年)と比べ微増し、「奨学金」については前回(17年)から減少し、前々回(15年)よりも低い水準となった。
- ・ 月平均支出を項目別に、過去2回の結果と比べてみると、「住居費」、「食費」、「その他・雑費」を除き全体的に減少傾向にある。特に「図書・新聞・文具・教材費」は前回(17年)と比較して大きく減少した。「住居費」が大幅に増加したのは自宅通学者を除外して集計を行ったためである。
- ・ 月平均収入の内訳を自宅通学と自宅外通学、大学寮で分けて集計した。  
自宅通学では「定職・アルバイト」が59.0%と最も多い。月の収入平均額は80,390円であった。  
自宅外通学では「定職・アルバイト」が37.8%、「仕送り・小遣い」が34.9%と続く。月の収入平均額は123,282円であった。
- ・ 月平均支出の内訳を自宅通学と自宅外通学、大学寮で分けて集計した。なお、今回(19年)は自宅通学から「住居費」を除外して集計を行った。  
自宅通学では「食費」と「通信費」の合計が50.6%と、支出の約半分を占めている。月の支出平均額は45,129円であった。  
自宅外通学では「住居費」が40.1%と最も多く、「食費」が30.2%と続く。月の支出平均額は99,472円であった。  
大学寮では「住居費」が30.7%と最も多く、「食費」が26.4%と続く。月の支出平均額は95,000円であった。

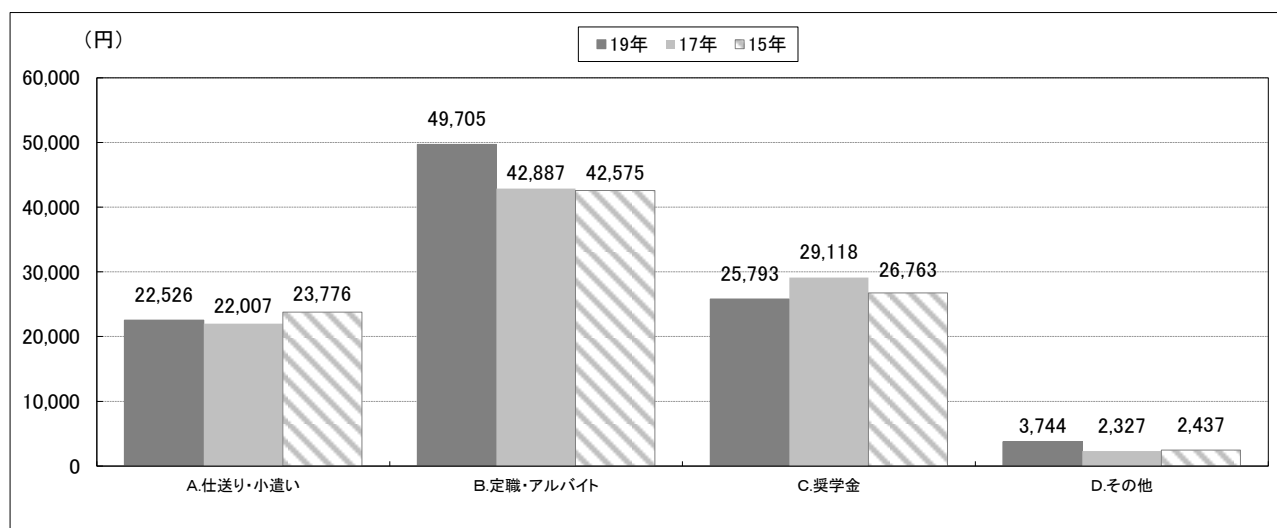
月平均収入合計



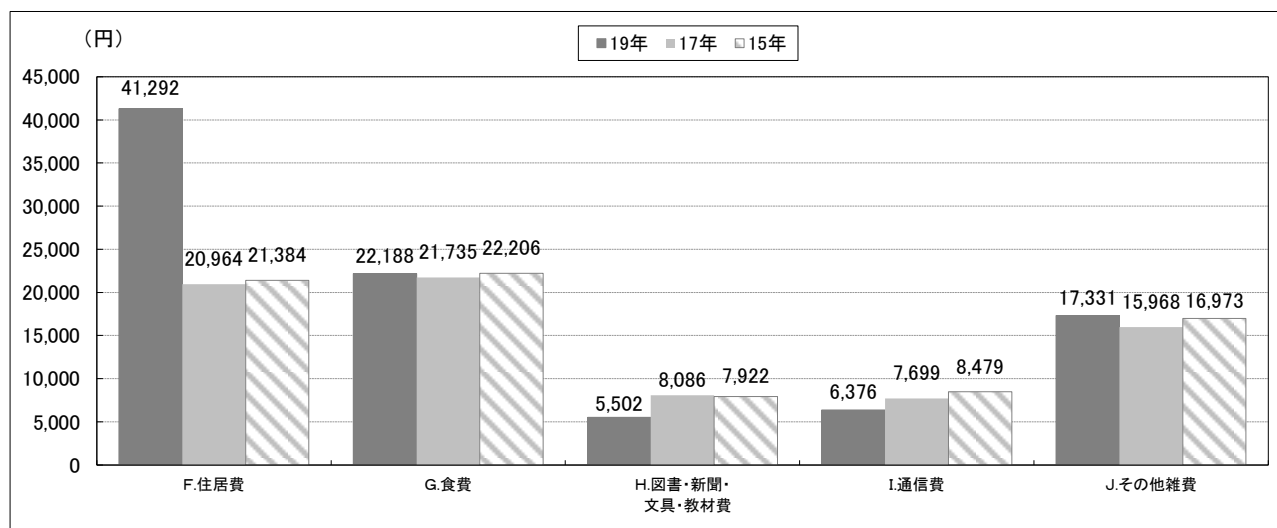
月平均支出合計



## 月平均収入合計

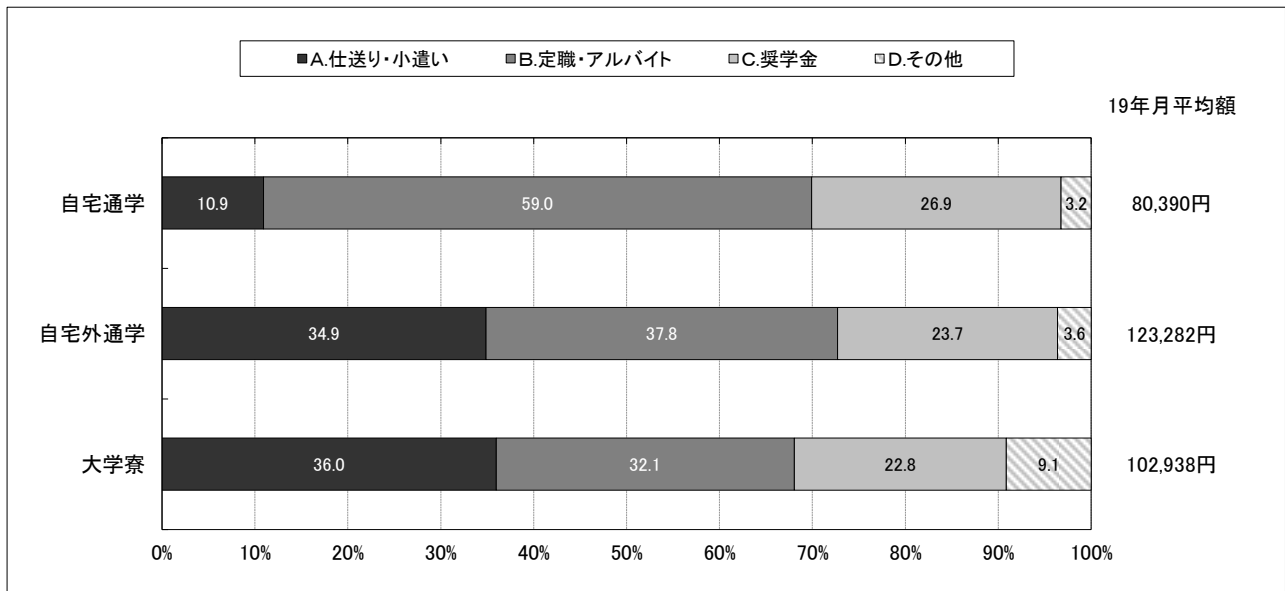


## 月平均支出合計

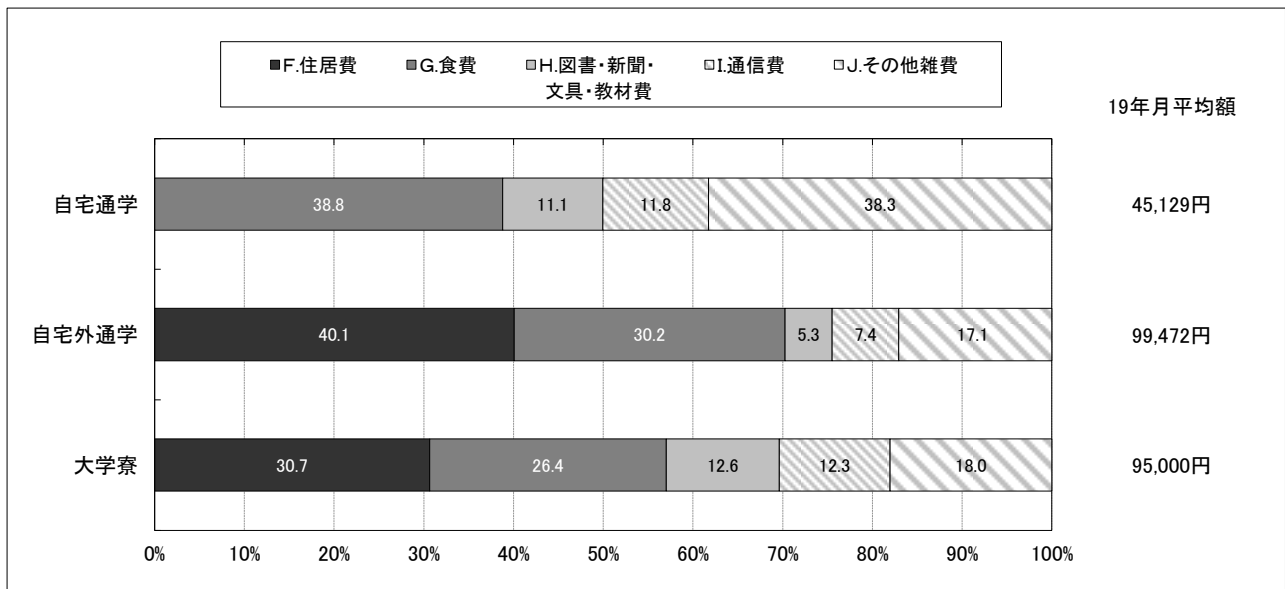


※月平均収入合計と月平均支出合計は、「なし」を0円、「5千円未満」を2,500円、「5千円～1万円未満」を7,500円、「1万円～2万円未満」を15,000円、「2万円～3万円未満」を25,000円、「3万円～4万円未満」を35,000円、「4万円～5万円未満」を45,000円、「5万円～7万円未満」を60,000円、「7万円～10万円未満」を85,000円、「10万円～15万円未満」を125,000円、「15万円～20万円未満」を175,000円、「20万円以上」を225,000円として算出。  
 ※19年度より、「F.住居費」はQ8で「自宅通学」と回答したサンプルを母集団から除外して集計を行った。

## 月平均収入の内訳



## 月平均支出の内訳



※月平均収入合計と月平均支出合計は、「なし」を0円、「5千円未満」を2,500円、「5千円～1万円未満」を7,500円、「1万円～2万円未満」を15,000円、「2万円～3万円未満」を25,000円、「3万円～4万円未満」を35,000円、「4万円～5万円未満」を45,000円、「5万円～7万円未満」を60,000円、「7万円～10万円未満」を85,000円、「10万円～15万円未満」を125,000円、「15万円～20万円未満」を175,000円、「20万円以上」を225,000円として算出。  
 ※自宅通学者は「F.住居費」を除外して集計。

### 3. 大学納付金について

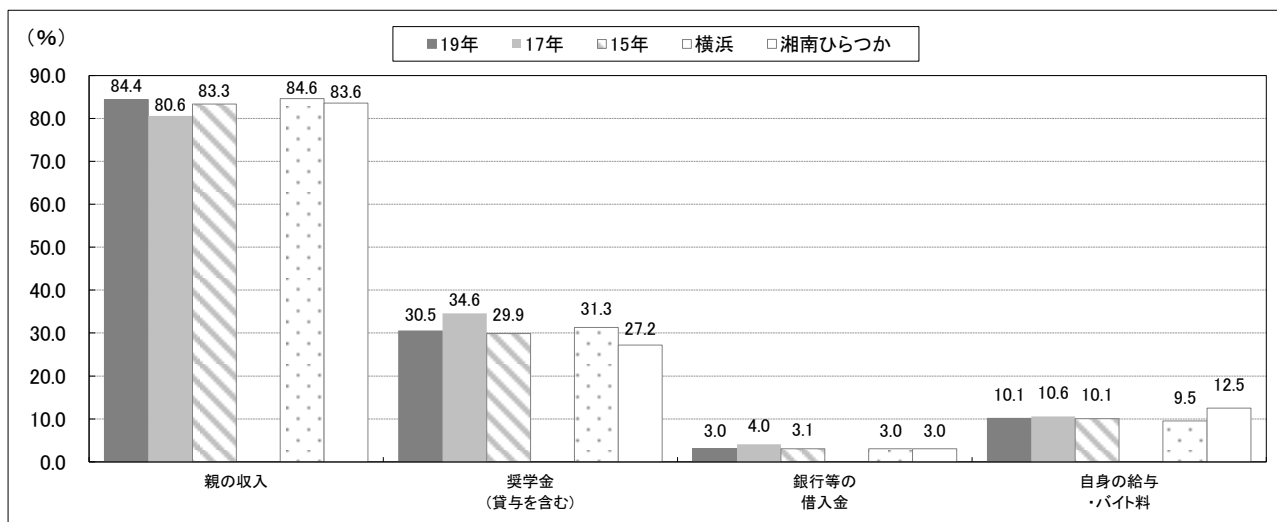
Q5.大学納付金について、該当する番号すべてを選択してください。

- ・ 過去2回と比較してみると、どの年においても8割以上の学生は「親の収入」で納付していることがわかる。また「奨学金」は、15年で29.9%、17年で34.6%だったのに対して、今回は30.5%と前々回(15年)の水準と同様である。
- ・ キャンパス別にみると、あまり大きな差はみられない。
- ・ 学部別にみると、経営学部は「親の収入」での納付率が86.6%と最も高く、一方工学部は33.8%が奨学金で納付している。
- ・ 学年別にみると、1年次は「親の収入」での納付率が89.0%と最も高いが、年次が上がるごとにその割合は微減
- ・ 課程別でみると、大学院は「親の収入」での納付率が学部よりも12.4ポイント低く、自身の給与・バイト料で納付する学生が22.5%と学部よりも12.9ポイント高い。

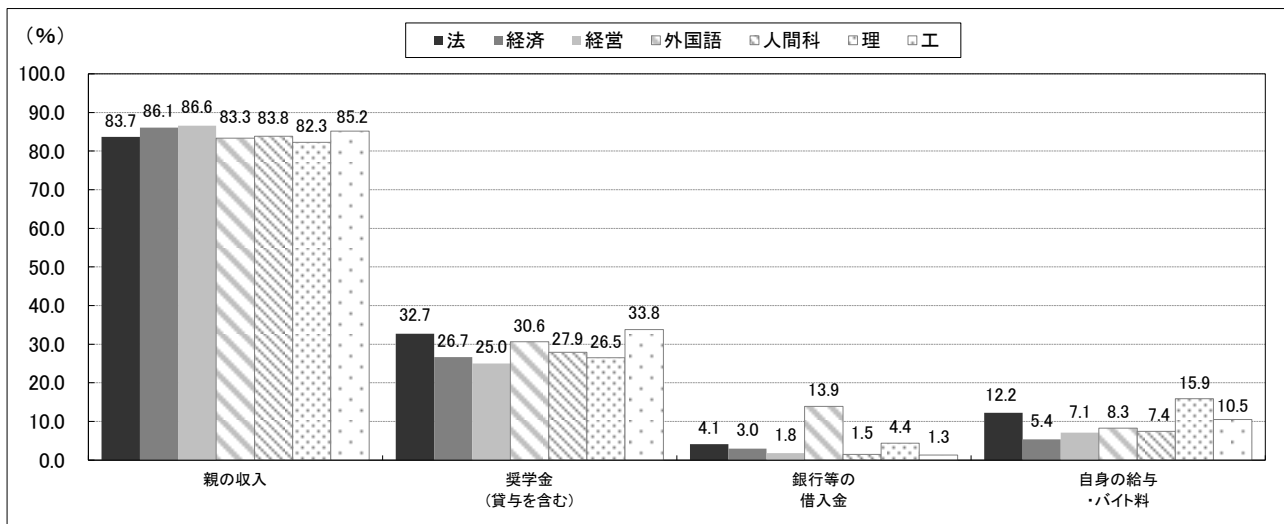
#### 大学納付金の納付方法(全学／キャンパス／学部別／学年別／課程別)

		サンプル数	親の収入	奨学金 (貸与を含む)	銀行等の 借入金	自身の給与 ・バイト料
			%	%	%	%
全学	19年	1,170	84.4	30.5	3.0	10.1
	17年	1,284	80.6	34.6	4.0	10.6
	15年	2,255	83.3	29.9	3.1	10.1
キャンパス	横浜	938	84.6	31.3	3.0	9.5
	湘南ひらつか	232	83.6	27.2	3.0	12.5
学部別	法	98	83.7	32.7	4.1	12.2
	経済	202	86.1	26.7	3.0	5.4
	経営	112	86.6	25.0	1.8	7.1
	外国語	72	83.3	30.6	13.9	8.3
	人間科	68	83.8	27.9	1.5	7.4
	理	113	82.3	26.5	4.4	15.9
	工	465	85.2	33.8	1.3	10.5
学年別	1年	290	89.0	28.6	2.1	9.7
	2年	273	84.2	30.0	2.2	8.8
	3年	301	83.1	33.6	4.7	11.6
	4年	266	83.1	28.6	3.0	8.3
課程別	学部	1,130	84.9	30.3	3.0	9.6
	大学院	40	72.5	37.5	2.5	22.5

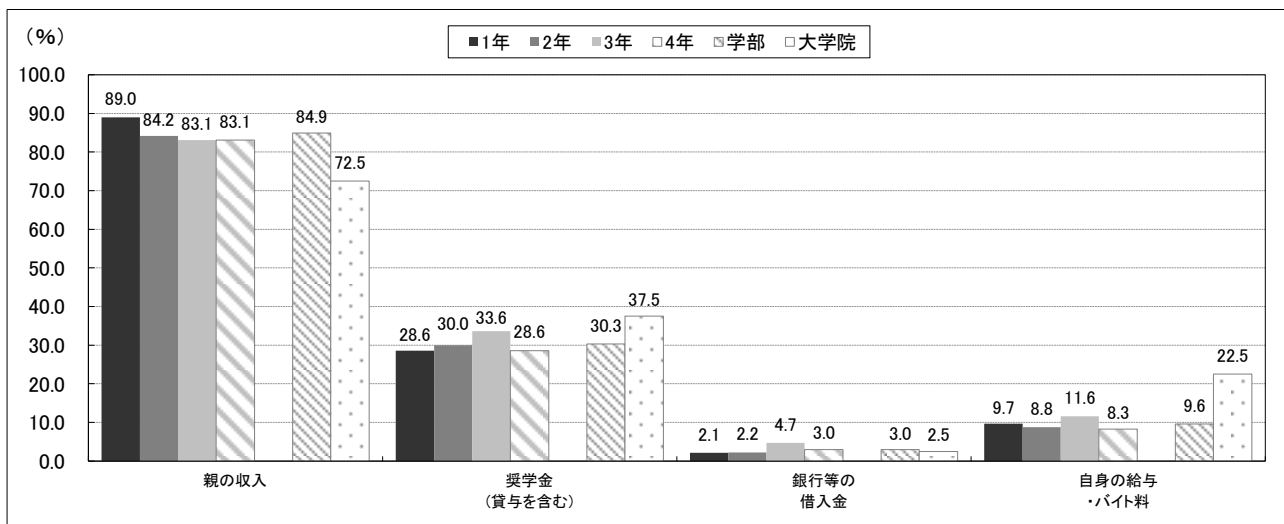
#### 大学納付金の納付方法(全学／キャンパス)



## 大学納付金の納付方法(学部別)



## 大学納付金の納付方法(学年別/課程別)

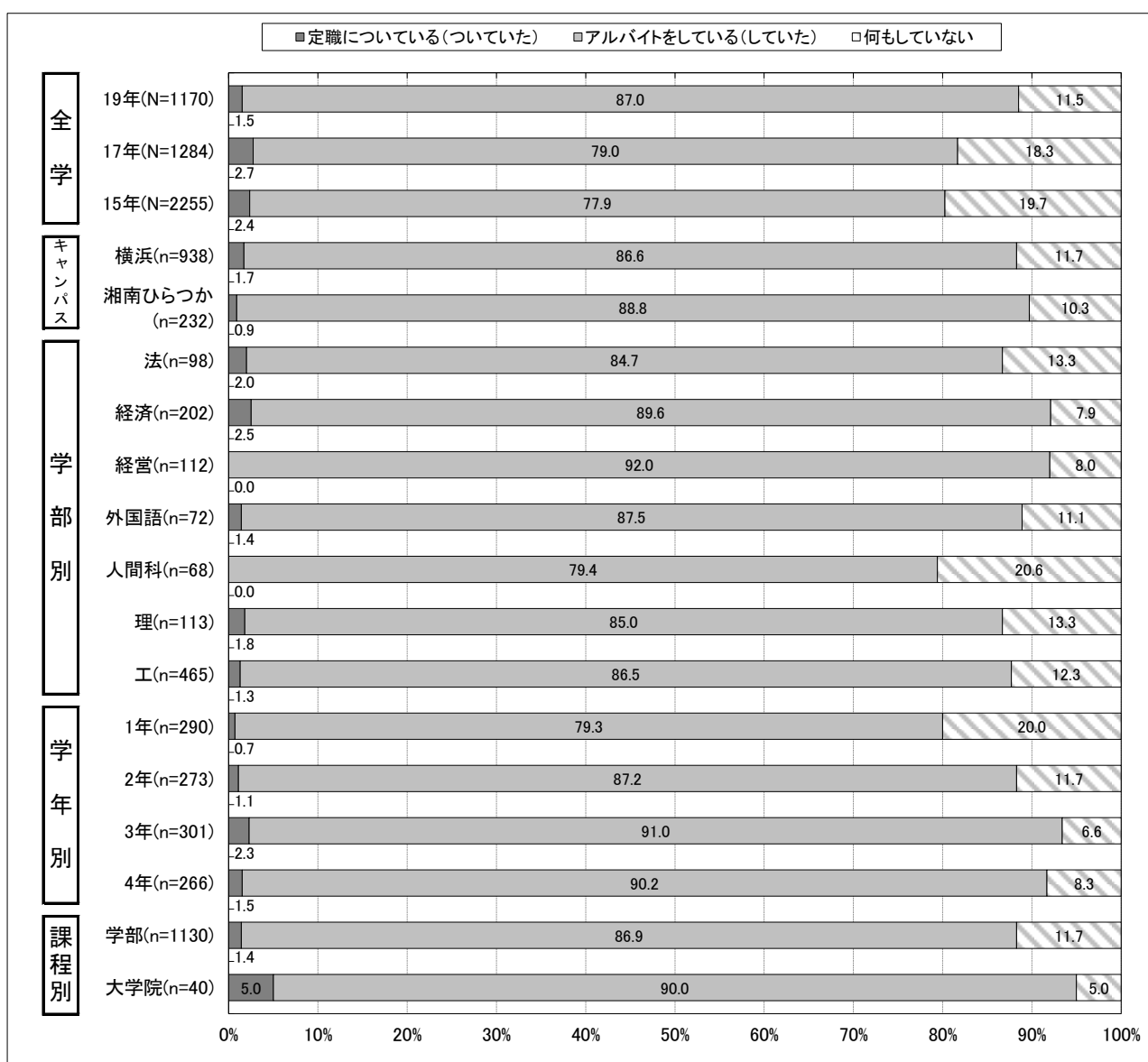


#### 4. 定職・アルバイトについて

Q6.あなたは過去1年間に定職またはアルバイトにつきましたか。該当する番号1つを選択してください。

- ・ 全学で見ると、過去1年間に定職またはアルバイトについていた割合(定職についている+アルバイトをしている)が88.5%で、「何もしていない」割合が11.5%であった。
- ・ キャンパス別にみると、あまり大きな差は見られない。
- ・ 学部別にみると、アルバイトについていた割合が最も多いのは経営学部で92.0%である。逆に割合が最も少ないのは人間科学部で79.4%である。
- ・ 学年別にみると、1年次の定職またはアルバイトについていた割合が80.0%と最も少ないが、2年次から4年次はどの学年でも約9割の学生が定職またはアルバイトについていることがわかる。
- ・ 課程別に見ると、大学院の定職またはアルバイトについていた割合が95.0%と非常に高い。

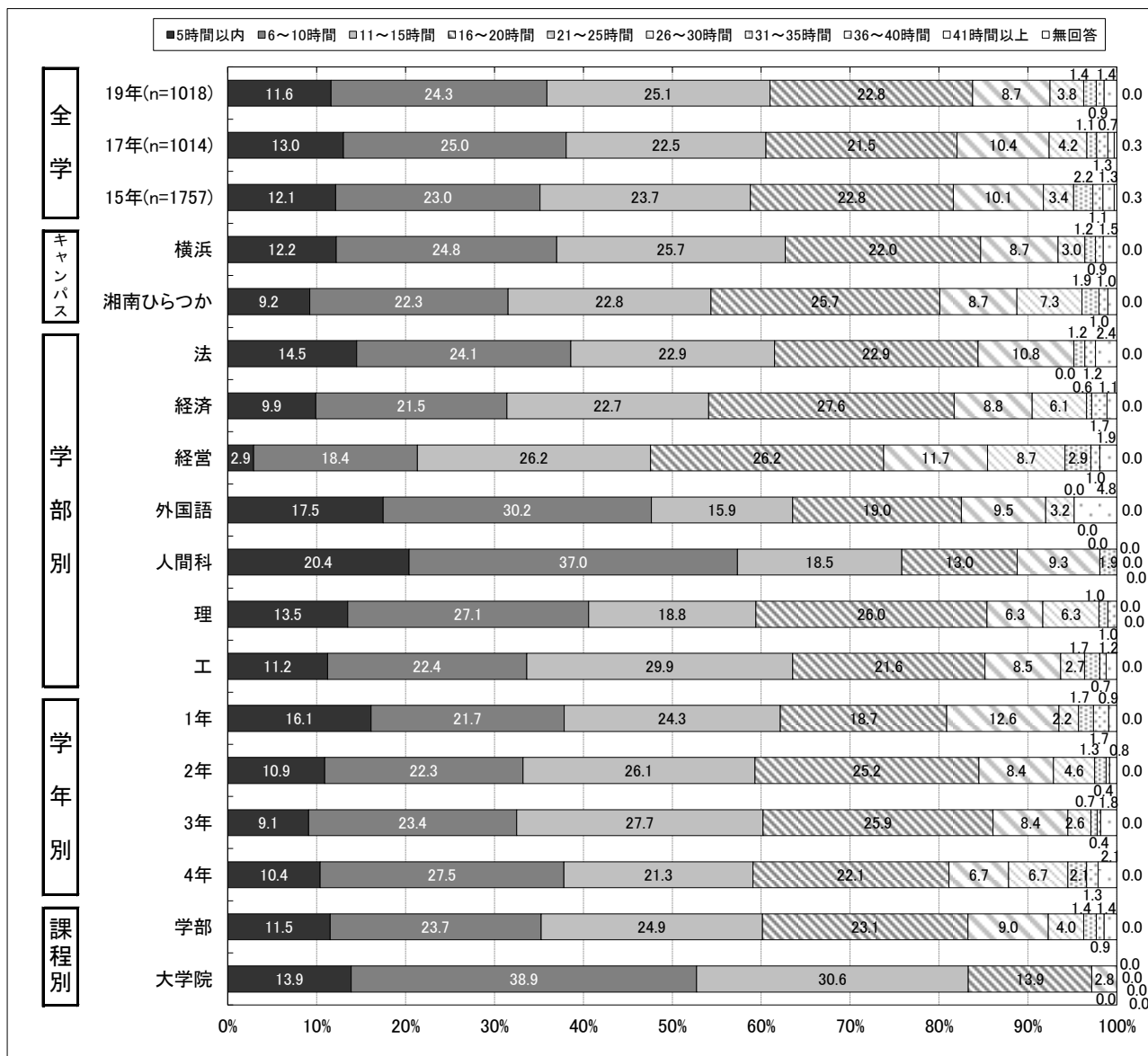
#### 過去1年間の定職・アルバイト経験(全学/キャンパス/学部別/学年別/課程別)



Q7.【Q6で②アルバイトをしている(していた)とお答えの方にお尋ねします。】  
一週間の勤務時間は平均して何時間ですか。

- ・ 全学で見ると、週20時間以内と回答した割合が全体の約8割を占めている。また、21時間以上と回答した学生の割合は年々減少傾向にある。
- ・ キャンパス別で見ると、湘南ひらつかキャンパスのほうが勤務時間の長い学生が多い。
- ・ 学部別で見ると、週10時間以内と回答した学生は人間科学部で57.4%と最も高く、経営学部で21.3%と低い。
- ・ 学年別で見ると、1年次と4年次で週10時間以内と回答した学生の割合が高い。

### 一週間の勤務時間(全学/キャンパス/学部別/学年別/課程別)



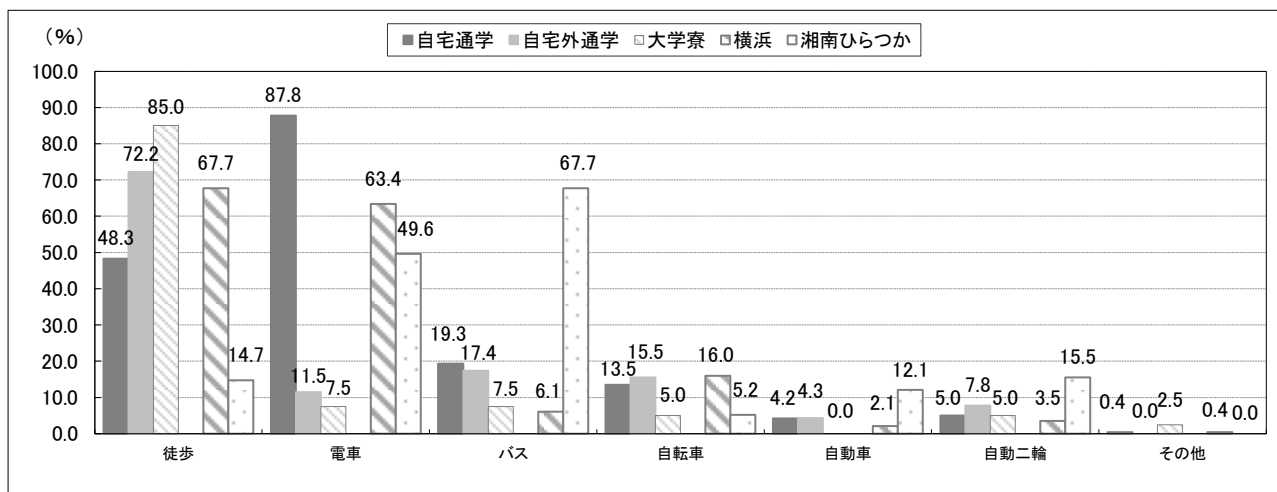
## 5. 通学手段と所要時間について

Q9.あなたが通学に利用している交通手段で移動時間の長いものを2つまで選び、該当する番号を選択してください。

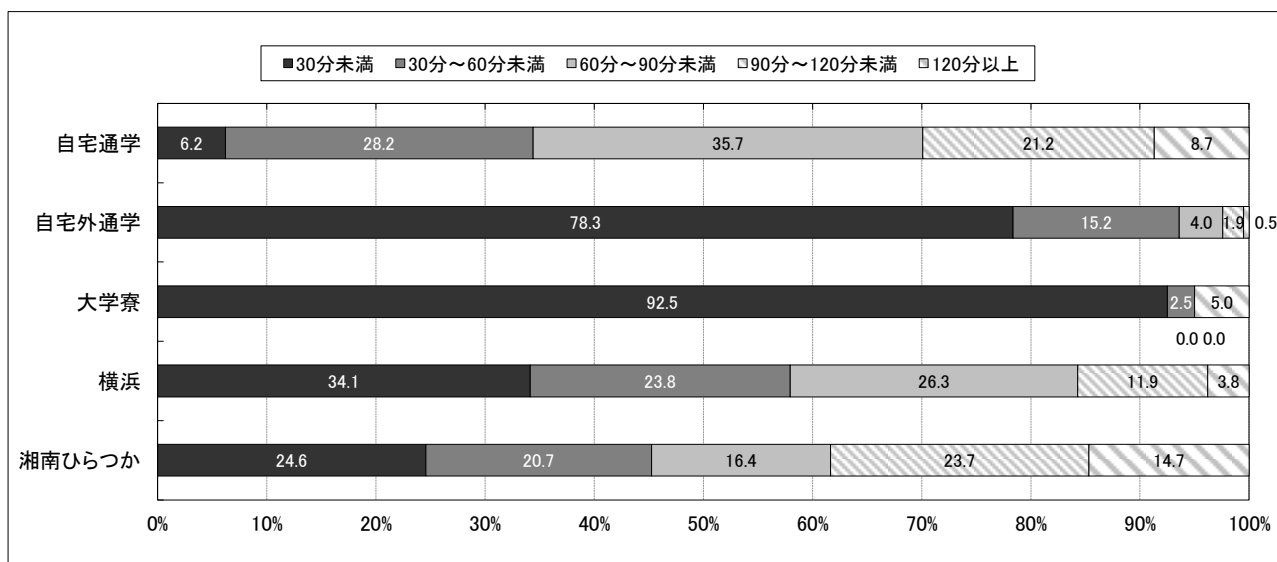
Q10.通学にかかる片道の所要時間について、該当する番号1つを選択してください。

- ・ 通学に利用している交通機関、通学にかかる片道の所要時間について、自宅通学と自宅外通学、大学寮で分けて集計を行った。
- ・ 自宅通学生が利用している交通機関で多いものから順に「電車」87.8%、「徒歩」48.3%、「バス」19.3%と続いている。また、片道の所要時間については、「60～90分未満」35.7%、「30～60分未満」28.2%、「90～120分未満」21.2%と続いている。
- ・ 自宅外通学生が利用している交通機関で多いものから順に、「徒歩」72.2%、「バス」17.4%、「自転車」15.5%と続いている。「電車」は11.5%である。また、片道の所要時間については、「30分未満」78.3%、「30～60分未満」15.2%と9割以上の学生が1時間未満の所要時間で通学している。
- ・ キャンパス別の交通手段「徒歩」「バス」では顕著な差が見られ、立地条件の違いがその差となって表れている。また片道の所要時間については、横浜キャンパスの84.2%が90分以内の通学が可能となっているのに対して、湘南ひらつかキャンパスは38.4%が通学に90分以上かかっており、通学に負担が掛かっている現状が見て取れる。

### 通学に利用している交通手段(住居形態別/キャンパス別)



### 片道の所要時間(住居形態別/キャンパス別)



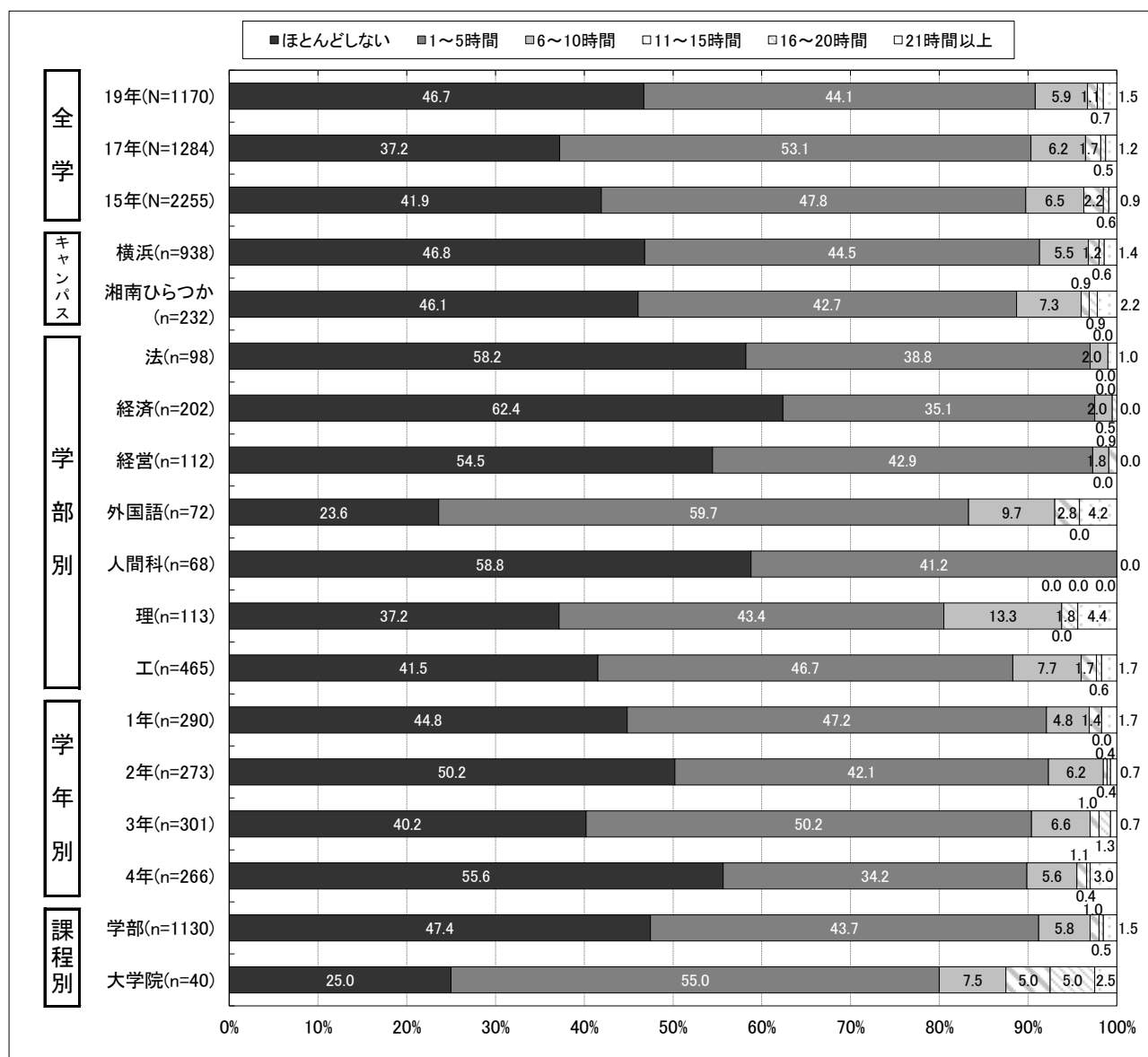


## 6. 1週間の予習、復習時間について

Q11.授業の予習、復習についてお尋ねします。1週間の予習、復習にかかる時間は平均して何時間ですか。

- ・全学で見ると、「ほとんどしない」が46.7%と最も多く、次いで「1～5時間」が44.1%となった。前回(17年)と比べると「ほとんどしない」が9.5ポイント増加し、「1～5時間」が9ポイント減少した。
- ・キャンパス別で見ると、あまり大きな差がみられなかった。
- ・学部別で見ると、「ほとんどしない」という回答は経済学部で62.4%と最も多い。また、「1～5時間」では外国語学部で59.7%と最も多い。6時間以上の割合では理学部が多くなっている。
- ・学年別で見ると、4年次では「ほとんどしない」が55.6%と最も多い。
- ・課程別で見ると、大学院では1時間以上予習復習にあてている学生が75.0%であった。

### 1週間の予習、復習時間(全学／キャンパス／学部別／学年別／課程別)



## Ⅱ. 心と体の健康について

### 1. 現在抱えている問題について

Q12-1.あなたが現在問題である(不安に思う・悩んでいる)と感じていることはありますか。

該当する番号すべてを選択してください。

Q13.【Q12-1で④人間関係を選択した方にお尋ねします。】どのような「人間関係」で悩んでいますか。

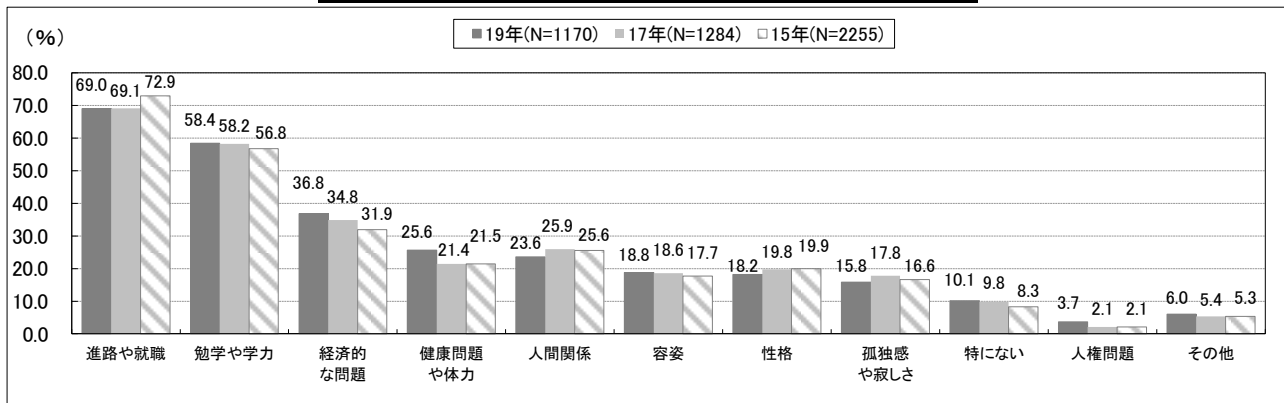
該当する番号すべてを選択してください。

Q14.【Q12-1で⑦人権問題を選択した方にお尋ねします。】どのような「人権問題」で悩んでいますか。

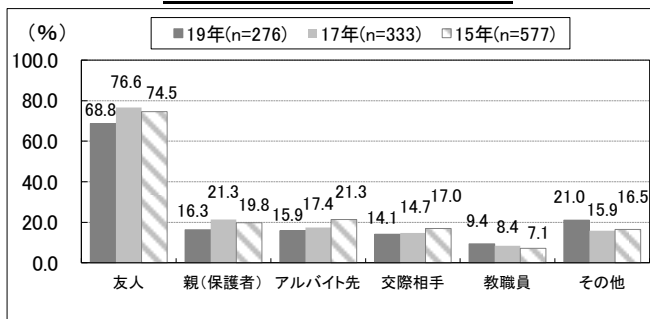
該当する番号すべてを選択してください。

- ・グラフの項目の並び順は、全学の今回(19年)で回答が多い項目を左から順に並べている。
- ・全学でみると「進路や就職」が69.0%と最も多く、過去2回と同様である。  
「人間関係」と回答した人の中では、「友人」との関係で悩んでいるという回答が68.8%と最も多い。  
「人権問題」と回答した人の中では、「パワーハラスメント」が46.5%で最も多い。また「アカデミックハラスメント」と回答した学生の割合は前回より15ポイント増の37.2%であった。
- ・学年別でみると、1～3年次の学生は「進路や就職」に一番悩んでいることがわかる。  
また、「勉学や学力」についての悩みは、学年が進むにつれて年々減少している。  
「人間関係」では、どの学年でも「友人」の回答割合が最も多い。
- ・課程別でみると、学部・大学院ともに「進路や就職」の割合が最も高い。  
「人権問題」では学部で「その他」が45.0%であった。

#### 現在抱えている問題について(全学)

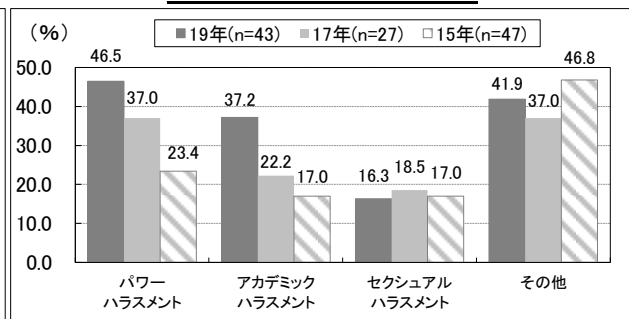


#### 人間関係(全学)



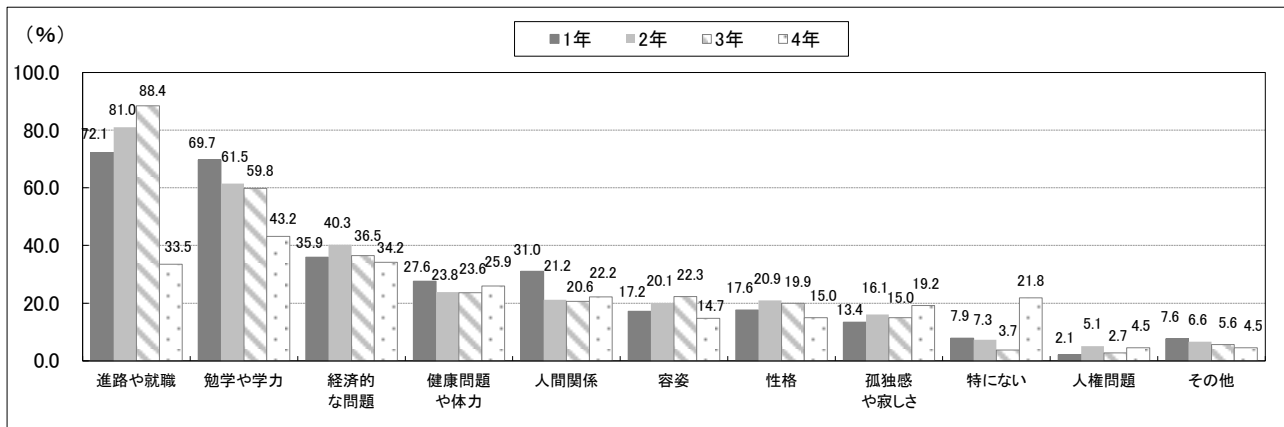
※人間関係をマークした方のみ回答

#### 人権問題(全学)

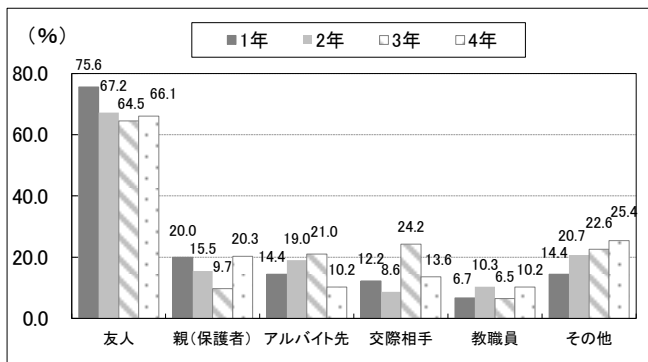


※人権問題をマークした方のみ回答

## 現在抱えている問題について(学年別)

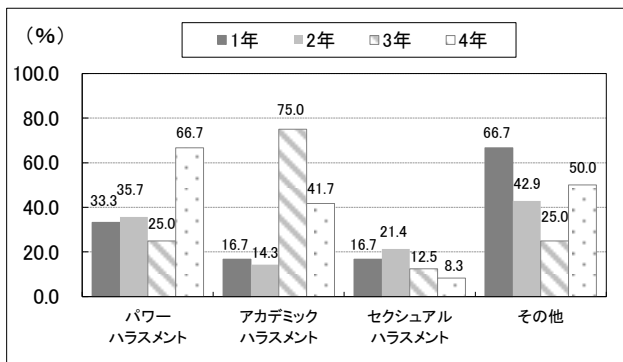


### 人間関係(学年別)



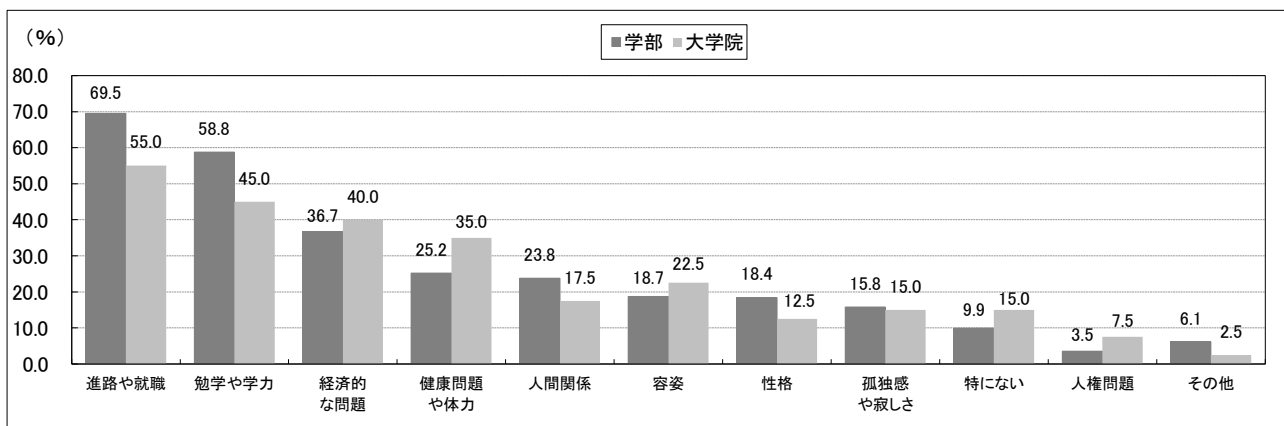
※人間関係をマークした方のみ回答

### 人権問題(学年別)

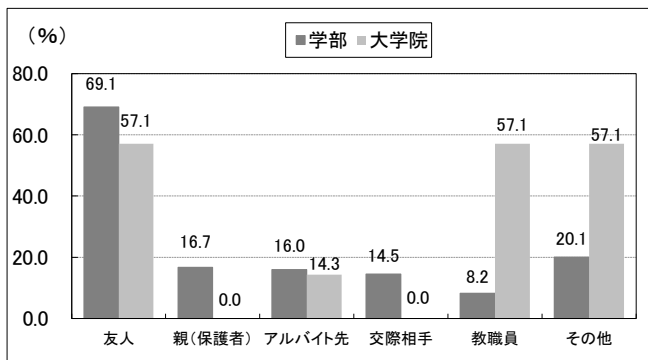


※人権問題をマークした方のみ回答

## 現在抱えている問題について(課程別)

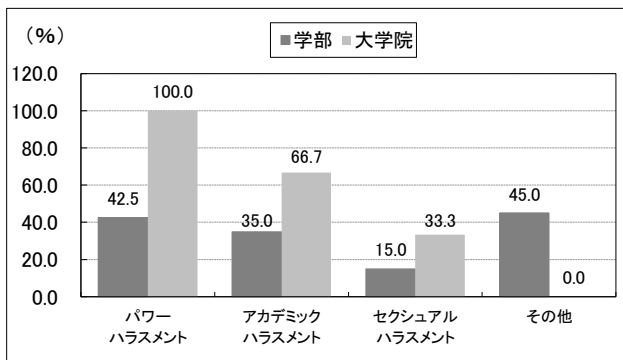


### 人間関係(課程別)



※人間関係をマークした方のみ回答

### 人権問題(課程別)



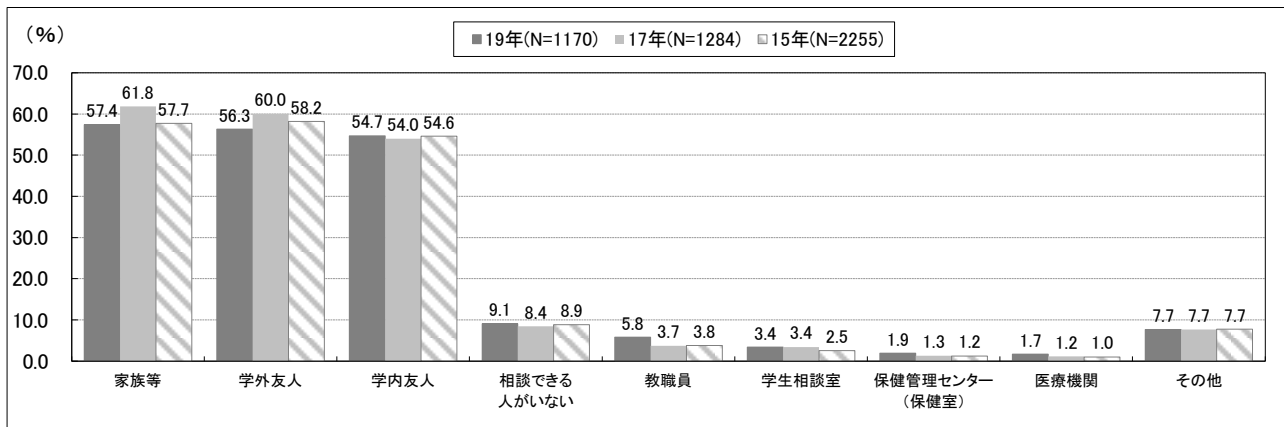
※人権問題をマークした方のみ回答

## 2. 悩みを相談する相手について

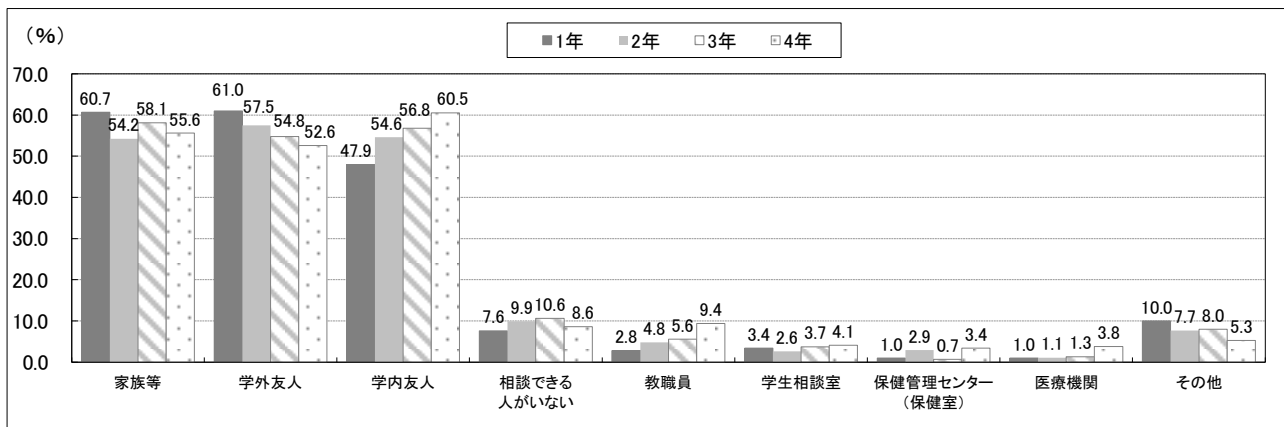
Q15.あなたが悩みを抱えたとき、だれに相談しますか。該当する番号すべてを選択してください。

- ・グラフの項目の並び順は、全学の今回(19年)で回答が多い項目を左から順に並べている。
- ・全学で見ると、「家族等」が57.4%、「学外友人」が56.3%、「学内友人」が54.7%と続いている。上位3項目内で若干の入れ替わりがあるが、過去2回の調査とも当該項目への回答が多くなっている。
- ・学年別で見ると、「学内友人」の割合は年次が上がるごとに増加し、一方で「学外友人」の割合は減少している。
- ・課程別で見ると、大学院は「教職員」の割合が学部より6.9ポイント高い。

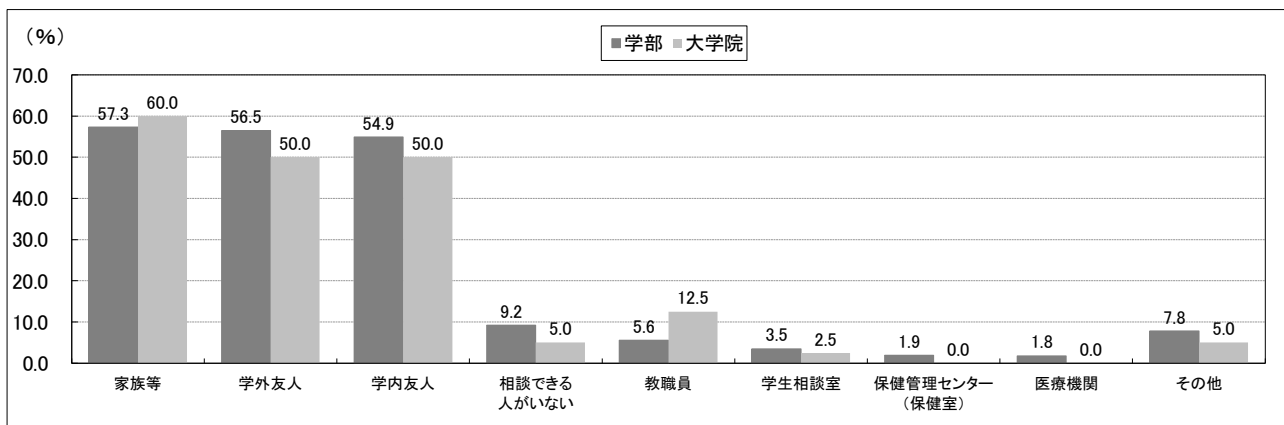
### 悩みを相談する相手について(全学)



### 悩みを相談する相手について(学年別)



### 悩みを相談する相手について(課程別)

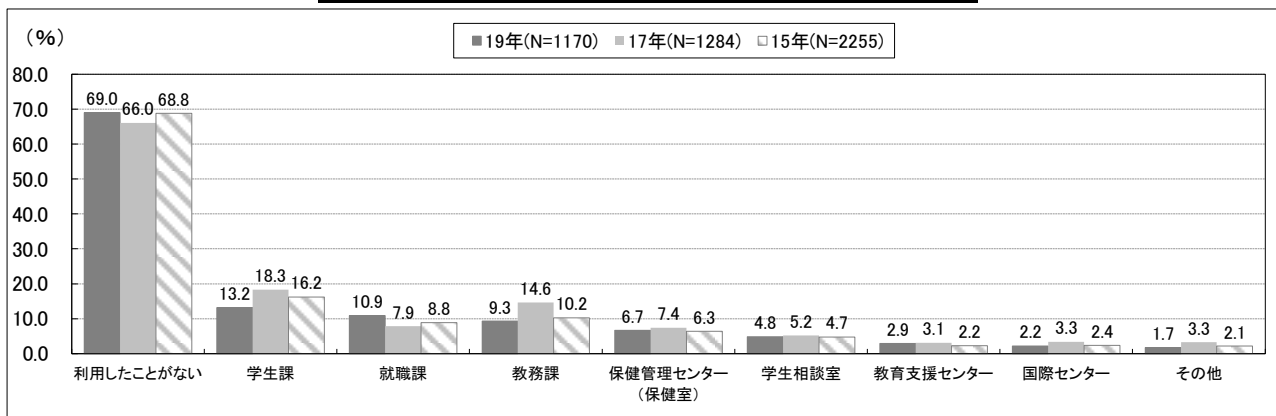


### 3. 学内の窓口や施設の利用について

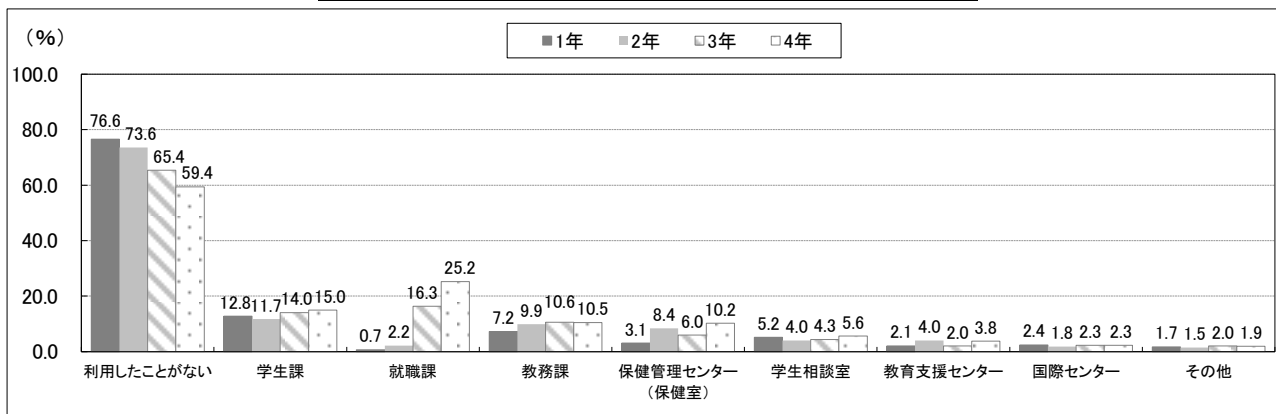
Q16.あなたは、不安や悩みなどの問題に直面したとき、学内の窓口や施設を利用したことがありますか。  
以下の項目から、利用したことのある窓口・施設すべてを選択してください。

- ・グラフの項目の並び順は、全学の今回(19年)で回答が多い項目を左から順に並べている。
- ・全学で見ると、「利用したことがない」の回答が69.0%と最も多く、次いで「学生課」で13.2%であった。
- ・学年別で見ると、「就職課」への相談が学年が上がるにつれて多くなり、4年次で25.2%となっている。
- ・課程別で見ると、大学院では「学生課」や「教務課」を利用する割合が学部よりも5ポイント以上低い。

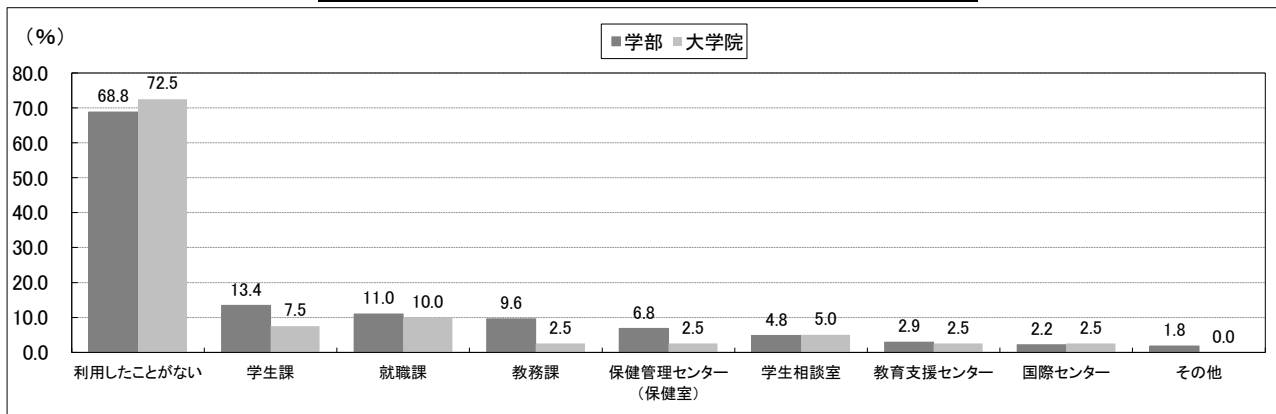
#### 利用した窓口・施設について(全学)



#### 利用した窓口・施設について(学年別)



#### 利用した窓口・施設について(課程別)

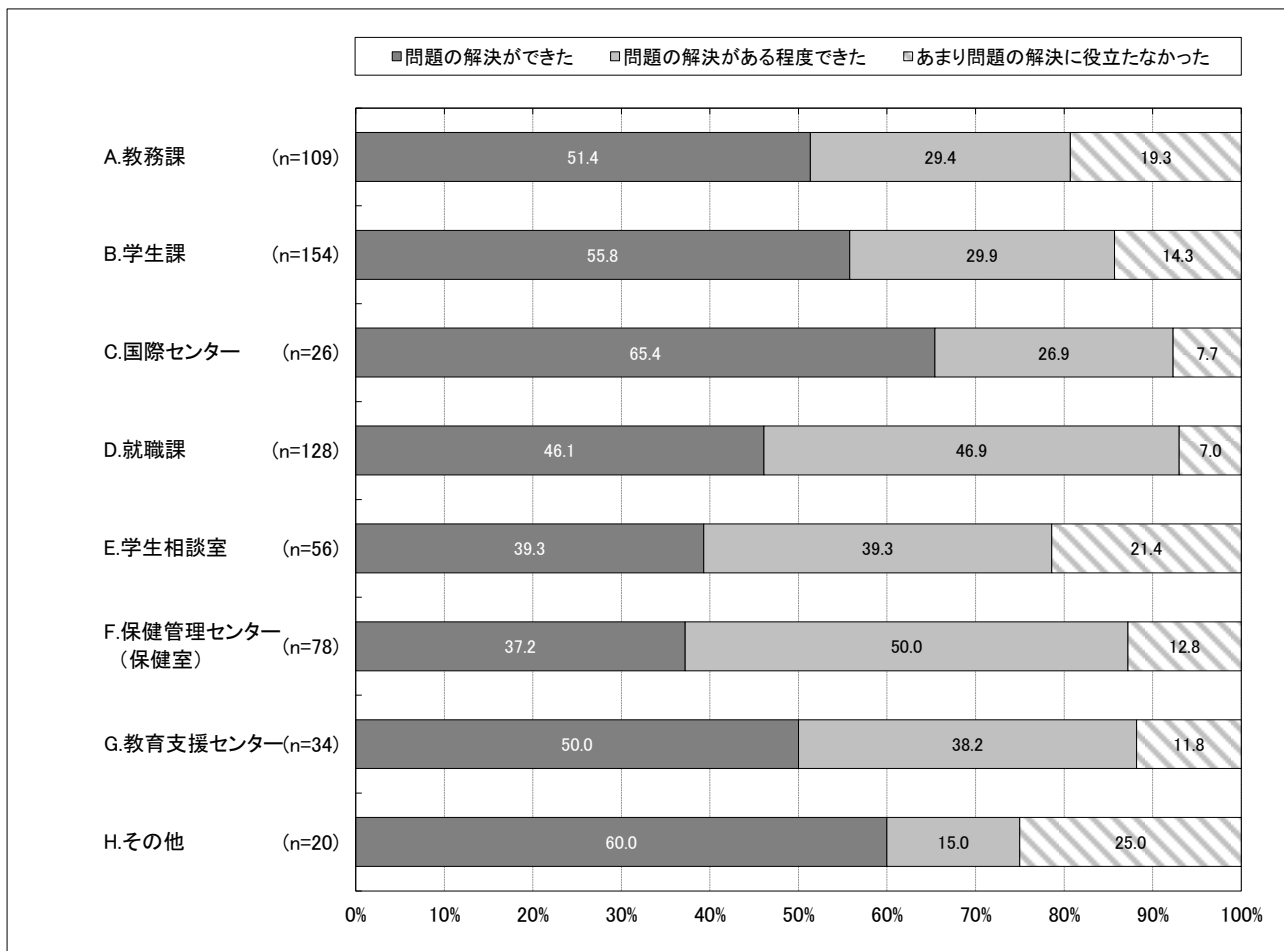


#### 4. 学内の窓口や施設を利用しての感想について

Q17. Q16で選択した、利用した窓口・施設について  
感想をお答えください。(それぞれ1つ)

- ・ 学生相談室とその他を除き、8割以上の学生が問題の解決に役立った(「問題の解決ができた」+「問題の解決がある程度できた」と回答している。
- ・ 「問題の解決ができた」の割合が最も高いのは国際センターの65.4%で、最も低いのは保健管理センター(保健室)の37.2%であった。
- ・ 「あまり問題の解決に役立たなかった」の割合は「その他」と「学生相談室」で高く、それぞれ25.0%と21.4%であった。

#### 利用しての感想(全学)

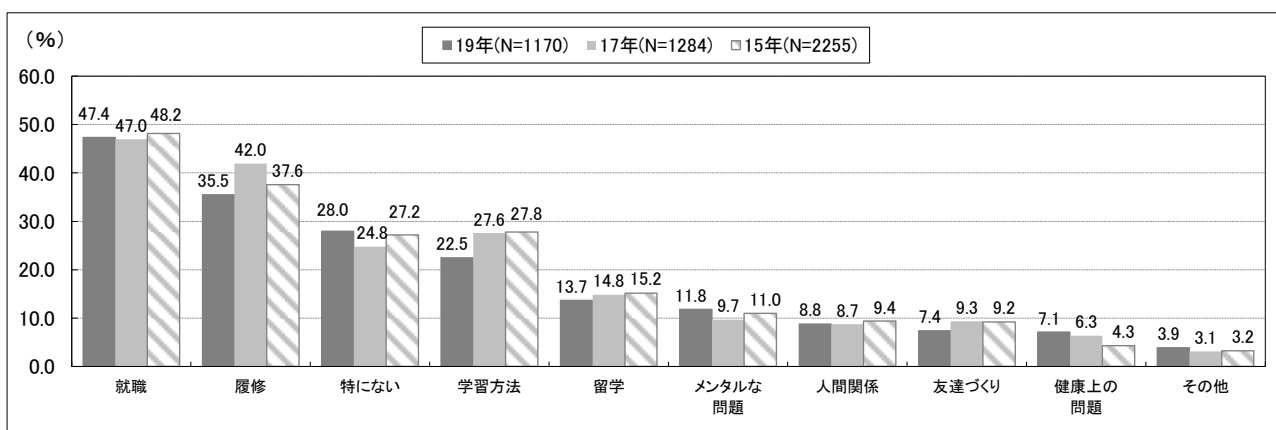


## 5. 学生のピアサポートについて

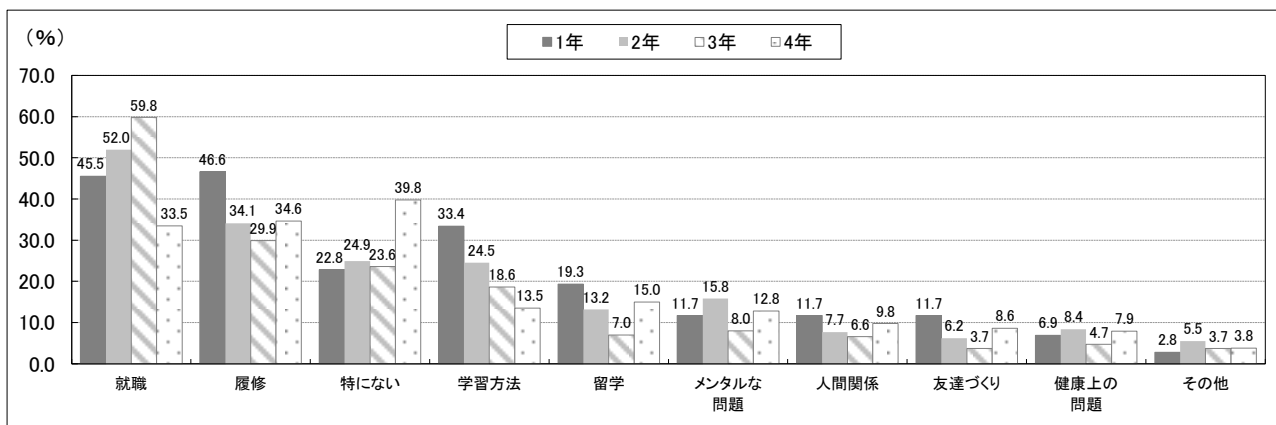
Q18. 学生が学生を支援する制度＝ピアサポートを実施するとしたら、あなたが相談してみたいこと、支援を望むことは何ですか。当てはまるものすべてを選択してください。

- ・ グラフの項目の並び順は、全学の今回(19年)で回答が多い項目を左から順に並べている。
- ・ 全学で見ると、「就職」が47.4%、「履修」が35.5%、「特にない」が28.0%と続いている。また「学習方法」、「留学」が年々減少し、「健康上の問題」が増加傾向にある。
- ・ 学年別で見ると、2年次と3年次では「就職」が最も回答が多い。「履修」は1年次が46.6%と最も多い。
- ・ 課程別で見ると、学部より大学院のほうが割合が多いのは「留学」と「健康上の問題」であった。

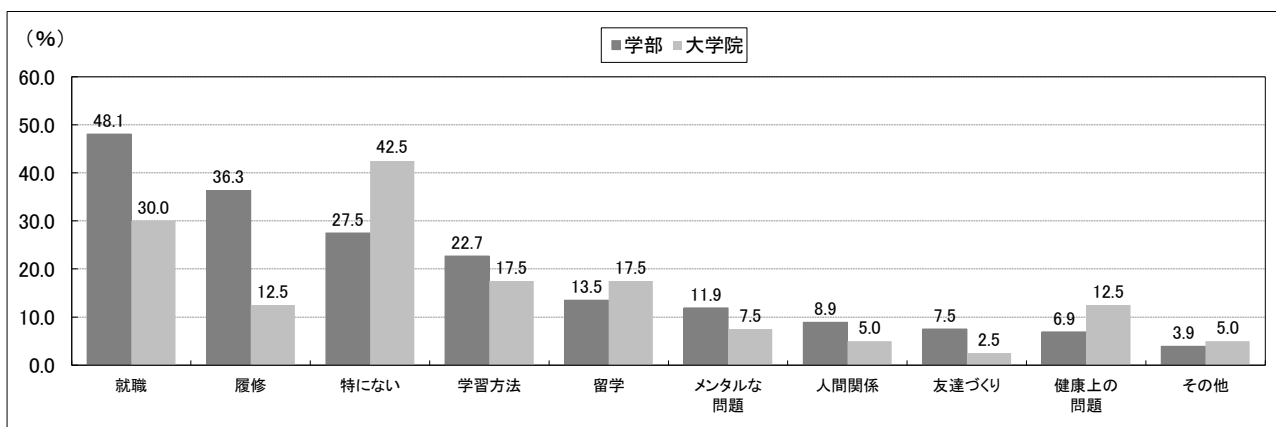
### 相談してみたいこと、支援を望むこと(全学)



### 相談してみたいこと、支援を望むこと(学年別)



### 相談してみたいこと、支援を望むこと(課程別)

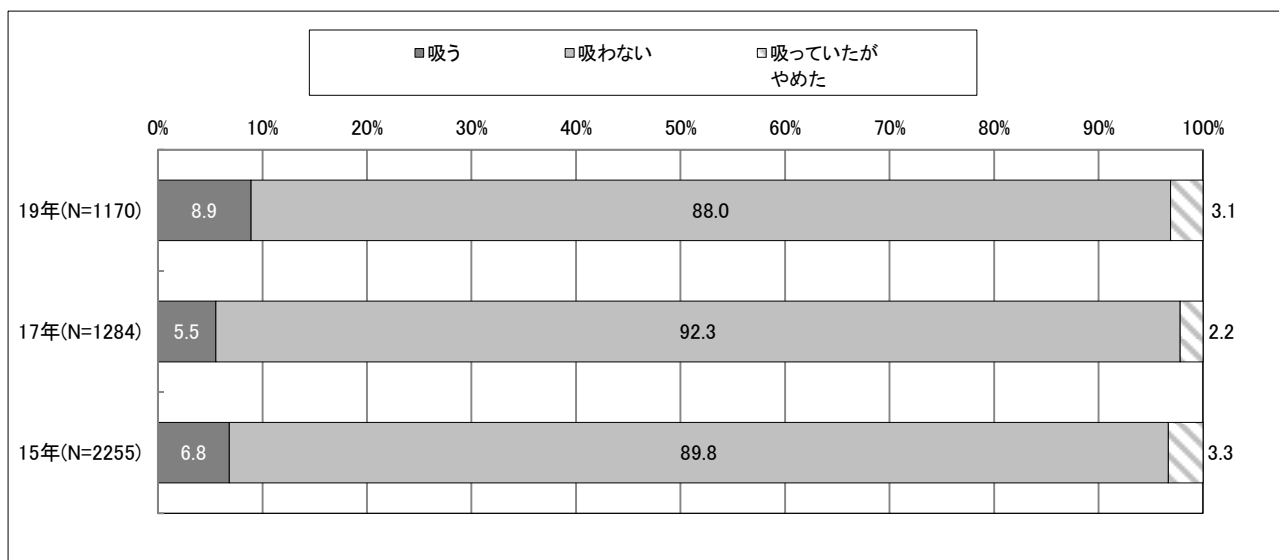


## 6. 喫煙について

Q19.喫煙についてあなたはタバコを吸いますか。該当する番号1つを選択してください。  
 Q20.大学敷地内喫煙についてどう思われますか。該当する番号1つを選択してください。

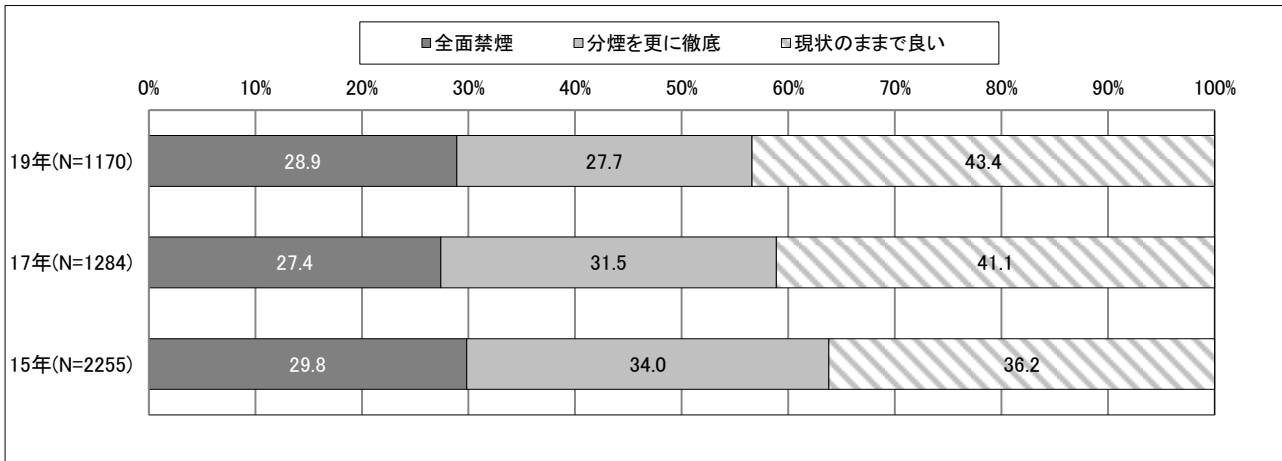
- ・ 全学で見ると、「吸う」と回答した人は8.9%と前回(17年)から3.4ポイント増加した。
- ・ 敷地内禁煙については、全学で見ると、「現状のままで良い」は増加傾向が続いている。「分煙をさらに徹底」は年々減少し、「全面禁煙」は過去の調査同様3割弱と一定数の学生が全面禁煙を望んでいる。
- ・ 学年別で見ると、「全面禁煙」の回答は年次が上がるにつれて減少し、「分煙をさらに徹底」は年次が上がるにつれて増加する。
- ・ 課程別で見ると、大学院の40%が「分煙をさらに徹底」と回答した。

### タバコを吸いますか(全学)

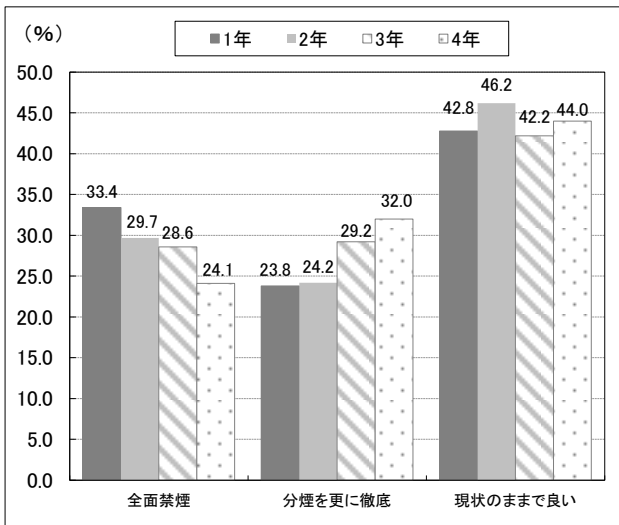




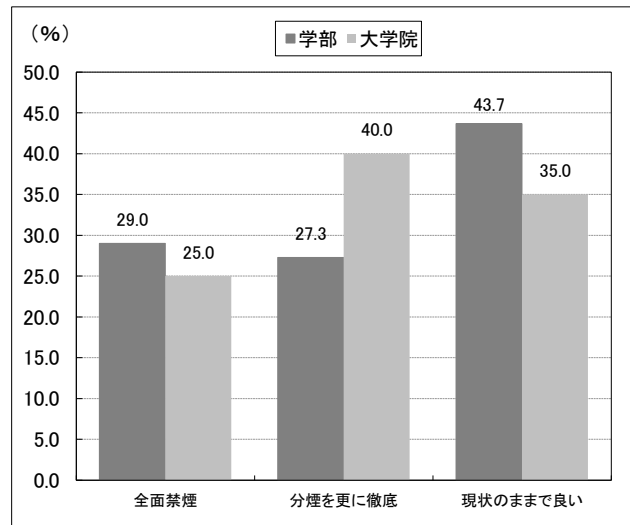
## 全面禁煙について(全学)



### 全面禁煙(学年別)



### 全面禁煙(課程別)



### Ⅲ. 課外活動について

#### 1. 部活動やサークル活動への参加について

Q21.あなたは部活動やサークル活動などに参加していますか？学外の活動も含めてお答えください。(1つ)  
 Q22.Q21で①「参加している」とお答えの方にお尋ねします。所属団体について、当てはまるものすべてを選択してください。(いくつでも)

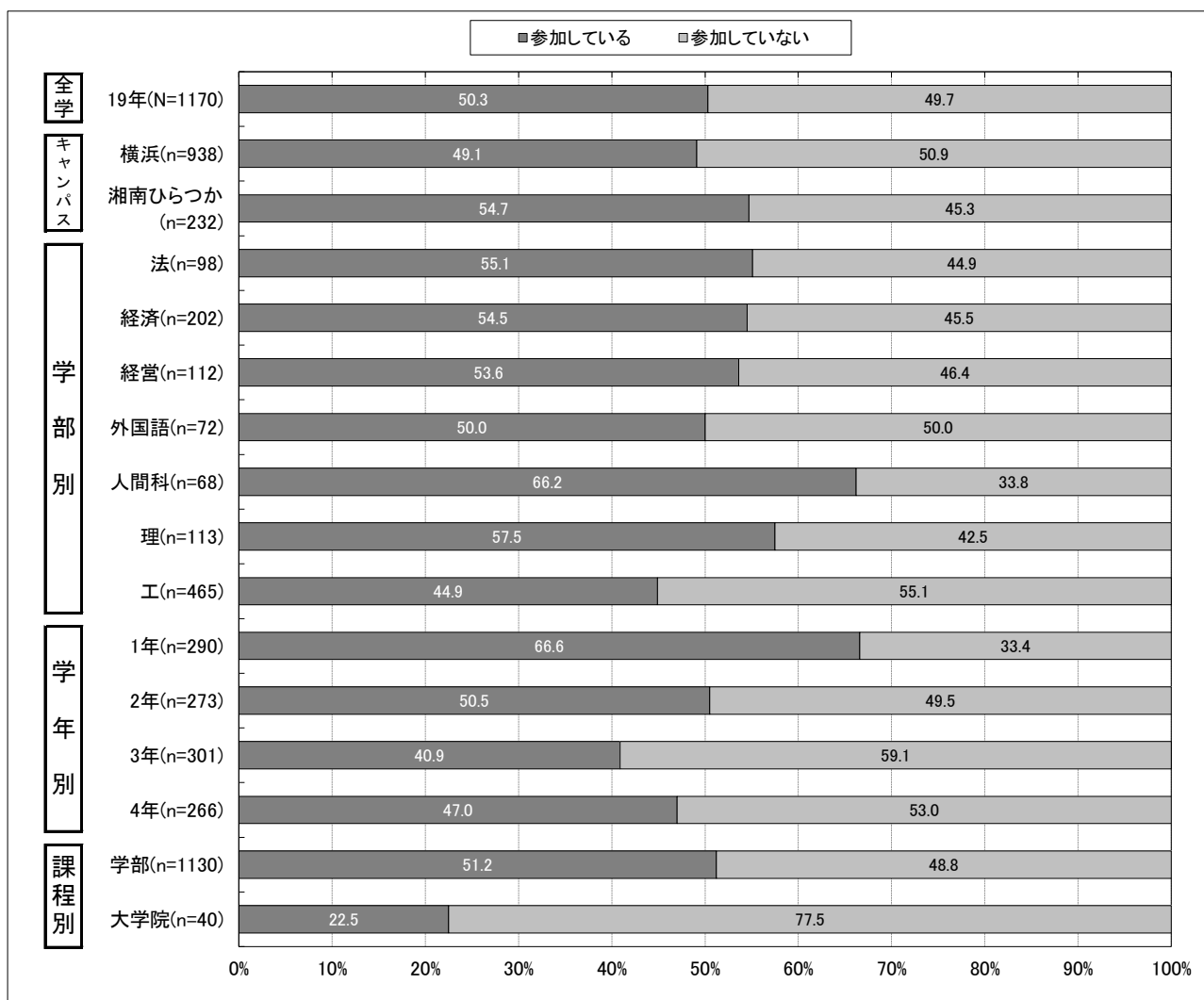
Q21について

- ・ 全学で見ると、部活動やサークル活動に参加している学生としていない学生の割合は半々である。
- ・ 学部で見ると、「参加している」の回答率が最も高いのは人間科学部の66.2%で、最も低いのは工学部の44.9%であった。
- ・ 学年別で見ると、部活動・サークル活動への参加率は3年次まで学年が上がるにつれて減少する傾向にある。
- ・ 課程別で見ると、大学院は「参加している」の回答率が22.5%と4分の1を下回る結果となった。

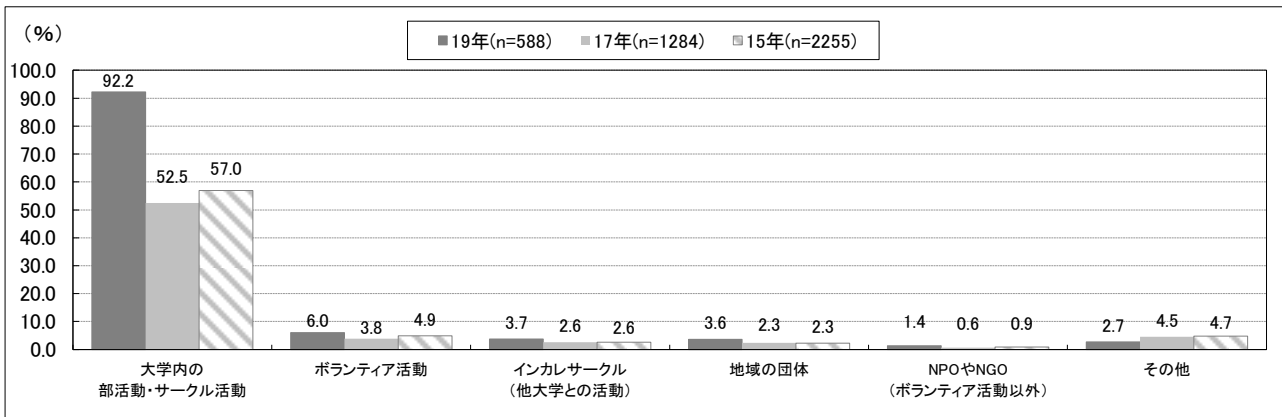
Q22について

- ・ グラフの項目の並び順は、全学の今回(19年)で回答が多い項目を左から順に並べている。
- ・ 全学で見ると、「大学内の部活動・サークル活動」が最も多く92.2%であった。
- ・ 学年別で見ると、すべての学年で8割以上が「大学内の部活動・サークル活動」と回答した。

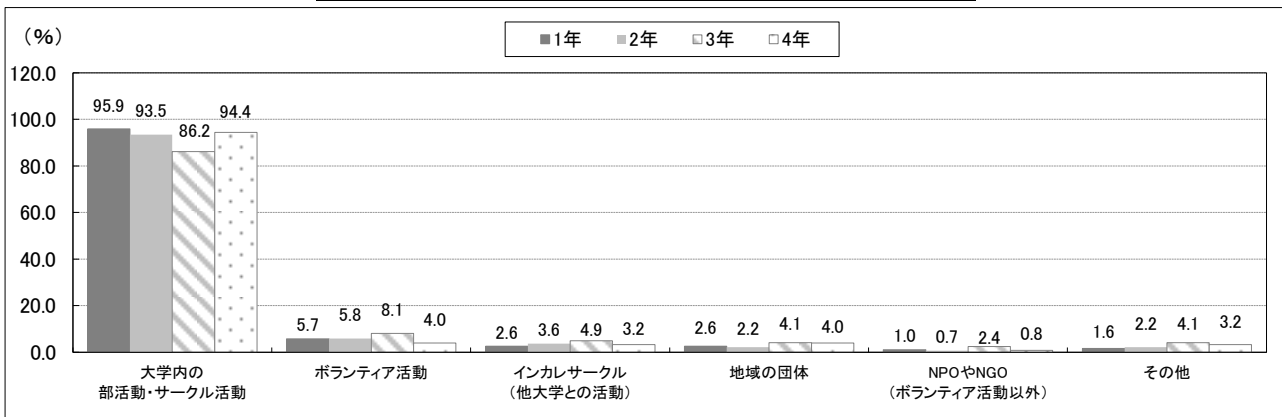
#### 部活動やサークル活動の参加状況(全学/キャンパス/学部別/学年別/課程別)



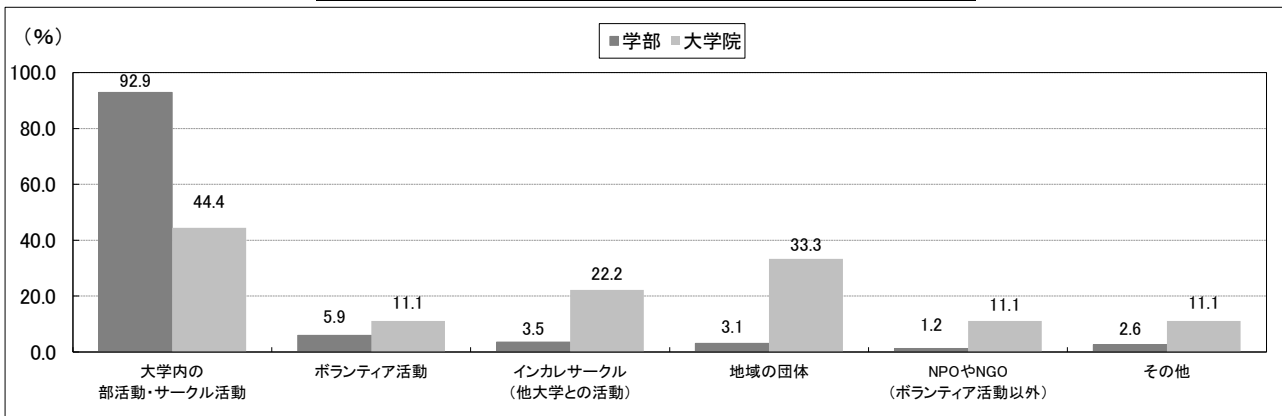
### 参加している部活動やサークル活動(全学)



### 参加している部活動やサークル活動(学年別)



### 参加している部活動やサークル活動(課程別)

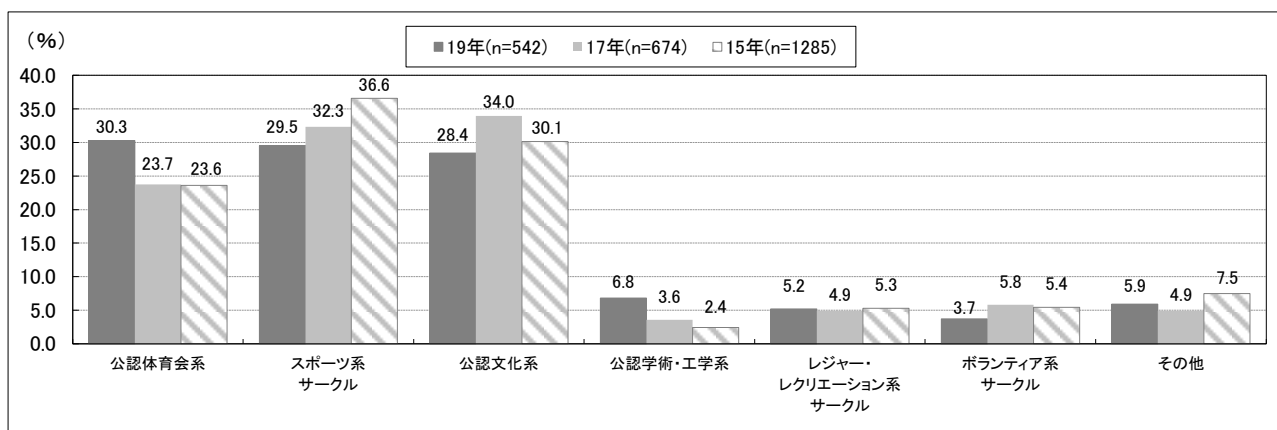


## 2. 所属団体の活動内容について

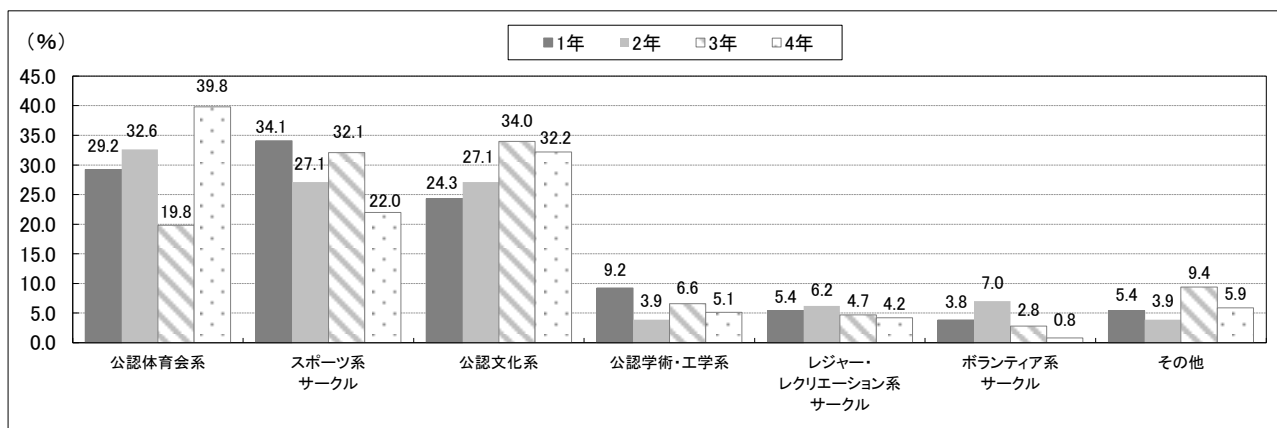
Q23.【Q22で①大学内の部活動・サークル活動とお答えの方にお尋ねします。】  
所属団体の活動内容をお答えください。

- ・グラフの項目の並び順は、全学の今回(19年)で回答が多い項目を左から順に並べている。
- ・全学で見ると、「公認体育会系」が30.3%と最も多い。前回(17年)と比べると、「公認文化系」が5.6ポイント減少し、「スポーツ系サークル」も減少傾向が続いている。
- ・学年別で見ると、3年次では最も多かったのが「公認文化系」で全学より5.6ポイント高く、一方で「公認体育会系」は全学より10.5ポイント低く、全学とは異なる傾向を示した。

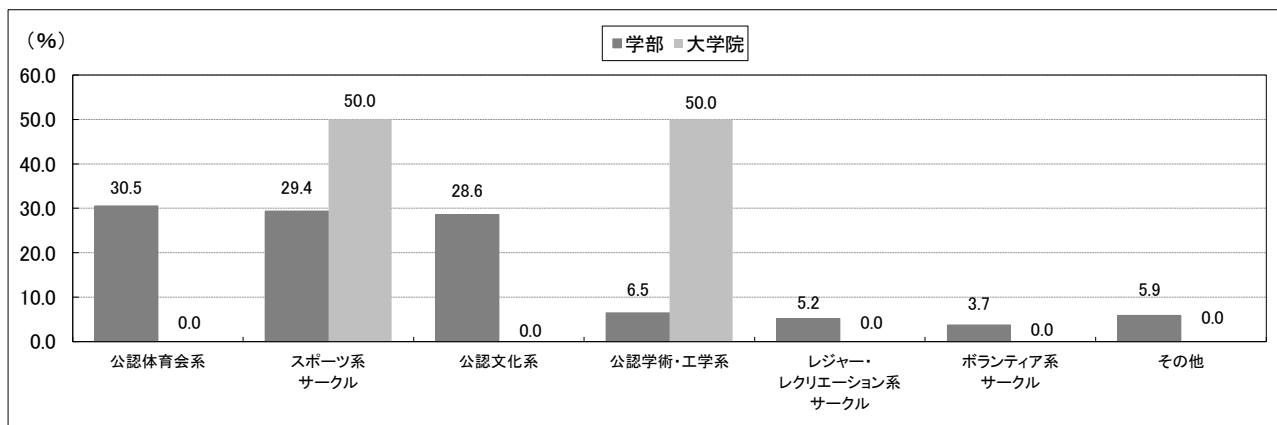
### 所属団体の活動内容(全学)



### 所属団体の活動内容(学年別)



### 所属団体の活動内容(課程別)

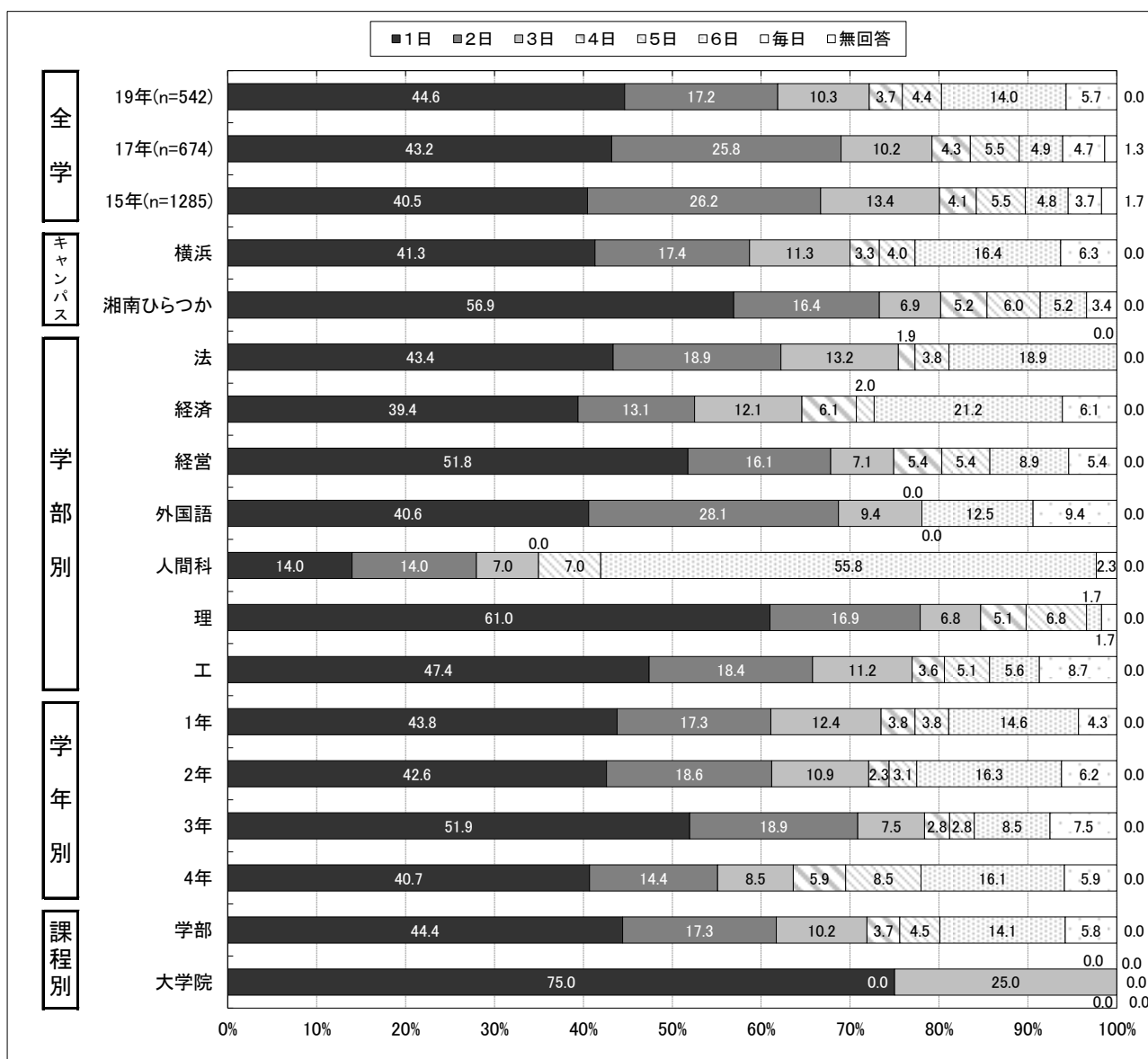


### 3. 一週間の活動日数について

Q24.【Q22で①大学内の部活動・サークル活動とお答えの方にお尋ねします。】  
一週間の活動日は何日ですか。

- ・ 全学で見ると、約6割が一週間の活動日が2日以内と回答した。
- ・ キャンパス別で見ると、横浜キャンパスでは一週間に2日以上活動している学生の割合が湘南ひらつかキャンパスより15.6ポイント高い。
- ・ 学年別で見ると、3年次で「一週間に1日」が51.9%と他の年次と比較して8ポイント以上高い。

一週間の活動日(全学/キャンパス/学部別/学年別/課程別)



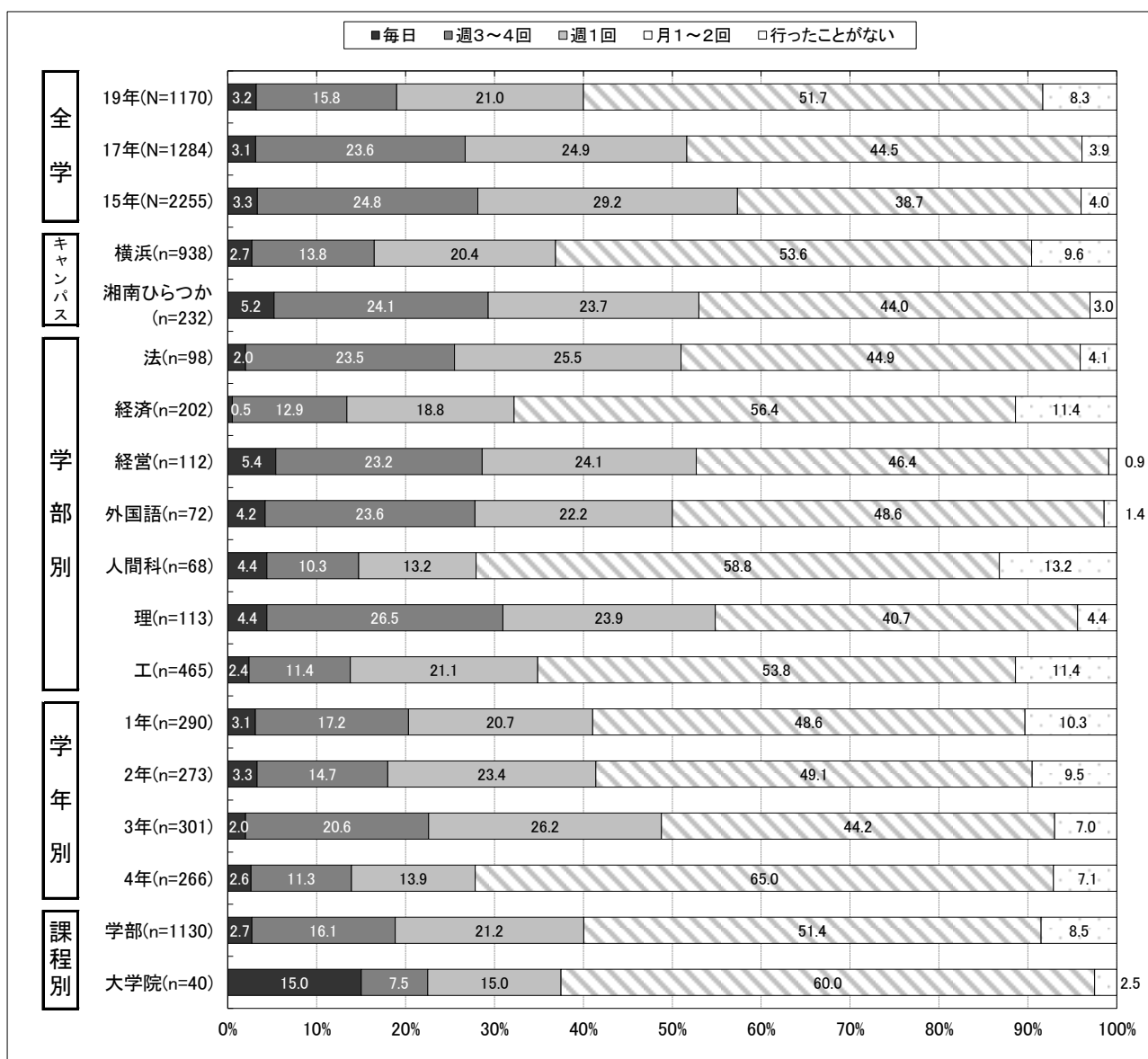
## IV. 図書館の利用について

### 1. 図書館の利用頻度と利用目的

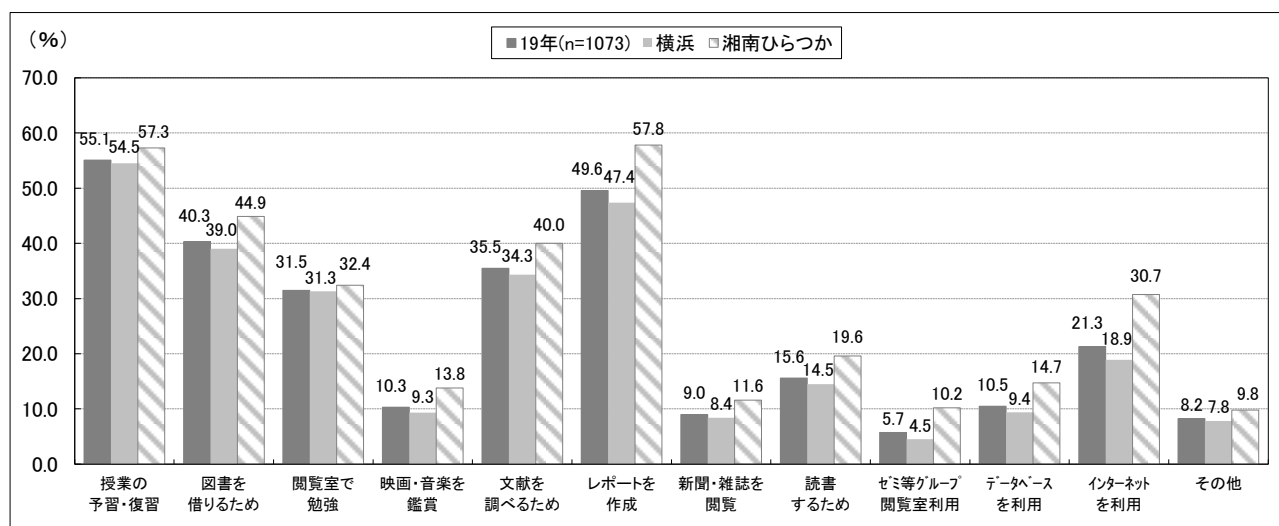
Q25. 図書館の利用頻度はどのくらいですか。該当する番号1つを選択してください。  
 Q26. 図書館をどのように利用していますか。該当する番号すべてを選択してください。

- ・ 全学で見ると、過半数の学生が「月1～2回」と回答し、前回(17年)よりも7.2ポイント増加した。
- ・ キャンパス別にみると、週1回以上利用する学生は、湘南ひらつかキャンパスの方が横浜キャンパスより16.1ポイント高い。
- ・ 学部別で見ると、「週1回」以上利用していると回答した学生の割合は、理学部、経営学部、法学部の順で多い。
- ・ 学年別で見ると、1年次から3年次にかけて利用頻度が多く、4年次の利用頻度が少ない。
- ・ 課程別で見ると、大学院は毎日利用していると回答した学生の割合が15.0%と高い。

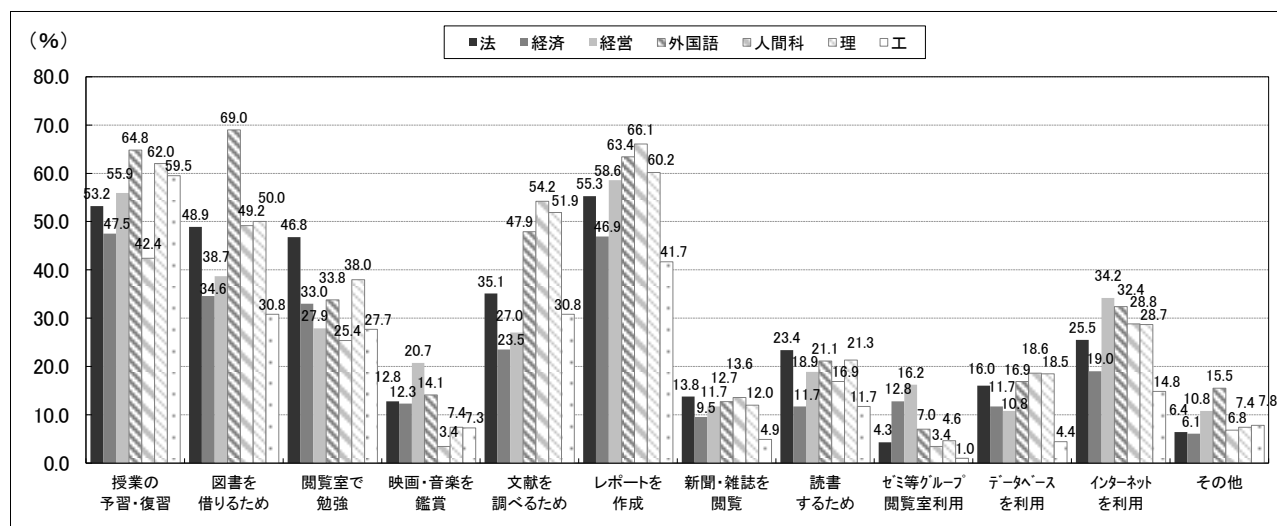
図書館の利用頻度(全学/キャンパス/学部別/学年別/課程別)



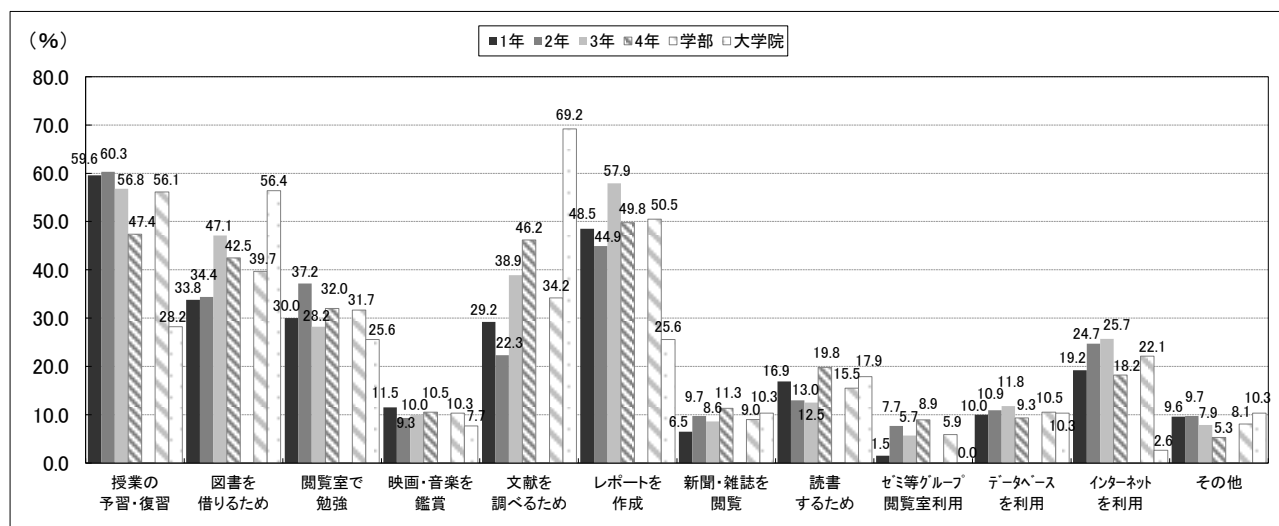
## 図書館の利用目的(全学／キャンパス)



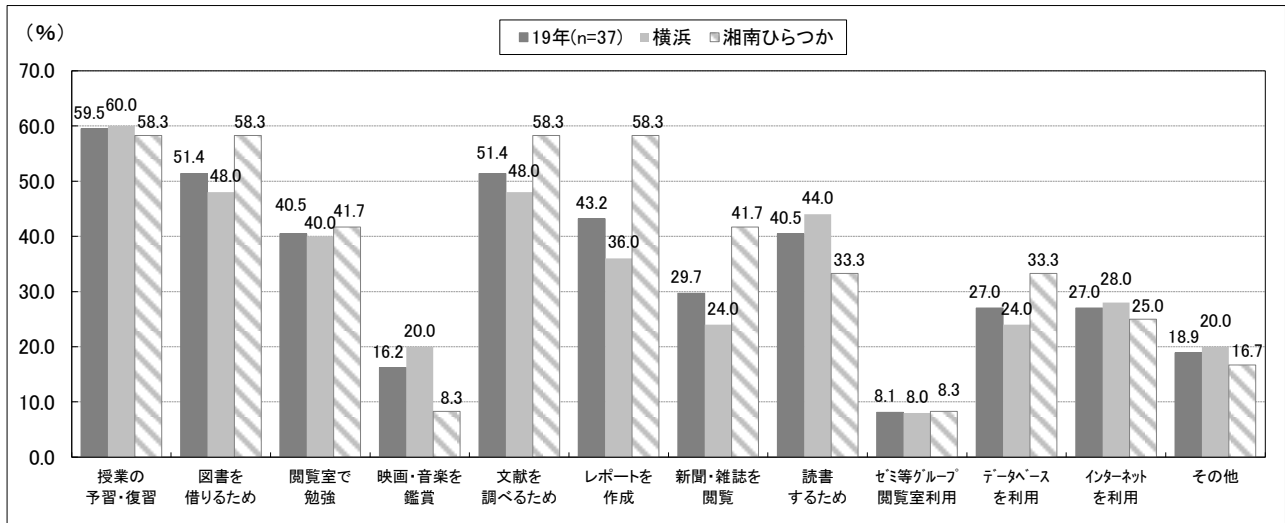
## 図書館の利用目的(学部別)



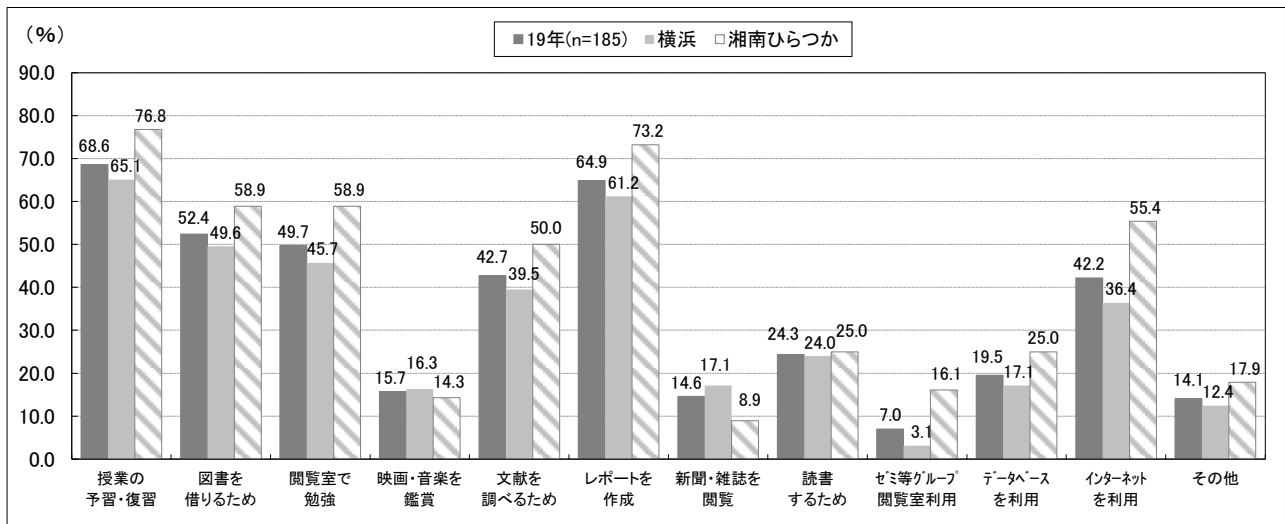
## 図書館の利用目的(学年別／課程別)



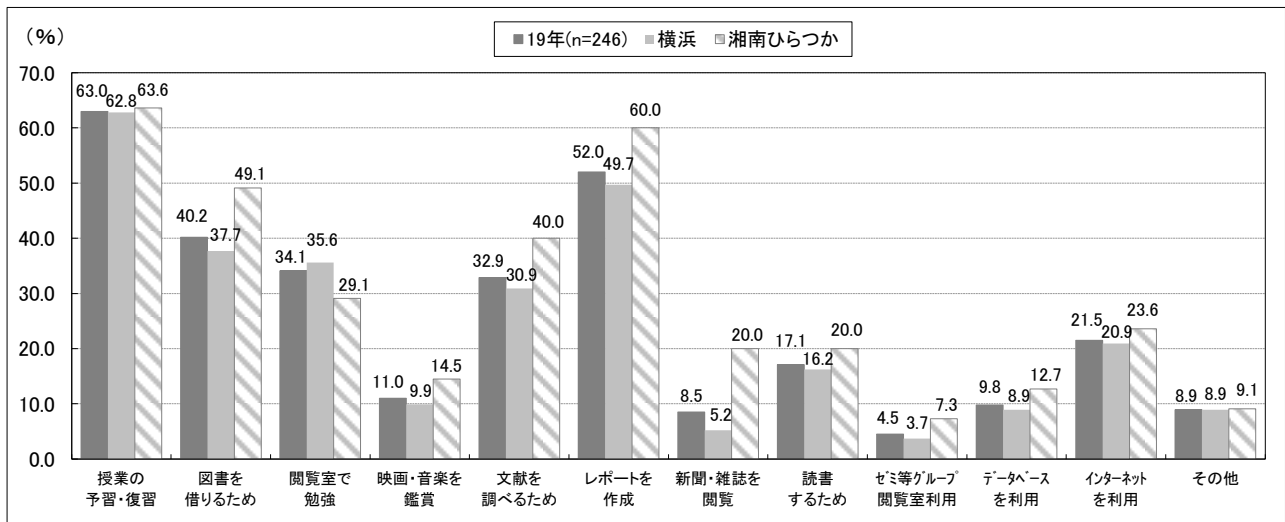
### 図書館の利用目的【毎日利用】(全学／キャンパス)



### 図書館の利用目的【週3~4回利用】(全学／キャンパス)

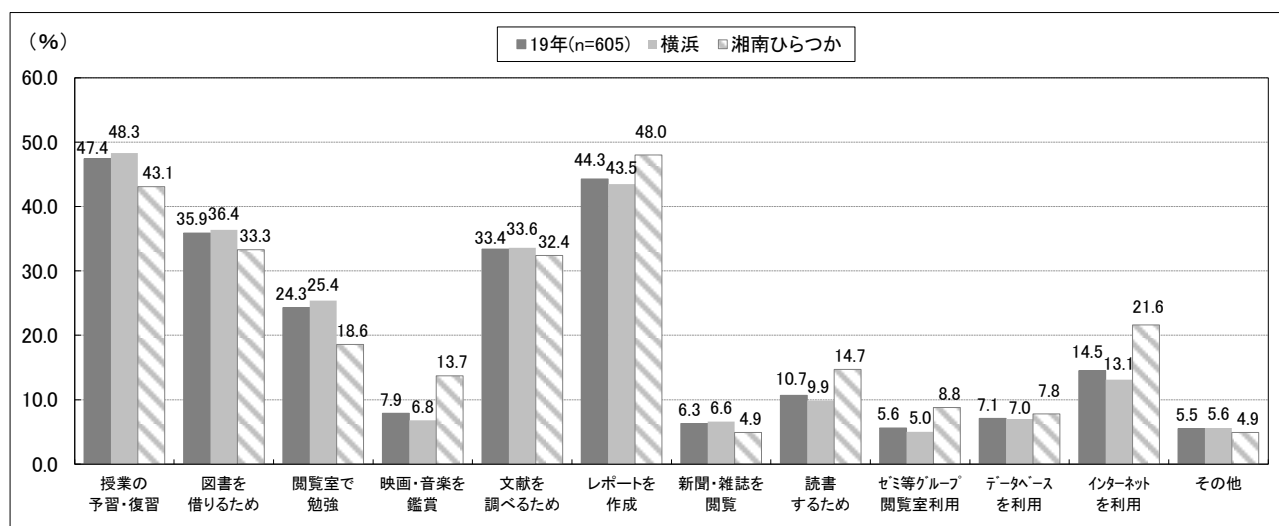


### 図書館の利用目的【週1回利用】(全学／キャンパス)





## 図書館の利用目的【月1～2回利用】(全学／キャンパス)



## V. 学生支援体制について

### 1. 学生生活満足度(4段階評価)

Q27.あなたは学生生活に関わる次のことにどの程度満足していますか。  
以下の各項目についてあなたの気持ちに一番近い番号1つを選択してください。

- ・項目別に今回(19年)の全学での満足度(「ある程度満足している」以上の回答率合計)をみていくと、「図書館」が82.6%で最も高く、次いで「情報処理の設備について」が69.8%で続く。
- ・「校舎などの施設」は、横浜キャンパスの方が8.4ポイント満足度が高い。学部別では、人間科学部の満足度が73.5%で最も高い。学年別では1年次の満足度が74.1%で最も高い。課程別では大きな差はみられなかった。
- ・「図書館」は、横浜キャンパスのほうで5.2ポイント満足度が高い。学部別では、人間科学部の満足度が89.7%で最も高い。学年別では、満足度の差はほとんどみられなかった。課程別では、学部のほうが5.2ポイント満足度が高い。
- ・「情報処理の設備」は、キャンパス別で大きな差がみられなかった。学部別では、人間科学部が85.3%で最も満足度が高い。学年別では、1年次が72.4%で最も満足度が高い。課程別では、学部のほうが12.6ポイント満足度が高い。
- ・「実験・実習・演習等の設備」は、湘南ひらつかキャンパスの方が2.8ポイント満足度が高い。学部別では、理学部と工学部の満足度が70%以上と高い。課程別では、大学院で「全く満足していない」の回答が学部より12.5ポイント高い。
- ・「学食」は、横浜キャンパスの方が満足度が高く、湘南ひらつかキャンパスと比較すると満足度に20ポイント以上の開きがある。学部別では、経営学部の満足度が非常に低い。学年別では、1年次の満足度が高い。
- ・「健康管理」は、横浜キャンパスのほうで5.3ポイント満足度が高い。学部別では、理学部と経済学部の満足度が6割を下回った。学年別では、満足度の差はほとんど見られなかった。課程別では、大学院の満足度が学部より16.4ポイント低い。
- ・「海外留学制度」は、全学で49.3%の学生が「経験していない」と回答している。
- ・「大学からの広報・掲示」は、全学で満足度が50.8%と前回から13.8ポイント減少した。学部別では、外国語学部が63.9%と最も満足度が高い。課程別では、大学院で「あまり満足していない」と「全く満足していない」の合計が半数以上であった。
- ・後半ページには、「経験していない」という回答を母集団から外して点数化し、平均点をグラフ化している。全学で見ると、「図書館」が3.15点で最も高く、「学食」が2.57点で最も低い。

#### 学生生活満足度(全学／キャンパス／学部別／学年別／課程別)

		A. 校舎などの施設について					B. 図書館について				
		とても満足している	ある程度満足している	あまり満足していない	まったく満足していない	経験していない	とても満足している	ある程度満足している	あまり満足していない	まったく満足していない	経験していない
		%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
全学	19年(N=1170)	16.6	50.9	21.6	9.2	1.6	30.3	52.3	9.7	3.0	4.8
	17年(N=1284)	20.6	58.9	15.2	5.1	0.3	32.2	55.0	7.9	2.9	2.0
	15年(N=2255)	20.0	59.3	14.9	5.5	0.3	31.0	53.9	10.1	2.6	2.5
キャンパス	横浜(n=938)	17.3	51.9	20.8	8.5	1.5	31.1	52.5	8.8	2.2	5.3
	湘南ひらつか(n=232)	13.8	47.0	25.0	12.1	2.2	26.7	51.7	12.9	6.0	2.6
学部別	法(n=98)	10.2	61.2	15.3	12.2	1.0	31.6	54.1	9.2	2.0	3.1
	経済(n=202)	14.9	48.5	26.2	9.9	0.5	27.7	59.9	5.9	1.5	5.0
	経営(n=112)	11.6	43.8	32.1	10.7	1.8	23.2	54.5	17.0	3.6	1.8
	外国語(n=72)	13.9	56.9	19.4	6.9	2.8	34.7	54.2	5.6	2.8	2.8
	人間科(n=68)	19.1	54.4	16.2	10.3	0.0	29.4	60.3	4.4	1.5	4.4
	理(n=113)	16.8	49.6	17.7	13.3	2.7	30.1	50.4	8.0	8.8	2.7
	工(n=465)	20.0	50.3	20.6	7.3	1.7	32.7	47.1	11.2	2.6	6.5
学年別	1年(n=290)	20.0	54.1	17.2	7.2	1.4	33.1	50.7	8.3	1.7	6.2
	2年(n=273)	15.8	47.6	25.6	9.9	1.1	29.3	51.6	11.0	3.3	4.8
	3年(n=301)	12.3	51.2	24.9	10.3	1.3	26.6	56.8	10.0	3.0	3.7
	4年(n=266)	18.8	50.4	18.8	9.8	2.3	33.1	49.6	9.0	4.1	4.1
課程別	学部(n=1130)	16.6	50.9	21.7	9.3	1.5	30.4	52.3	9.6	3.0	4.7
	大学院(n=40)	15.0	52.5	20.0	7.5	5.0	25.0	52.5	12.5	2.5	7.5

学生生活満足度(全学／キャンパス／学部別／学年別／課程別)

		C.情報処理の設備について					D.実験・実習・演習等の設備について				
		とても満足している	ある程度満足している	あまり満足していない	まったく満足していない	経験していない	とても満足している	ある程度満足している	あまり満足していない	まったく満足していない	経験していない
		%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
全学	19年(N=1170)	18.9	50.9	17.8	8.1	4.4	17.2	44.4	14.6	5.5	18.4
	17年(N=1284)	21.9	56.2	14.8	3.8	3.3	17.9	46.0	9.3	2.8	24.1
	15年(N=2255)	22.5	54.9	14.5	4.4	3.7	17.5	45.9	10.6	2.7	23.3
キャンパス	横浜(n=938)	19.3	50.5	17.5	8.4	4.3	17.6	43.4	14.5	5.7	18.9
	湘南ひらつか(n=232)	17.2	52.2	19.0	6.9	4.7	15.5	48.3	15.1	4.7	16.4
学部別	法(n=98)	10.2	61.2	15.3	7.1	6.1	9.2	29.6	11.2	2.0	48.0
	経済(n=202)	14.9	55.0	16.8	8.4	5.0	9.4	40.1	11.4	5.4	33.7
	経営(n=112)	17.0	57.1	17.9	4.5	3.6	9.8	38.4	19.6	0.9	31.3
	外国語(n=72)	19.4	54.2	11.1	4.2	11.1	11.1	40.3	11.1	2.8	34.7
	人間科(n=68)	23.5	61.8	11.8	1.5	1.5	17.6	44.1	8.8	2.9	26.5
	理(n=113)	17.7	48.7	20.4	8.0	5.3	22.1	56.6	9.7	8.8	2.7
	工(n=465)	22.4	44.9	19.8	10.1	2.8	23.2	48.6	18.1	6.2	3.9
学年別	1年(n=290)	21.7	50.7	15.2	7.2	5.2	21.7	42.8	10.3	3.8	21.4
	2年(n=273)	17.2	51.6	18.3	7.3	5.5	12.5	44.7	16.5	5.5	20.9
	3年(n=301)	15.9	52.8	20.6	9.3	1.3	15.3	45.8	17.6	5.3	15.9
	4年(n=266)	20.7	50.0	16.5	7.5	5.3	18.4	44.4	13.9	5.6	17.7
課程別	学部(n=1130)	18.8	51.3	17.7	7.9	4.2	17.0	44.4	14.6	5.0	18.9
	大学院(n=40)	20.0	37.5	20.0	15.0	7.5	22.5	42.5	15.0	17.5	2.5

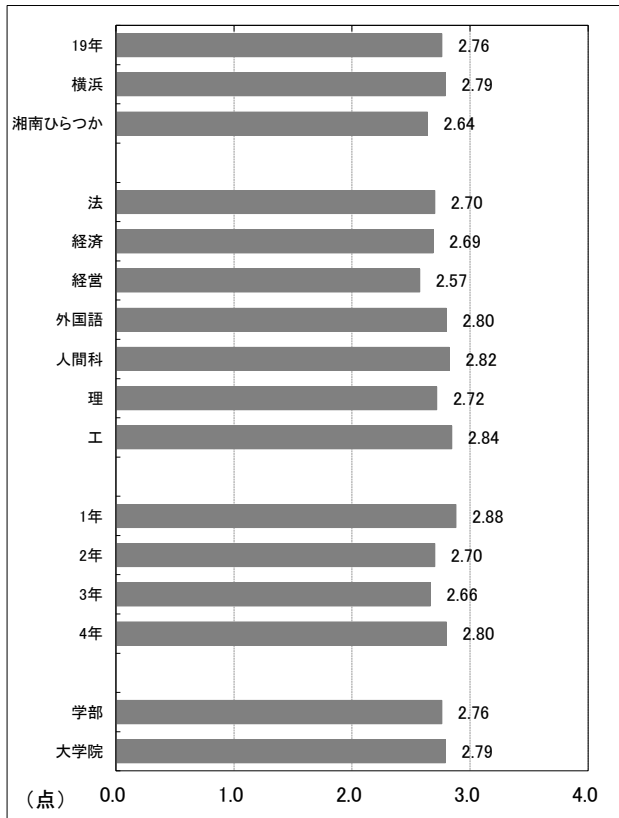
		E.学食について					F.健康管理について				
		とても満足している	ある程度満足している	あまり満足していない	まったく満足していない	経験していない	とても満足している	ある程度満足している	あまり満足していない	まったく満足していない	経験していない
		%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
全学	19年(N=1170)	17.5	34.8	25.4	16.5	5.8	17.6	45.7	16.7	5.5	14.5
	17年(N=1284)	19.3	42.7	22.6	10.3	5.1	19.9	53.0	12.0	2.6	12.5
	15年(N=2255)	20.5	42.1	22.0	11.9	3.4	19.7	51.8	13.7	3.5	11.3
キャンパス	横浜(n=938)	19.4	37.1	24.6	13.1	5.8	17.9	46.5	15.5	5.4	14.7
	湘南ひらつか(n=232)	9.9	25.4	28.4	30.2	6.0	16.4	42.7	21.6	5.6	13.8
学部別	法(n=98)	14.3	44.9	21.4	12.2	7.1	13.3	55.1	14.3	1.0	16.3
	経済(n=202)	17.3	38.1	28.2	13.4	3.0	14.9	44.1	17.8	6.9	16.3
	経営(n=112)	8.0	25.9	27.7	31.3	7.1	13.4	50.0	18.8	2.7	15.2
	外国語(n=72)	15.3	41.7	22.2	12.5	8.3	15.3	56.9	6.9	1.4	19.4
	人間科(n=68)	17.6	39.7	25.0	14.7	2.9	20.6	54.4	17.6	0.0	7.4
	理(n=113)	12.4	25.7	28.3	28.3	5.3	20.4	36.3	24.8	6.2	12.4
	工(n=465)	22.6	34.0	23.7	13.1	6.7	20.6	43.4	15.7	6.2	14.0
学年別	1年(n=290)	19.0	38.3	23.4	13.1	6.2	19.7	47.6	14.8	4.1	13.8
	2年(n=273)	15.4	35.5	24.2	17.6	7.3	17.6	44.3	19.8	5.5	12.8
	3年(n=301)	15.6	33.9	29.6	16.3	4.7	15.9	47.5	16.6	4.0	15.9
	4年(n=266)	21.1	31.6	22.9	19.2	5.3	18.4	44.4	15.8	6.0	15.4
課程別	学部(n=1130)	17.7	34.9	25.1	16.5	5.8	17.9	46.0	16.7	4.9	14.5
	大学院(n=40)	12.5	32.5	32.5	17.5	5.0	10.0	37.5	15.0	22.5	15.0

学生生活満足度(全学／キャンパス／学部別／学年別／課程別)

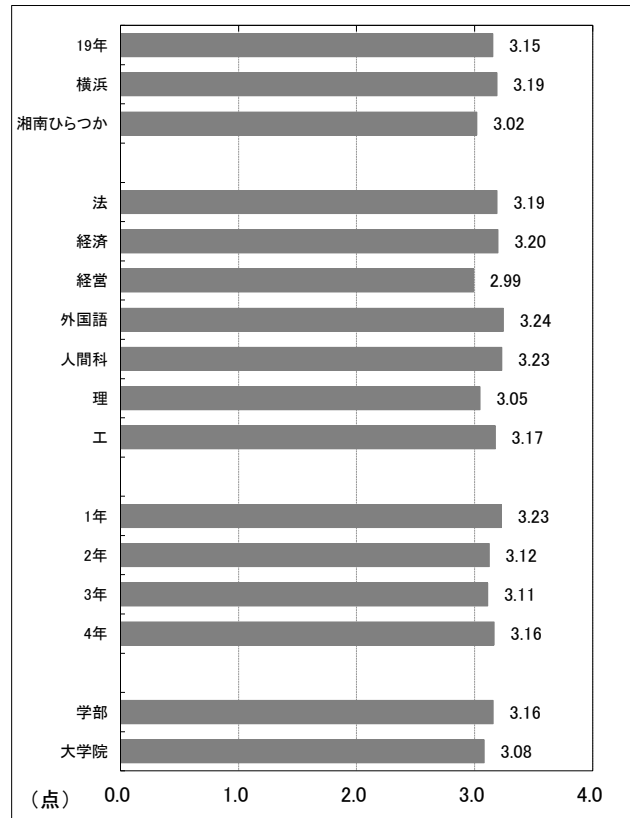
		G.海外留学制度について					H.大学からの広報・掲示について				
		とても満足している	ある程度満足している	あまり満足していない	まったく満足していない	経験していない	とても満足している	ある程度満足している	あまり満足していない	まったく満足していない	経験していない
		%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
全学	19年(N=1170)	12.8	22.4	11.6	3.8	49.3	11.6	39.2	26.5	10.1	12.6
	17年(N=1284)	12.3	31.2	8.7	3.9	43.8	13.7	50.9	21.6	7.9	5.9
	15年(N=2255)	10.6	29.3	10.3	3.3	46.6	11.0	47.3	27.1	9.0	5.7
キャンパス	横浜(n=938)	10.6	22.2	11.9	4.1	51.3	11.3	39.3	26.7	9.1	13.6
	湘南ひらつか(n=232)	22.0	23.3	10.3	3.0	41.4	12.9	38.8	25.9	14.2	8.2
学部別	法(n=98)	8.2	23.5	6.1	3.1	59.2	10.2	46.9	21.4	6.1	15.3
	経済(n=202)	10.4	20.3	11.9	5.0	52.5	9.4	40.1	26.7	10.4	13.4
	経営(n=112)	30.4	29.5	11.6	1.8	26.8	13.4	37.5	27.7	15.2	6.3
	外国語(n=72)	15.3	40.3	16.7	6.9	20.8	15.3	48.6	16.7	12.5	6.9
	人間科(n=68)	13.2	23.5	7.4	1.5	54.4	10.3	47.1	27.9	5.9	8.8
	理(n=113)	14.2	17.7	9.7	4.4	54.0	13.3	40.7	23.0	12.4	10.6
	工(n=465)	10.1	20.2	12.9	3.4	53.3	12.3	35.1	28.2	9.0	15.5
学年別	1年(n=290)	13.4	26.6	11.0	3.1	45.9	13.4	42.1	23.1	9.7	11.7
	2年(n=273)	12.8	23.8	13.2	4.8	45.4	10.6	38.1	28.2	9.2	13.9
	3年(n=301)	10.6	22.3	12.6	4.0	50.5	9.6	42.9	27.2	10.3	10.0
	4年(n=266)	15.0	17.7	9.4	3.0	54.9	13.9	33.8	25.6	10.9	15.8
課程別	学部(n=1130)	12.9	22.7	11.6	3.7	49.1	11.9	39.4	26.0	10.0	12.7
	大学院(n=40)	10.0	15.0	12.5	7.5	55.0	5.0	35.0	40.0	12.5	7.5

学生生活満足度平均点(全学/キャンパス/学部別/学年別/課程別)

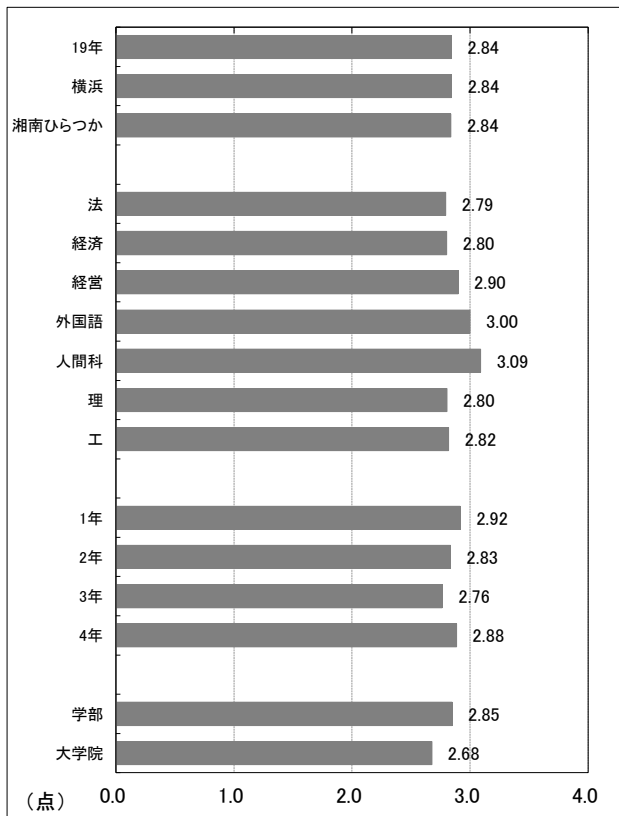
A.校舎などの施設について



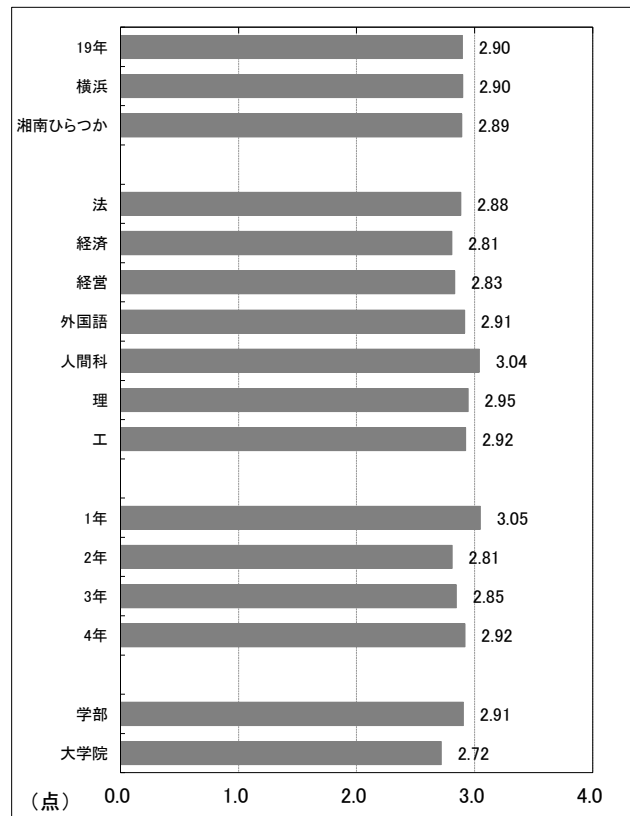
B.図書館について



C.情報処理の設備について



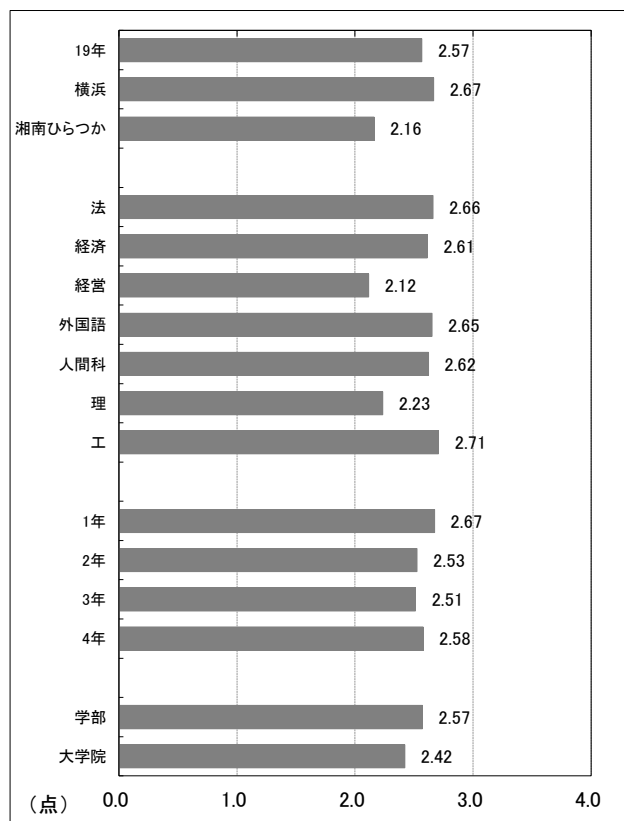
D.実験・実習・演習等の設備について



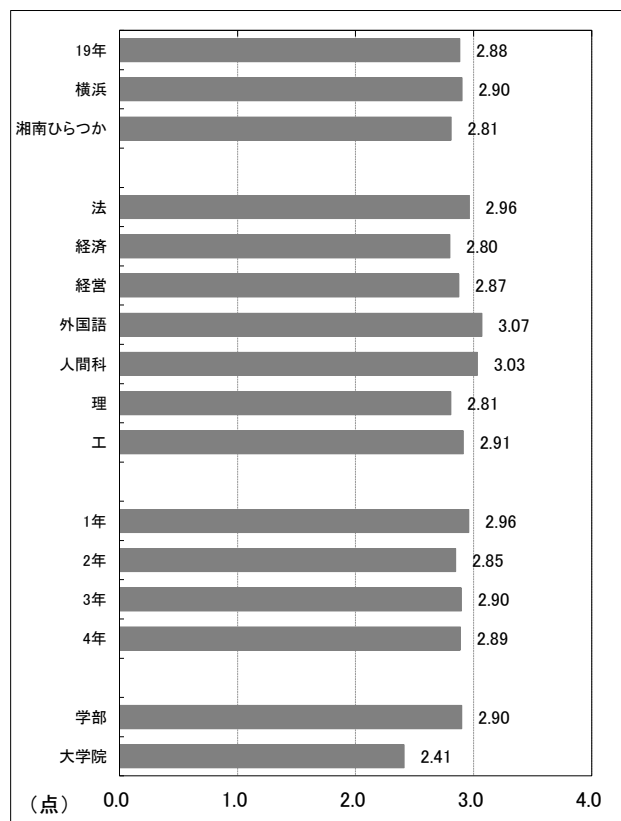
※平均点は、「とても満足している」を4点、「ある程度満足している」を3点、「あまり満足していない」を2点、「まったく満足していない」を1点として算出。「経験していない」に関しては、平均点を算出する母集団から除いた。

## 学生生活満足度平均点(全学/キャンパス/学部別/学年別/課程別)

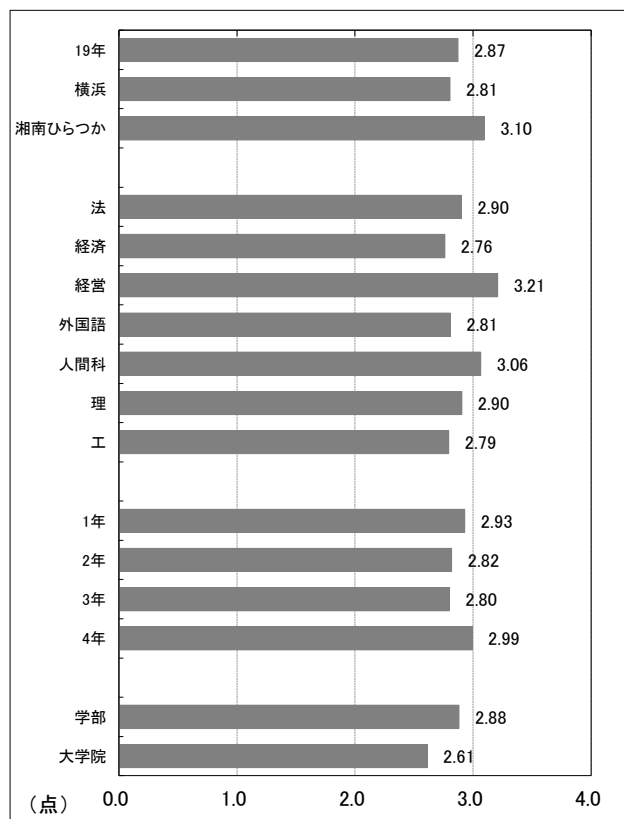
### E.学食について



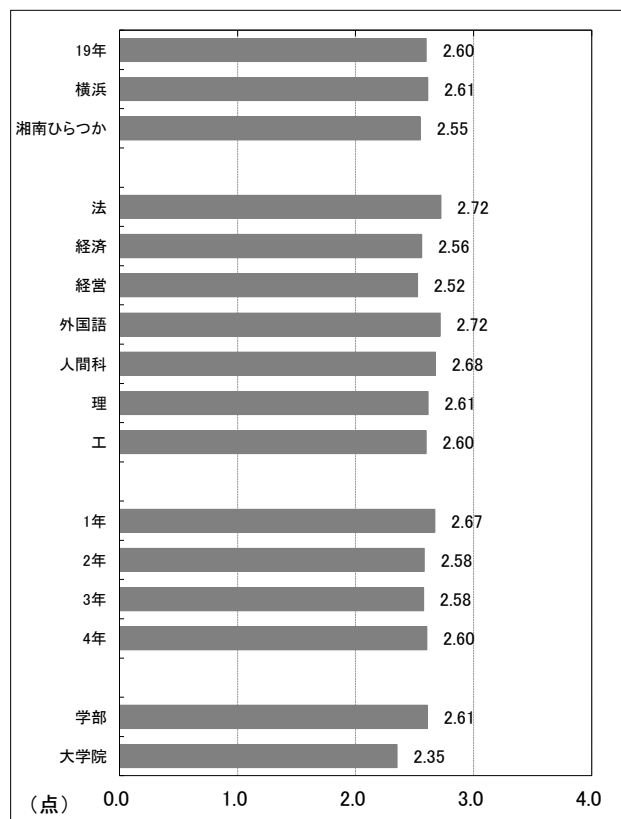
### F.健康管理について



### G.海外留学制度について



### H.大学からの広報・掲示について



※平均点は、「とても満足している」を4点、「ある程度満足している」を3点、「あまり満足していない」を2点、「まったく満足していない」を1点として算出。  
「経験していない」に関しては、平均点を算出する母集団から除いた。

## 2. 本学で身につけたいことと実現度について

Q28.あなたは本学でどのようなことを身につけたいと思っていますか。(いくつでも)

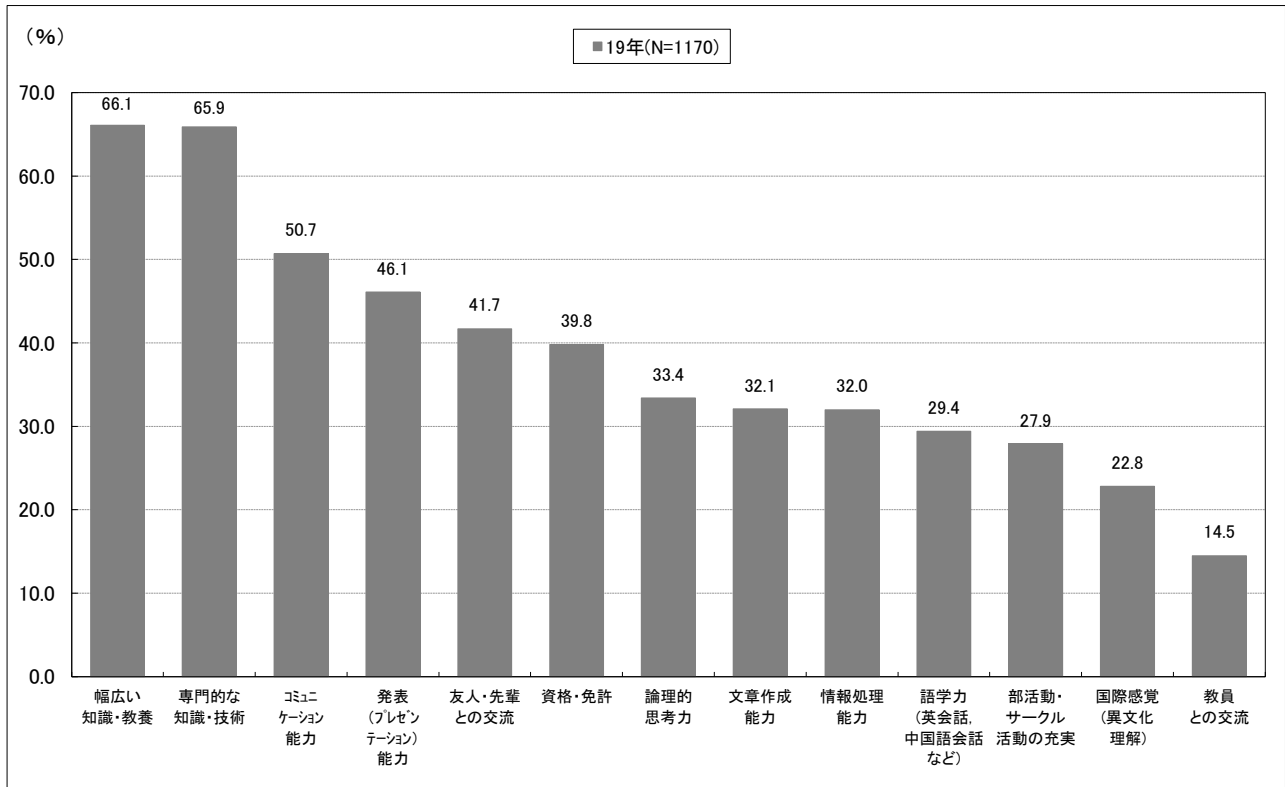
Q29.Q28で選択をした「身につけたい項目」について本学で実現できそうかどうかを選択してください。  
(それぞれ1つ)

- ・グラフの項目の並び順は、全学の今回(19年)で回答が多い項目を順に並べている。
- ・全学で見ると、本学で身につけたいことは、「幅広い知識・教養」が66.1%と最も高く、次いで「専門的な知識・技術」65.9%、「コミュニケーション能力」で50.7%と続いている。
- ・身につけたいと思っている項目に対する実現度(「ある程度実現できると思う」以上の回答率合計)では「部活動・サークル活動の充実」が92.6%と最も高く、次いで「友人・先輩との交流」が90.6%と続いている。
- ・本学で身につけたいことと実現度の関係を見ると、前回(17年)の調査と比較して、全体的に実現度に大きな変化はないが本学で身につけたいことが減少し、散布図の左側に偏る傾向が見られる。

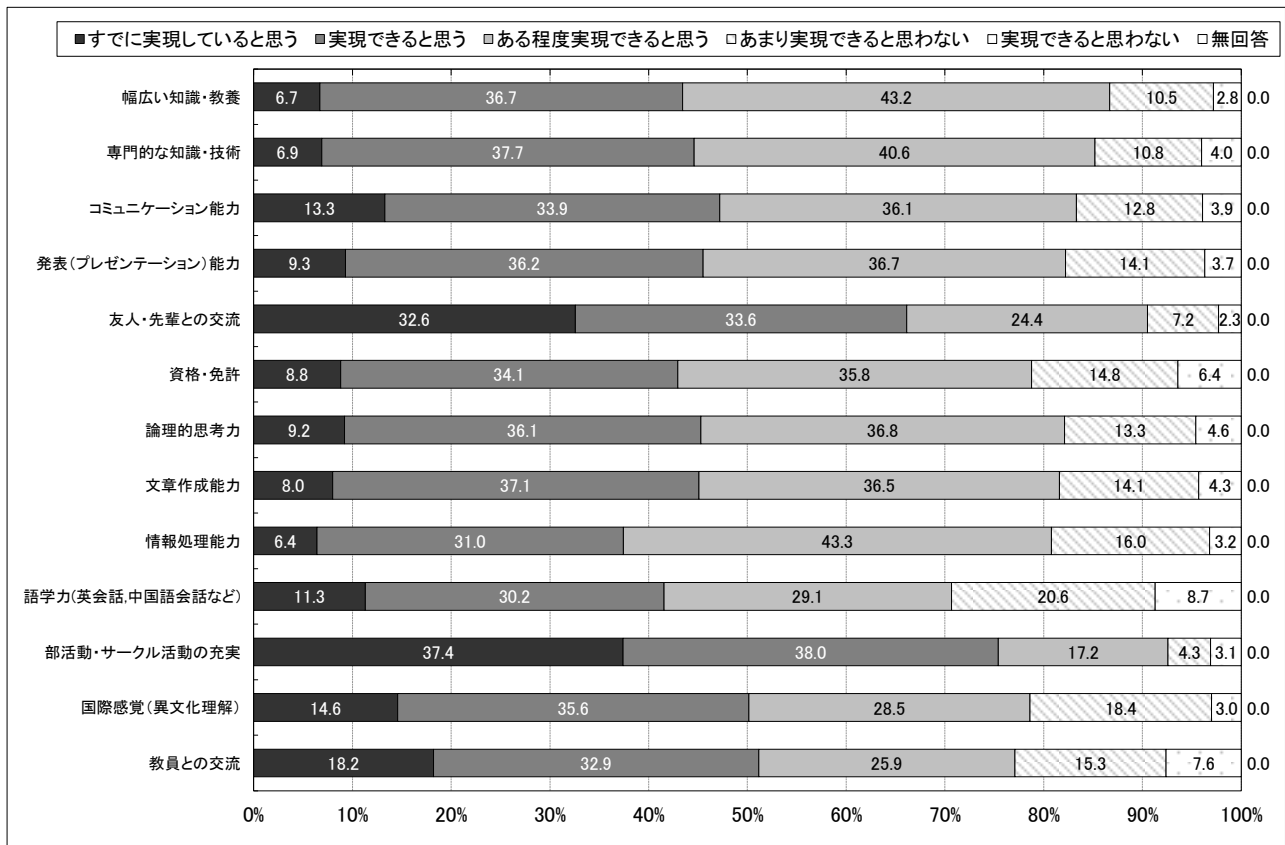
### 本学で身につけたいこと(全学/キャンパス/学部別/学年別/課程別)

		A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
		専門的な知識・技術	幅広い知識・教養	国際感覚(異文化理解)	資格・免許	情報処理能力	コミュニケーション能力	論理的思考力	文章作成能力	発表(プレゼンテーション)能力	語学力(英会話、中国語会話など)	部活動・サークル活動の充実	友人・先輩との交流	教員との交流
		%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
全学	19年(N=1170)	65.9	66.1	22.8	39.8	32.0	50.7	33.4	32.1	46.1	29.4	27.9	41.7	14.5
	17年(N=1284)	65.5	69.9	29.3	53.9	34.9	56.3	36.7	41.1	50.4	35.3	30.1	44.9	18.1
	15年(N=2255)	66.6	67.8	26.3	50.6	33.0	54.3	36.6	36.8	46.6	32.2	31.9	44.3	17.4
キャンパス	横浜(n=938)	67.3	65.4	21.0	38.8	32.2	50.1	30.4	31.4	44.2	28.0	27.4	39.7	13.8
	湘南ひらつか(n=232)	60.3	69.0	30.2	44.0	31.0	53.0	45.7	34.5	53.4	34.9	29.7	50.0	17.7
学部別	法(n=98)	52.0	75.5	18.4	45.9	24.5	49.0	41.8	53.1	44.9	26.5	38.8	38.8	17.3
	経済(n=202)	48.5	69.3	19.3	39.6	31.2	51.0	27.7	27.7	44.6	19.3	30.2	40.1	6.9
	経営(n=112)	45.5	68.8	42.9	42.9	25.0	52.7	42.9	38.4	56.3	41.1	26.8	52.7	17.0
	外国語(n=72)	54.2	70.8	77.8	45.8	12.5	62.5	26.4	33.3	45.8	90.3	30.6	44.4	31.9
	人間科(n=68)	60.3	76.5	19.1	47.1	35.3	63.2	41.2	38.2	51.5	22.1	42.6	48.5	22.1
	理(n=113)	72.6	67.3	17.7	46.9	38.1	54.9	46.9	30.1	49.6	29.2	33.6	49.6	17.7
	工(n=465)	79.8	58.9	13.5	35.5	36.3	46.5	26.9	26.9	42.2	23.0	22.4	38.3	11.8
学年別	1年(n=290)	69.7	64.8	27.2	52.4	39.0	56.6	32.8	36.9	48.3	38.6	36.9	49.3	12.1
	2年(n=273)	59.0	68.1	22.0	45.8	30.8	52.0	28.6	27.8	48.0	28.9	30.4	42.5	14.7
	3年(n=301)	66.4	64.1	19.6	32.9	29.6	47.8	33.2	30.2	43.2	22.9	17.6	33.9	12.6
	4年(n=266)	63.9	66.5	22.2	30.1	27.8	47.4	36.5	32.3	43.6	26.7	29.7	43.6	18.8
課程別	学部(n=1130)	64.9	65.8	22.7	40.4	31.9	51.0	32.7	31.9	45.8	29.3	28.5	42.2	14.4
	大学院(n=40)	95.0	72.5	25.0	25.0	35.0	42.5	52.5	37.5	55.0	32.5	10.0	27.5	17.5

## 本学で身につけたいこと(全学)



## 本学での実現度(全学)



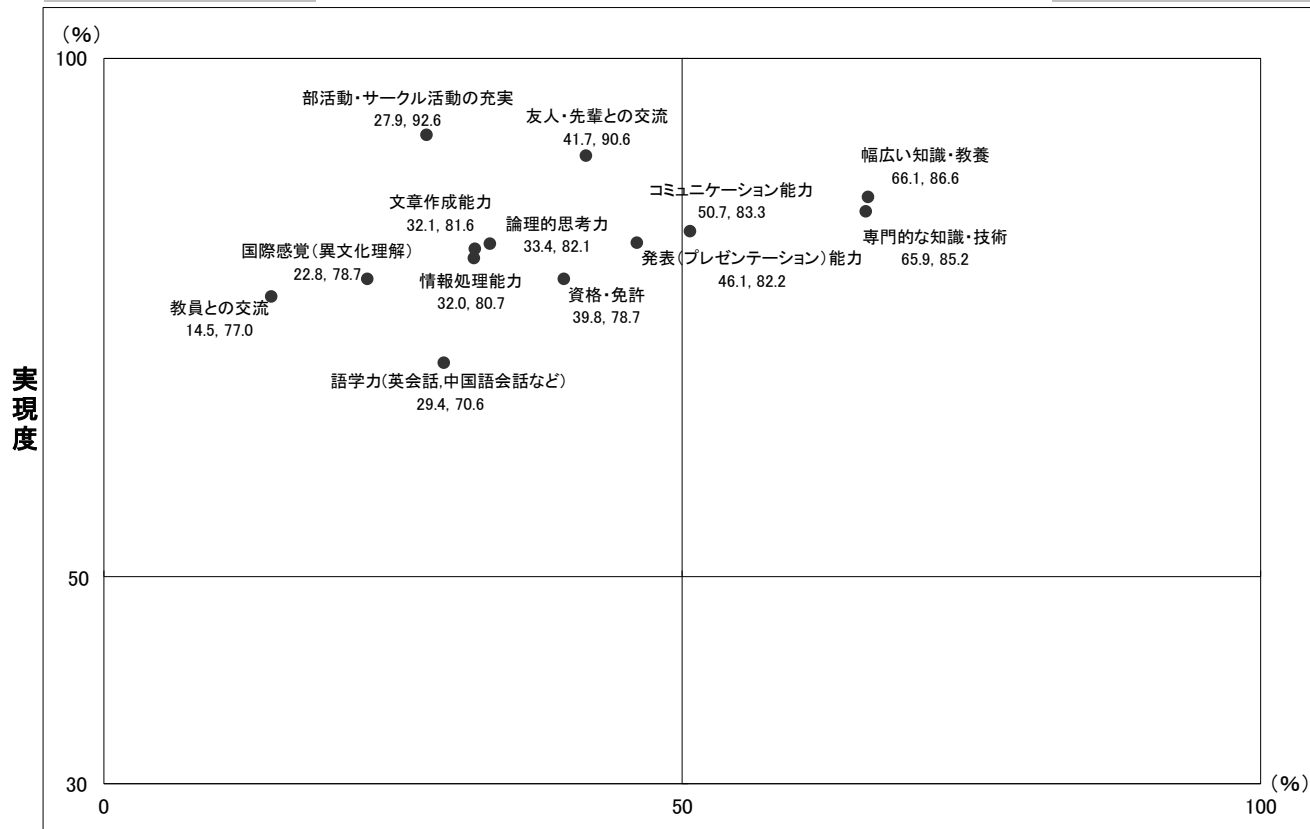


## 本学で身につけたいことと実現度の関係(全学)

潜在的充足項目

【19年】

充足項目



潜在的不足項目

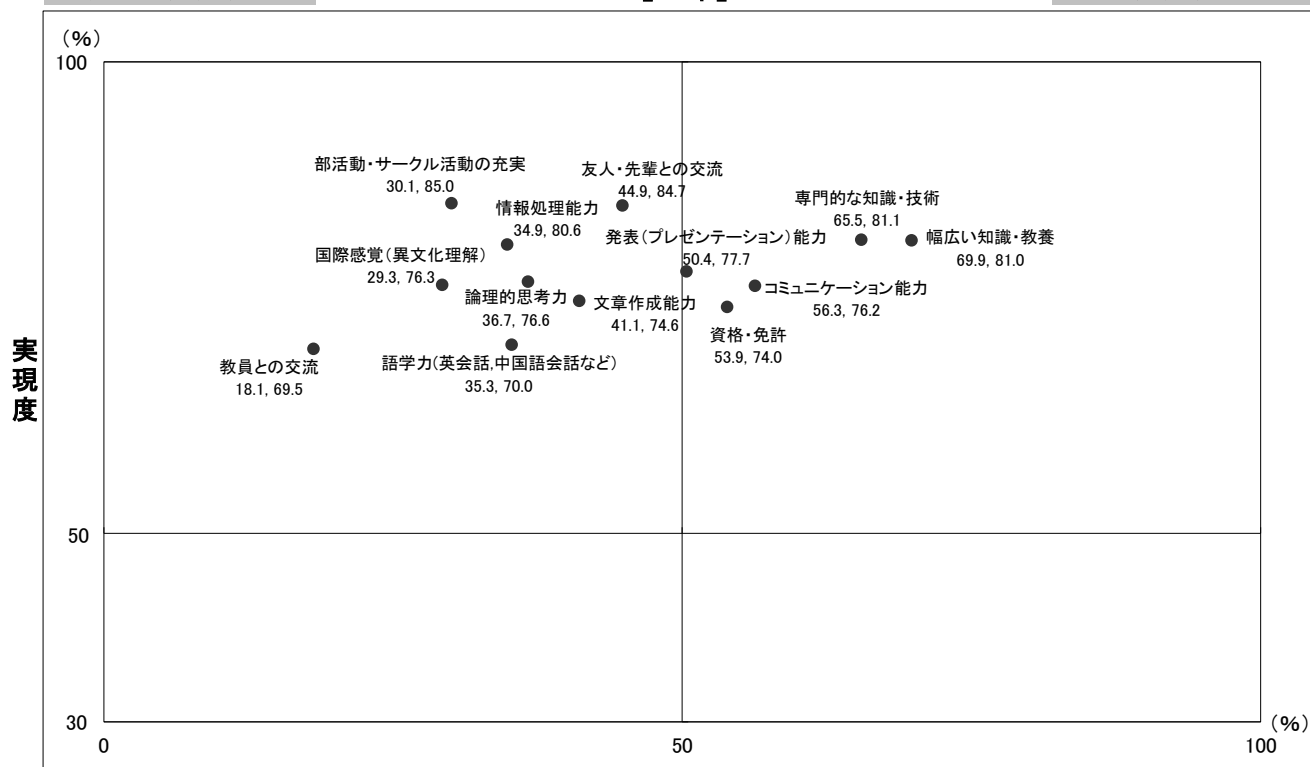
身につけたいこと

不足項目

潜在的充足項目

【17年】

充足項目



潜在的不足項目

身につけたいこと

不足項目

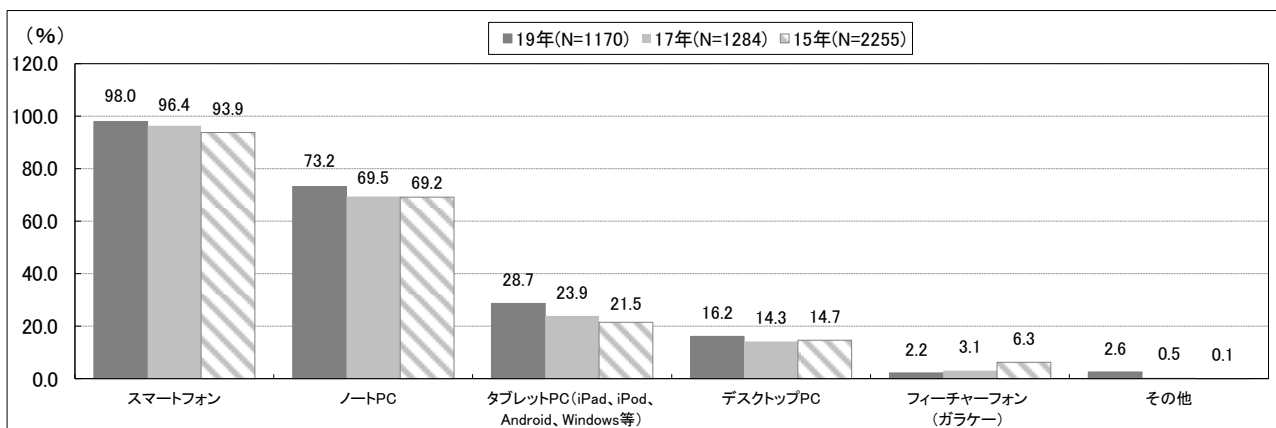
## VI. 情報機器・情報発信について

### 1. 所持している情報機器について

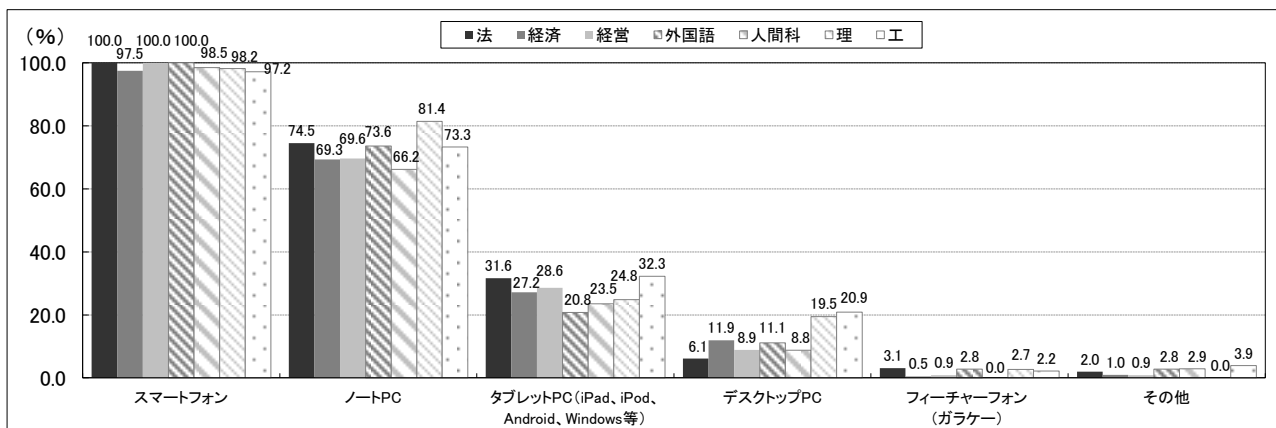
Q30. 情報機器について所持しているものすべてにチェックしてください。

- ・ グラフの項目の並び順は、全学の今回(19年)で回答が多い項目を左から順に並べている。
- ・ 全学では、「スマートフォン」が98.0%と最も多く、次いで「ノートPC」が73.2%と続く。過去2回と比べてみると、「スマートフォン」、「ノートPC」、「タブレットPC」が増加傾向にあり、「フィーチャーフォン」は減少傾向にある。
- ・ 学部別では、「スマートフォン」の保持率がすべての学部で9割を超えている。また、「デスクトップPC」は、理学部と工学部での保持率が高い。
- ・ 課程別では、大学院で「ノートPC」、「デスクトップPC」、「フィーチャーフォン」の保持率が学部よりも10ポイント以上高い。

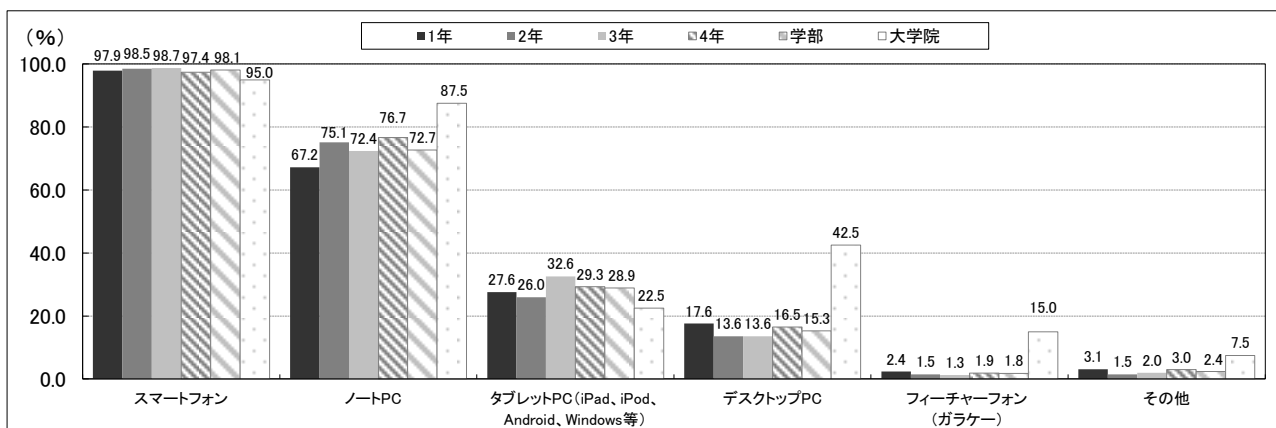
#### 所持している情報機器(全学)



#### 所持している情報機器(学部別)



#### 所持している情報機器(学年別/課程別)

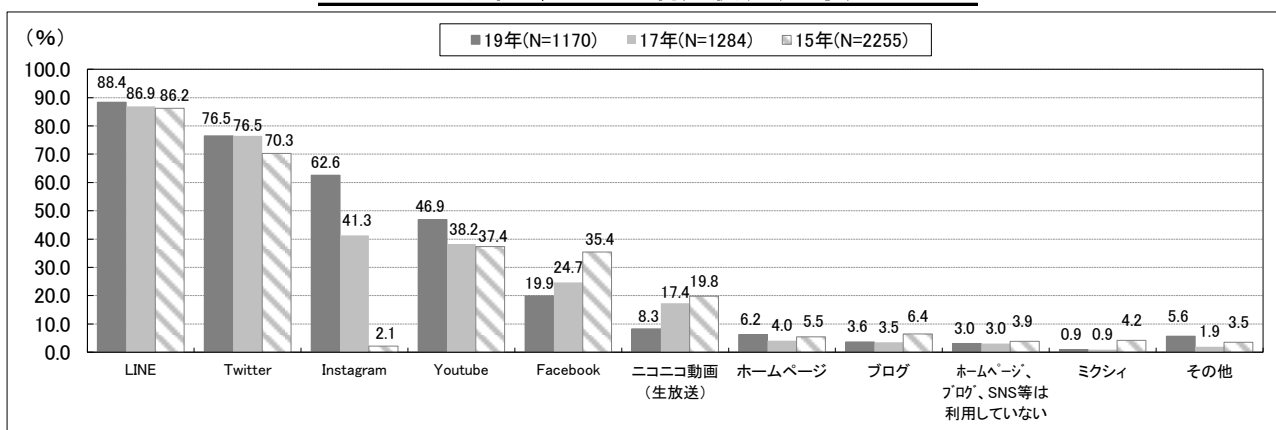


## 2. メディア、SNSの利用状況について

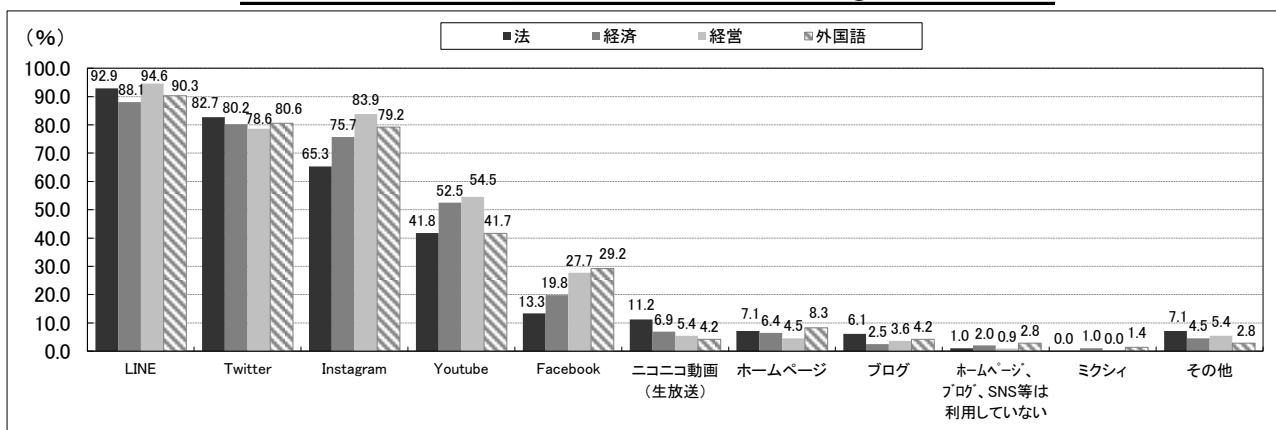
Q31. 個人で情報発信しているメディア、SNSについて利用しているものすべてにチェックしてください。

- ・ グラフの項目の並び順は、全学の今回(19年)で回答が多い項目を左から順に並べている。
- ・ 全学では、「LINE」が88.4%と最も多く、次いで「Twitter」が76.5%と続いている。前回(17年)と比べると、「Instagram」、「Youtube」の利用が5ポイント以上増加し、それ以外は同水準もしくは減少している。
- ・ 「Instagram」の利用率は前回(17年)に引き続き大幅に伸び、21.3ポイント増の62.6%であった。
- ・ 学部別では、「LINE」の利用率が最も高いのは経営学部で94.6%である。また、「Twitter」の利用率が最も高いのは人間科学部で83.8%、「Instagram」利用率が最も高いのは経営学部で83.9%であった。
- ・ 学年別では、学年が低いほど「LINE」、「Instagram」、「Youtube」の利用率が高く、学年が高いほど「Facebook」などの利用率が高い傾向にある。
- ・ 課程別では、学部の「LINE」、「Instagram」、「Twitter」の利用率が大学院より10ポイント以上高い。

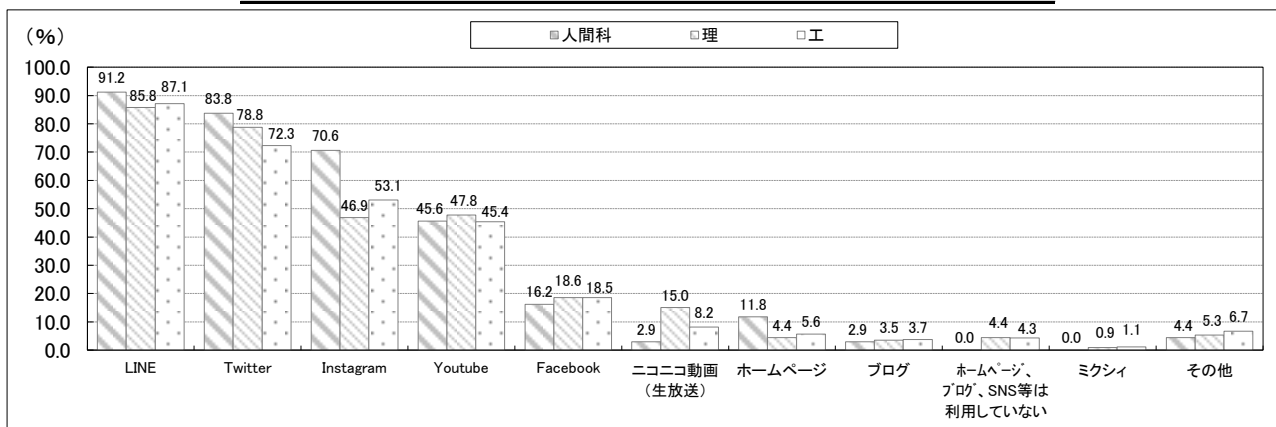
### メディア、SNSの利用状況(全学)



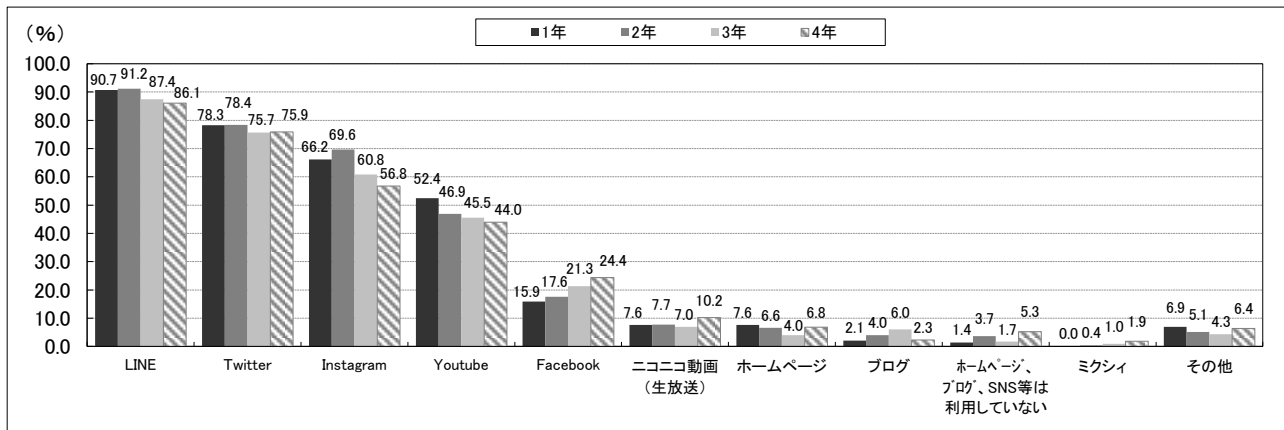
### メディア、SNSの利用状況(学部別①)



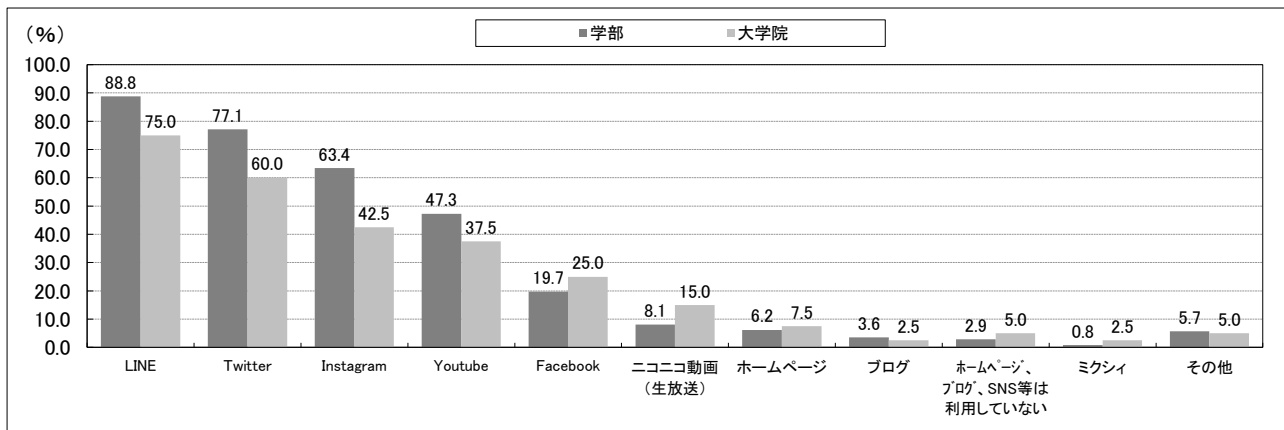
### メディア、SNSの利用状況(学部別②)



## メディア、SNSの利用状況(学年別)



## メディア、SNSの利用状況(課程別)

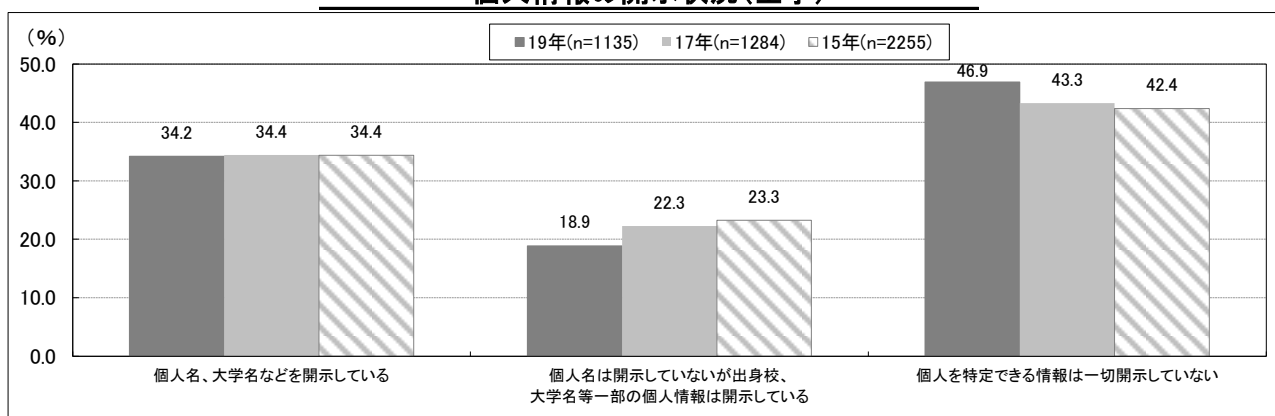


### 3. 個人情報の開示状況について

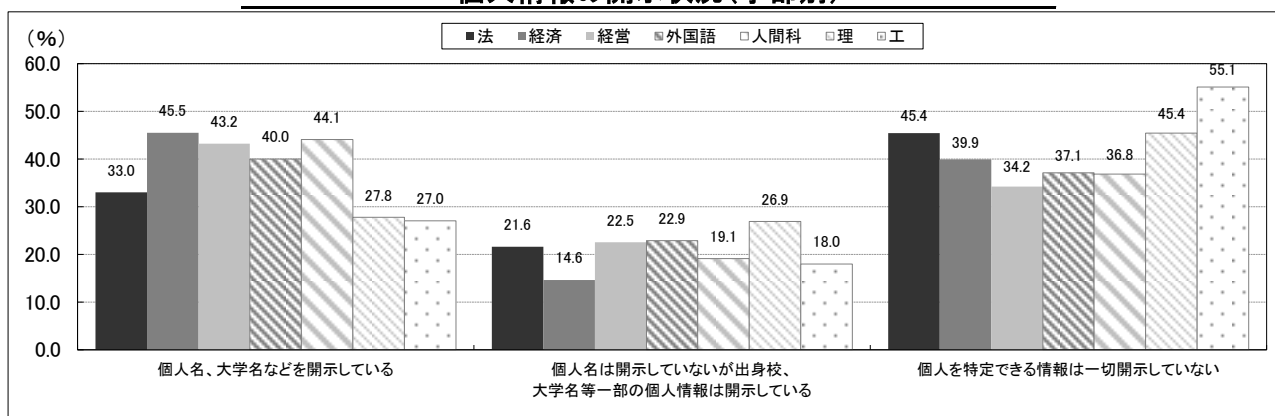
Q32. Q31のメディア・SNSでの個人情報の開示について「最も情報を開示している」ものを選択してください。

- ・ Q31で「メディア・SNSを利用していない」と回答したサンプルを母集団から除外して集計を行った。
- ・ 全学では、「個人を特定できる情報は一切開示していない」が46.9%と最も高く、次いで「個人名、大学名などを開示している」が34.2%であった。
- ・ 学部別で、「個人を特定できる情報は一切開示していない」の回答が多いのは、工学部(55.1%)、理学部(45.4%)、法学部(45.4%)であった。
- ・ 学年別でみると、学年が上がるにつれて「一部の個人情報は開示している」の割合が多くなっている。

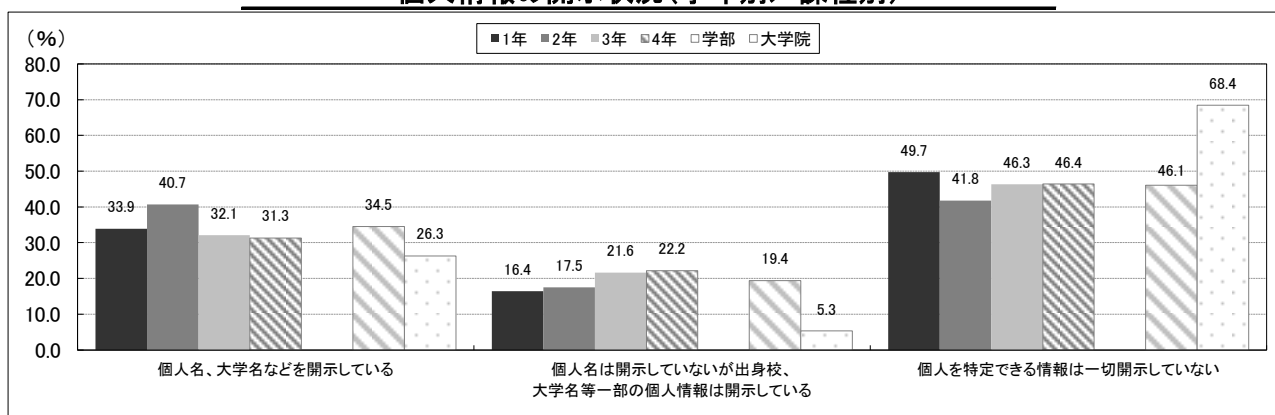
#### 個人情報の開示状況(全学)



#### 個人情報の開示状況(学部別)



#### 個人情報の開示状況(学年別/課程別)



## Ⅶ. 神奈川大学についての満足度

### 1. 神奈川大学についての満足度について

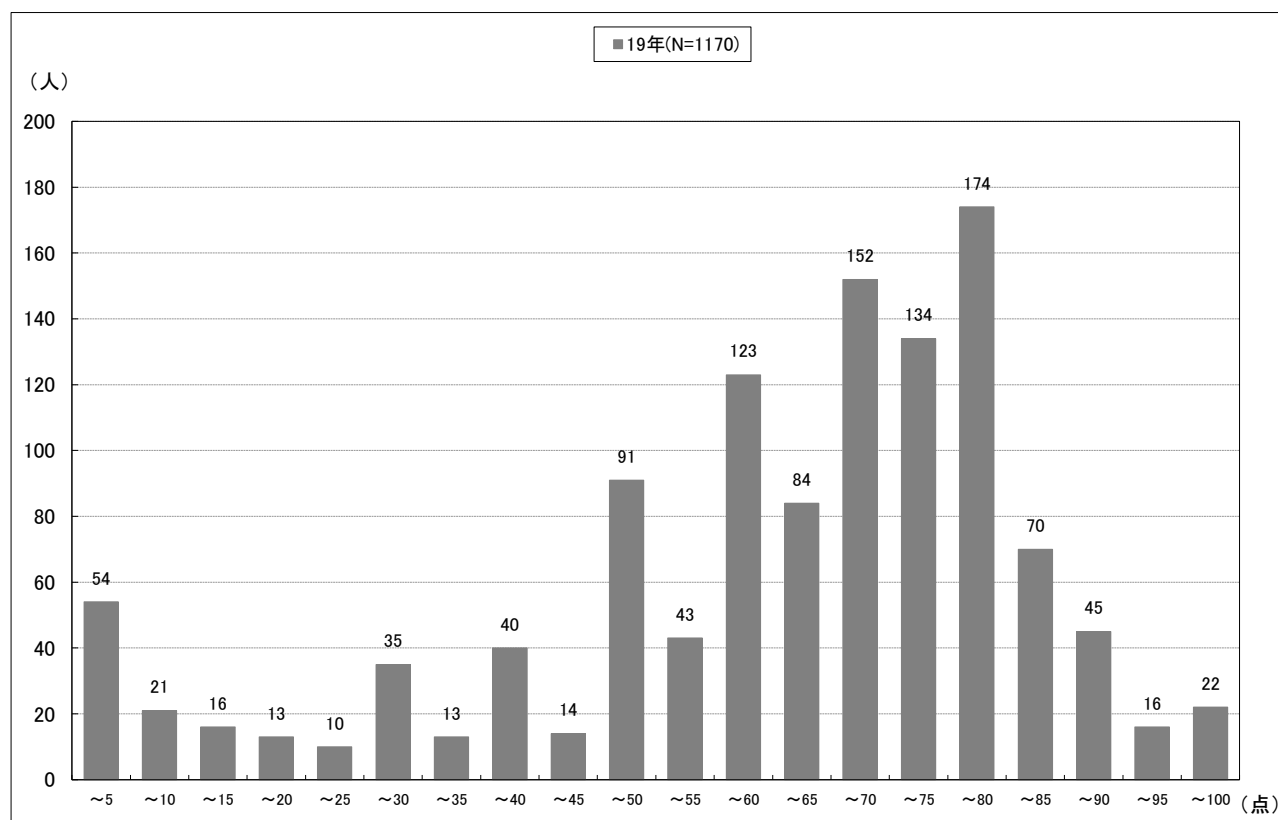
Q36.神奈川大学への満足度を点数で表すと何点ですか。

- ・ 点数は、5～100点まで5点刻みで設定した。
- ・ 全学で見ると、満足度の平均点は62.4点で前回から4.2点低下した。～50点と回答した割合が前回(17年)よりも6.1ポイント上昇しており、満足度の低い層が増加しつつある。
- ・ キャンパス別で見ると、横浜キャンパスの方が満足度の平均点が高い。
- ・ 学部別で見ると、平均点は人間科学部が70.7点と最も高く、次いで法学部で65.8点であった。
- ・ 学年別で見ると、満足度は4年次が高い。
- ・ 課程別で見ると、大学院のほうが満足度が高い。
- ・ 次ページの度数分布をみると80点人が174人と最も多く、次いで70点で152人と続いている。60点以上の層が7割以上いることから、大半の学生が満足していると考えられる。
- ・ 次ページ下側には、満足度を問う設問(Q27A～H、Q29A～M)とQ36の神奈川大学についての満足度について、相関分析を行った。全ての設問において、正相関がみられ、更に有意差検定を行った結果も全ての設問で有意水準5%で有意であった。
- ・ 特に、Q27ではA「校舎などの施設」が0.456、Q29ではH「文章作成能力」が0.419と最も大きい。校舎などの施設の充実や、ライティング能力を向上させる機会の提供が神奈川大学に対する満足度向上に寄与すると考えられる。

#### 神奈川大学についての満足度(全学／キャンパス／学部別／学年別／課程別)

		平均点	～50点	～60点	～70点	～80点	～90点	～100点
			%	%	%	%	%	%
全学	19年(N=1170)	62.4	26.2	14.2	20.2	26.3	9.8	3.2
	17年(N=1284)	66.6	20.1	11.6	22.7	27.6	13.3	4.6
	15年(N=2255)	66.1	20.6	13.7	22.0	26.2	13.9	3.5
キャンパス	横浜(n=938)	62.6	26.3	14.3	19.5	26.8	9.7	3.4
	湘南ひらつか(n=232)	61.8	25.9	13.8	22.8	24.6	10.3	2.6
学部別	法(n=98)	65.8	19.4	16.3	20.4	26.5	13.3	4.1
	経済(n=202)	61.3	27.2	13.9	20.3	32.2	4.5	2.0
	経営(n=112)	64.6	22.3	7.1	25.0	25.9	17.0	2.7
	外国語(n=72)	65.6	16.7	12.5	20.8	30.6	15.3	4.2
	人間科(n=68)	70.7	11.8	10.3	25.0	32.4	14.7	5.9
	理(n=113)	59.2	29.2	21.2	19.5	23.0	4.4	2.7
	工(n=465)	60.7	31.0	15.3	17.6	24.1	8.4	3.7
学年別	1年(n=290)	63.5	24.8	13.1	19.7	27.6	12.1	2.8
	2年(n=273)	59.3	32.6	11.7	20.1	25.6	7.3	2.6
	3年(n=301)	62.5	23.3	18.3	22.6	23.6	7.6	4.7
	4年(n=266)	64.2	24.4	14.3	16.9	30.5	10.5	3.4
課程別	学部(n=1130)	62.4	26.2	14.4	19.9	26.7	9.4	3.4
	大学院(n=40)	63.8	27.5	7.5	27.5	15.0	22.5	0.0

## 神奈川大学についての満足度の度数分布(全学)



## 満足度(Q36)と各設問との相関関係(全学)

設問文		相関係数
Q27. 学生生活での満足度	A.校舎などの施設について	0.456 *
	B.図書館について	0.333 *
	C.情報処理の設備について	0.374 *
	D.実験・実習・演習等の設備について	0.382 *
	E.学食について	0.330 *
	F.健康管理について	0.343 *
	G.海外留学制度について	0.370 *
	H.大学からの広報・掲示について	0.357 *

設問文		相関係数
Q29. 本学での実現度	A.専門的な知識・技術	0.383 *
	B.幅広い知識・教養	0.394 *
	C.国際感覚(異文化理解)	0.407 *
	D.資格・免許	0.346 *
	E.情報処理能力	0.354 *
	F.コミュニケーション能力	0.286 *
	G.論理的思考力	0.386 *
	H.文章作成能力	0.419 *
	I.発表(プレゼンテーション)能力	0.333 *
	J.語学力(英会話、中国語会話など)	0.355 *
	K.部活動・サークル活動の充実	0.234 *
	L.友人・先輩との交流	0.177 *
	M.教員との交流	0.375 *

※全ての相関係数の信頼度を測るために有意差検定を行った。有意確率は両側検定で5%以下の場合「\*」を表示。

## **【参考資料】設問項目一覽**



I 回答者属性

Q1. あなたの所属を選択してください

1～50

Q2. あなたの学年を選択してください

1～4

II 生活全般についてお尋ねします。

Q3. ひと月平均の生活費収入額について

最近1年間を基準にお答えください。(それぞれ1つ)

A. 家庭からの仕送り・小遣い B. 定職・アルバイトの収入 C. 奨学金収入 D. その他の収入 E. 収入合計

- ①なし ②5千円未満 ③5千～1万円未満 ④1万～2万円未満 ⑤2万～3万円未満  
⑥3万～4万円未満 ⑦4万～5万円未満 ⑧5万～7万円未満 ⑨7万～10万円未満 ⑩10万～15万円未満  
⑪15万～20万円未満 ⑫20万円以上

Q4. ひと月平均の生活費支出額について

最近1年間を基準にお答えください。(それぞれ1つ)

F. 住居費(水道光熱費・管理費等を含む) G. 食費(外食代を含む) H. 図書(教科書を含む)・新聞・文具・教材費

I. 通信費(電話代・プロバイダ料金等) J. その他雑費 K. 支出合計

- ①なし ②5千円未満 ③5千～1万円未満 ④1万～2万円未満 ⑤2万～3万円未満  
⑥3万～4万円未満 ⑦4万～5万円未満 ⑧5万～7万円未満 ⑨7万～10万円未満 ⑩10万～15万円未満  
⑪15万～20万円未満 ⑫20万円以上

Q5. 大学納付金について

該当する番号すべてを選択してください。(いくつでも)

- ①親(保護者)の収入で納付する ②奨学金(貸与を含む)で納付する  
③銀行等の借入金で納付する ④自身の給与・アルバイト料で納付する

Q6. あなたは過去1年間に定職またはアルバイトにつきましたか？

該当する番号1つを選択してください。(1つ)

- ①定職についている(ついていた) ②アルバイトをしている(していた) ③何もしていない

Q7. 【該当者のみ】Q6で②「アルバイトをしている(していた)」とお答えの方にお尋ねします。

一週間の勤務時間は平均して何時間ですか？(1つ)

- ①5時間以内 ②6～10時間 ③11～15時間 ④16～20時間 ⑤21～25時間 ⑥26～30時間  
⑦31～35時間 ⑧36～40時間 ⑨41時間以上

Q8. あなたの現在の住居形態はどれにあたりますか？

該当する番号1つを選択してください。(1つ)

- ①自宅通学 ②自宅外通学 ③大学寮

Q9. 通学手段について

あなたが通学に利用している交通手段で移動時間の長いものを2つまで選び、

該当する番号を選択してください。(2つまで)

- ①徒歩 ②電車 ③バス ④自転車 ⑤自動車 ⑥自動二輪(原付を含む) ⑦その他

Q10. 通学にかかる片道の所要時間について

該当する番号1つを選択してください。(1つ)

- ①30分未満 ②30分～60分未満 ③60分～90分未満 ④90分～120分未満 ⑤120分以上

Q11. 授業の予習、復習についてお尋ねします。

1週間の予習、復習にかかる時間は平均して何時間ですか？(1つ)

- ①ほとんどしない ②1～5時間 ③6～10時間 ④11～15時間 ⑤16～20時間 ⑥21時間以上

III 心と体の健康についてお尋ねします。

Q12-1. あなたが現在問題である(不安に思う・悩んでいる)と感じていることはありますか？

該当する番号すべてを選択してください。(いくつでも)

- ①勉学や学力 ②進路や就職 ③性格 ④人間関係 ⑤健康問題や体力 ⑥経済的な問題  
⑦人権問題 ⑧孤独感や寂しさ ⑨容姿 ⑩特にない ⑪その他

Q12-2. Q12-1で選択した項目について、  
より問題であると感じるものを1位から3位までお答えください。

1位                      2位                      3位

Q13. 【該当者のみ】Q12-1で④「人間関係」にマークをした方にお尋ねします。  
どのような「人間関係」で悩んでいますか？該当する番号すべてを選択してください。(いくつでも)  
①親(保護者) ②友人 ③交際相手 ④教職員 ⑤アルバイト先 ⑥その他

Q14. 【該当者のみ】Q12-1で⑦「人権問題」にマークをした方にお尋ねします。  
どのような「人権問題」で悩んでいますか？該当する番号すべてを選択してください。(いくつでも)  
①パワーハラスメント ②アカデミックハラスメント ③セクシュアルハラスメント ④その他

Q15. あなたが悩みを抱えたとき、誰に相談しますか？  
該当する番号すべてを選択してください。(いくつでも)  
①家族等 ②学内友人 ③学外友人 ④教職員 ⑤保健管理センター(保健室) ⑥学生相談室 ⑦医療機関  
⑧相談できる人がいない ⑨その他

Q16. あなたは、不安や悩みなどの問題に直面したとき、学内の窓口や施設を利用したことがありますか？  
以下の項目から、利用したことのある窓口・施設すべてを選択してください。(いくつでも)  
A.教務課 B.学生課 C.国際センター D.就職課 E.学生相談室 F.保健管理センター(保健室)  
G.教育支援センター H.利用したことがない I.その他

Q17. Q16で選択した、利用した窓口・施設について  
感想をお答えください。(それぞれ1つ)  
①問題の解決ができた ②問題の解決がある程度できた ③あまり問題の解決に役立たなかった

Q18. 学生のピアサポートについて  
学生が学生を支援する制度＝ピアサポートを実施するとしたら、  
あなたが相談してみたいこと、支援を望むことは何ですか？  
当てはまるものすべてを選択してください。(いくつでも)  
①履修について ②学習方法について ③友達づくりについて ④人間関係について ⑤メンタルな問題について  
⑥健康上の問題について ⑦就職について ⑧留学について ⑨特にない ⑩その他

Q19. 喫煙について。あなたはタバコを吸いますか？  
該当する番号1つを選択してください。(1つ)  
①吸う ②吸わない ③吸っていたがやめた

Q20. 大学敷地内喫煙についてどう思われますか？  
該当する番号1つを選択してください。(1つ)  
①全面禁煙にすべき ②分煙を更に徹底すべき ③現状のままで良い

IV 課外活動についてお答えください。

Q21. あなたは部活動やサークル活動などに参加していますか？  
学外の活動も含めてお答えください。(1つ)  
①参加している ②参加していない

Q22. 【該当者のみ】Q21で①「参加している」とお答えの方にお尋ねします。  
所属団体について、当てはまるものすべてを選択してください。(いくつでも)  
①大学内の部活動・サークル活動 ②インカレサークル(他大学との活動) ③ボランティア活動  
④NPOやNGO(ボランティア活動以外) ⑤地域の団体 ⑥その他

Q23. 【該当者のみ】Q22で①「大学内の部活動・サークル活動」とお答えの方にお尋ねします。  
所属団体の活動内容をお答えください。(いくつでも)  
①公認体育会系 ②公認文化系 ③公認学術・工学系 ④スポーツ系サークル  
⑤レジャー・レクリエーション系サークル ⑥ボランティア系サークル ⑦その他

Q24. 【該当者のみ】Q22で①「大学内の部活動・サークル活動」とお答えの方にお尋ねします。  
一週間の活動日は何日ですか？(1つ)  
①1日 ②2日 ③3日 ④4日 ⑤5日 ⑥6日 ⑦毎日

V 図書館の利用についてお答えください。

Q25. 図書館の利用頻度はどのくらいですか？

該当する番号1つを選択してください。(1つ)

- ①毎日 ②週3~4回 ③週1回 ④月1~2回 ⑤行ったことがない

Q26. 【該当者のみ】図書館を利用した事がある方にお尋ねします。

図書館をどのように利用していますか？

該当する番号すべてを選択してください。(いくつでも)

- ①授業の予習・復習のため ②図書館の図書を借りるため ③閲覧室で勉強するため ④映画・音楽を鑑賞するため  
⑤文献を調べるため ⑥レポートを作成するため ⑦新聞・雑誌を閲覧するため  
⑧読書するため ⑨ゼミ等でグループ閲覧室を利用するため ⑩データベースを利用するため  
⑪インターネットを利用するため ⑫その他

VI 学生支援体制についてお答えください。

Q27. あなたは学生生活に関わる次のことに、どの程度満足していますか？

以下の各項目についてあなたの気持ちに一番近いもの1つを選択してください。(それぞれ1つ)

- A. 校舎などの施設について B. 図書館について C. 情報処理の設備について D. 実験・実習・演習等の設備について  
E. 学食について F. 健康管理について G. 海外留学制度について H. 大学からの広報・掲示について  
①とても満足している ②ある程度満足している ③あまり満足していない  
④まったく満足していない ⑤経験していない

Q28. あなたは本学でどのようなことを身につけたいと思っていますか？(いくつでも)

- A. 専門的な知識・技術 B. 幅広い知識・教養 C. 国際感覚(異文化理解) D. 資格・免許  
E. 情報処理能力 F. コミュニケーション能力 G. 論理的思考力 H. 文章作成能力  
I. 発表(プレゼンテーション)能力 J. 語学力(英会話、中国語会話など) K. 部活動・サークル活動の充実  
L. 友人・先輩との交流 M. 教員との交流

Q29. Q28で選択をした「身につけたい項目」について、本学で実現できそうかどうかを選択してください。(それぞれ1つ)

- A. 専門的な知識・技術 B. 幅広い知識・教養 C. 国際感覚(異文化理解) D. 資格・免許  
E. 情報処理能力 F. コミュニケーション能力 G. 論理的思考力 H. 文章作成能力  
I. 発表(プレゼンテーション)能力 J. 語学力(英会話、中国語会話など) K. 部活動・サークル活動の充実  
L. 友人・先輩との交流 M. 教員との交流  
①すでに実現していると思う ②実現できると思う ③ある程度実現できると思う  
④あまり実現できると思わない ⑤実現できると思わない

Q30. 情報機器について所持しているものすべてにチェックしてください。(いくつでも)

- ①フィーチャーフォン(ガラケー) ②スマートフォン ③タブレットPC(iPad、iPod、Android、Windows等)  
④ノートPC ⑤デスクトップPC ⑥その他( )

Q31. 個人で情報発信しているメディア、SNSについて利用しているものすべてにチェックしてください。(いくつでも)

- ①Twitter ②Facebook ③Instagram ④Youtube ⑤ホームページ ⑥LINE  
⑦ブログ ⑧ミクシィ ⑨ニコニコ動画(生放送) ⑩その他 ⑪ホームページ、ブログ、SNS等は利用していない

Q32. Q31のメディア・SNSでの個人情報の開示について「最も情報を開示している」ものを選択してください。(1つ)

- ①個人名、大学名などを開示している ②個人名は開示していないが出身校、大学名等一部の個人情報は開示している  
③個人を特定できる情報は一切開示していない

Q33. あなたは神奈川大学の魅力、特長はどのような点にあると思いますか？率直なご意見をお答えください。(400文字以内)

Q34. 神奈川大学の問題点や改善点はどのようなことでしょうか？大学に求めることを率直にお答えください。(400文字以内)

Q35. 今の神奈川大学にないもので、今後充実してほしい事柄をお答えください。(施設設備、サポート体制など)(400文字以内)

Q36. 神奈川大学への満足度を点数で表すと何点ですか？  
5~100(5点きざみ)

2019年度(第14回)  
学生生活実態調査報告書

発行日	2020年2月14日
編集	神奈川大学学生生活支援委員会
発行	神奈川大学
企画・集計	株式会社 WAVE